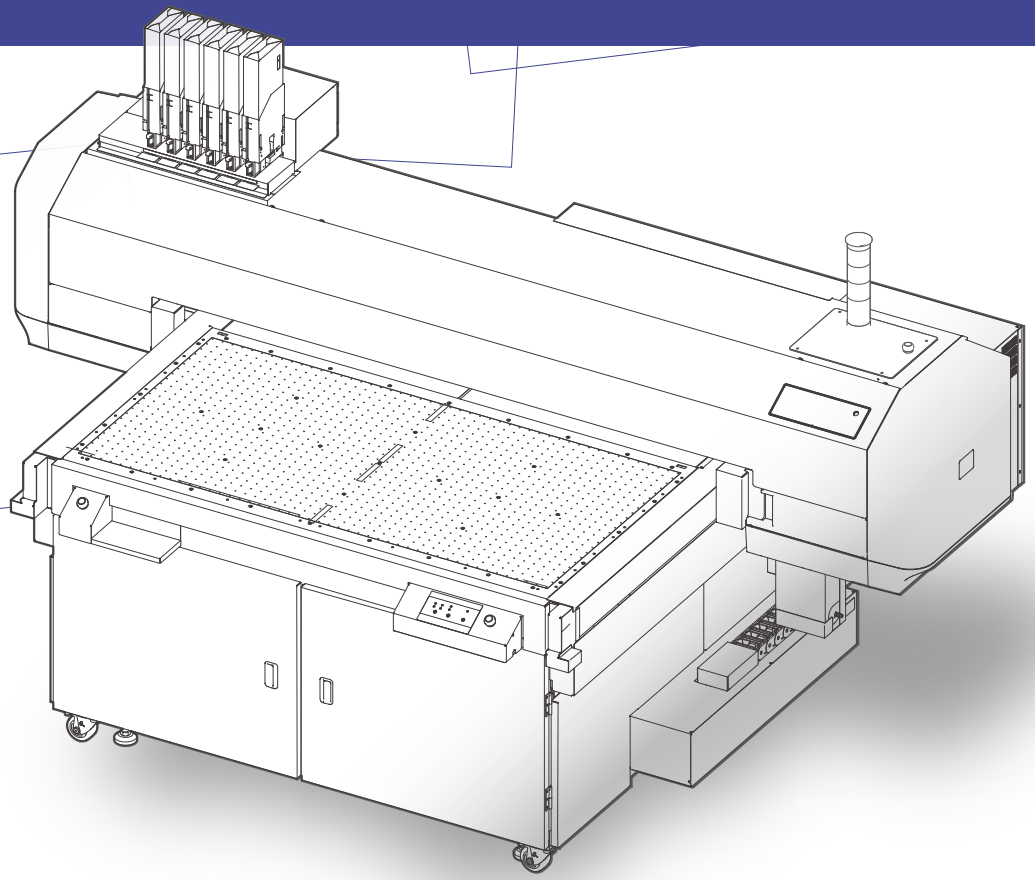
MUTOH

XPJ-1462UF

取扱説明書

使い方とメンテナンス方法



XPJ1462UFJ-A-06

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

本システム（きょう体と安全装置含む）は、クラス 2 レーザ機器です。

【注意】

本書に規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。
IEC 60825-1 Edition 3.0

【本システムのレーザ仕様】（きょう体を含む）

最大出力：1mw 以下、パルス持続時間：3 μ s、波長：655 nm

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VerteLith は武藤工業株式会社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。
記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

安全にお使いいただくために 7

安全上のご注意 8

制限について 8

安全表示について 9

感電・ショート・火災について 10

設置について 12

取り扱いについて 13

インクと廃液について 15

その他想定される危険 17

警告ラベル 20

操作ラベル 25

アジャスターについて 26

ご使用の前に 27

各部の名称・はたらき 28

正面 28

背面 30

キャリッジ 31

プリンターコントロールパネル 32

ダイレクトキーの説明 34

プリンターコントロールパネルのインジケーター表示 36

バキュームコントロールパネル 38

バキュームの操作方法 39

テーブル寸法図 42

使用できるメディアの条件 43

メディアサイズ 43

メディア取り扱い上のご注意 43

メディアのセットは正確に行ってください 44

ご使用上のお願い 45

電源をオフにしないでください 45

定期的に使用してください 45

定期的にメンテナンスしてください 45

定期的に交換が必要な部品があります 46

本製品の「環境条件」に適合する場所でご使用ください 46

コンピューターとの接続 47

本製品のシステム構成 51

セットアップ 52

電源を入れる 53

電源をオンにする 53

電源をオフにする 54

セットアップの流れ 56

初期設定 57

アクティベーション 60

目次

初期洗浄～初期充てん.....62
メディアをセットする.....72
ノズルチェックとクリーニング.....78
印刷精度の調整.....85
MUTOH Status Monitor のインストール..... 93
インストール方法.....93
MSM の起動／表示／終了..... 94
MSM の起動方法.....94
MSM の表示方法.....94
リモートパネルの表示方法.....95
MSM の終了方法.....95
MiniMSM.....96
VerteLith のインストール..... 97

各種設定 98

キー操作..... 99
印刷設定メニュー.....100
ユーザー定義.....107
レイヤー調整印刷.....108
ノズル選択.....113
自動ノズルチェック.....116
テスト印刷メニュー.....118
送り補正.....122
メンテナンスメニュー.....126
UV スキャン.....128
プリンターステータスメニュー.....129
システム情報メニュー.....130
インクかくはんメニュー.....131
スリープモードメニュー.....132

基本的な使い方 133

印刷する.....134
本製品の印刷エリア.....134
作業の流れ.....135
印刷を開始する.....136
ジョブの停止 / 再開 / キャンセル.....141
印刷の一時停止 / 再開.....142
印刷をキャンセルする.....143
次回、かくはんが必要となるまでの時間を表示.....144
スリープモード.....145
スリープモードにするときの流れ.....145
スリープモードを解除する.....146
緊急停止する.....147
緊急停止ボタンの位置.....147

目次

応用的な使い方 150

レイヤー印刷 151
シングルパスレイヤー印刷 151
マルチパスレイヤー印刷 153
ネスト機能を使ったマルチパスレイヤー印刷 156
治具レイアウト印刷 160
治具レイアウトを使った印刷の手順 161
簡易治具 166

メンテナンス 169

メンテナンスについて 170
保護具をつける 171
付属の手袋の装着方法 171
インクをかくはんする 172
インクかくはんの手順 179
インクの確認と交換 181
インク残量を確認する 181
インクの交換が近づいたら 182
インクの交換 183
インク交換の手順 183
大容量パックアダプターのプラグ交換 188
廃液タンクを空にする 189
１日の作業終了後のメンテナンス 193
デイリーメンテナンスの流れ 194
デイリーメンテナンスの準備 195
デイリーメンテナンスを行う 197
ご使用にあわせたメンテナンス 204
ヘッドクリーニング 204
漬け置きクリーニング 206
各部の清掃 209
各部の清掃の流れ 209
イオナイザー (オプション品) のメンテナンス 211
消耗品の交換 218
消耗品の交換の流れ 219
フラッシングボックス用吸収材の交換 220
クリーニングワイパーの交換 224
UV-LED ランプのガラスの交換 227
UV-LED ランプのフィルターの交換 230
排気ファンフィルターの交換、清掃 232
長期間使用しない場合 236
1. デイリーメンテナンスを行う 236
2. インクを排出する 237
3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする 238
インク排出後の初期充てんの方法 239
輸送・移動 240

目次

困ったときは 241

メッセージとエラーメッセージ.....242

動作状態表示.....242

メッセージ型エラー表示と対処方法.....244

再起動が必要なエラー.....250

トラブルシューティング.....251

設置・導入時のトラブル.....251

動作に関するトラブル.....252

メディアに関するトラブル.....253

印刷に関するトラブル.....255

付録 260

本製品の仕様.....261

オプション・サプライ品リスト.....263

インク.....263

その他.....263

改訂履歴.....265

お問い合わせ先.....266

安全にお使いいただくために

安全上のご注意

制限について

使用者の制限

本製品は次のような危険があります。

- 高温になる箇所がある
- 人体が挟まると危険な可動部分がある
- 人体に対して有害な紫外線が照射される

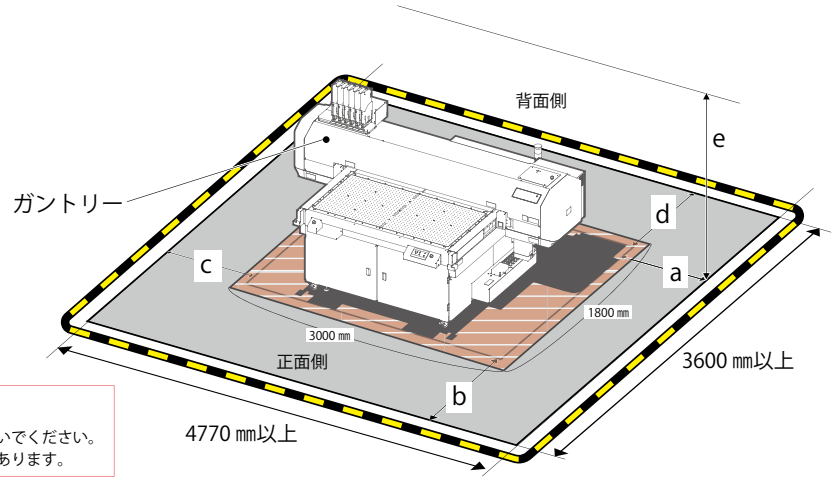
ご使用になる前に弊社による適切な訓練を受けた人と、その訓練修了者に訓練を受けた人以外の方の取り扱いを禁止します。

エリアの制限

- 弊社による適切な訓練を受けた人と、その訓練修了者に訓練を受けた人を操作者に限定し、操作者以外の人が以下の制限エリア内に立ち入ることを禁止します。
- 専用の部屋に本製品を設置するか、本製品の周りに容易に立ち入れないフェンス・パーテーション等を設置して、制限エリア内に誤って立ち入らないようにしてください。

制限エリア

a= 1000 ㎜ 以上
b= 1000 ㎜ 以上
c= 1000 ㎜ 以上
d= 1000 ㎜ 以上
e= 2000 ㎜ 以上
※e はフェンス等の必要な高さ



⚠ 注　意

斜線エリアの床上に物を置かないでください。
ガントリーと接触するおそれがあります。

安全表示について

本書では、人への危害や財産の損害を防止するため、必ずお守りいただきたい内容をマーク表示しています。
各マークが持つ意味を理解し、本製品を安全に正しくお使いください。

■指示を無視したり誤った取り扱い方で生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しています。

警　告	回避しないと死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注　意	回避しないと軽傷または中程度の傷害、または製品などの損害に結びつく可能性がある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分して説明しています。

	してはいけない「禁止」です。 この中に描かれた図は、具体的な禁止の内容を示しています。
	必ず実行しなければならない「強制・指示」です。 この中に描かれた図は、具体的な強制・指示の内容を示しています。

■その他のマーク表示

Important!	とくに注意したり、お守りいただきたい内容を示しています。
Note	補足説明や参考情報を示しています。
☞	関連した内容の参照先を示しています。

Note

マーク表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「ご使用の前に」をご参照ください。

感電・ショート・火災について

警　告

	湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。 感電・火災のおそれがあります。		**必ず指定の電源コンセントを使用してください。** 指定外の電源コンセントを使うと、感電・火災の原因となります。
	破損した電源ケーブルを使用しないでください。 感電・火災の原因になります。		**電源コンセントから直接電源を取ってください。** タコ足配線はしないでください。発熱し、火災の原因となります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。		**電源は必ずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。** アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。
	以下の場所には、アース線を接続しないでください。 • **ガス管** 引火や爆発するおそれがあります。 • **電話線用アース線および避雷針** 落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。 • **水道管および蛇口** T 配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。		**アース線は、必ず以下の規格を満たすアース線に接続してください。** • **電源コンセントのアース端子** • **銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線** • **D 種接地工事を行っている接地端子**
			インクは、火気や高温のものから遠ざけた冷暗所に保管してください。 UV 硬化インクは危険物第 4 類第 3 石油類（非水溶性液体）に該当します。引火すると火災の原因となります。

	通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。		**必ず指定の電源ケーブルを使用してください。** • 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。 • 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。 • 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。
	毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。		
	ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。 感電または故障するおそれがあります。		
	本製品内部に水気が入らないように注意してください。 電気回路がショートするおそれがあります。		**各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。** 配線を誤ると、火災のおそれがあります。
	異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。		
	電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。 • **電源ケーブルを加工しないこと。** • **電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。** • **電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。** • **電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。**		**電源プラグを取り扱う場合は、以下の事項に注意してください。** 取り扱いを誤ると火災の原因となるおそれがあります。 • **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。** • **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

設置について

警　告

	本製品は、以下のような場所に設置してください。 • 水平な場所 • 他の機器の振動が伝わらない場所 • 湿気やホコリの少ない場所 • 温度・湿度の変化が小さい場所 • 直射日光が当たらない場所 • 水などがかからない場所 • 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所 • 電磁波などのノイズが少ない場所		**換気ができる場所に設置してください。** **作業場を十分換気してください。** インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。
	この機器は子供がいる可能性がある場所での使用には適していません。		**必ず本製品の重量に耐えられる場所に設置してください。本製品の重量は、500kg以上になります（治具、インク、廃液、メディア込みの重量）。**

注　意

	プリンターに搭載されている LED-UV ランプ以外に、作業エリア内に直射日光や人工光などで UV 光が発生する場合があります。そのような場合、意図しないインクの硬化によって、(インク詰まり・メンテナンスユニットの機能障害・ヘッド破損など) プリンターが故障するおそれがあります。以下のガイドラインを守ってください。 • **直射日光のあたる場所に本製品を設置しないでください。** 待機時は、必ずフロントカバーを閉めてください。 • **カバーを取り外さないでください。本製品を改造しないでください。** 本製品を改造・分解すると、保証の対象外になります。		
	本製品を移動する場合は、必ず 3 人以上で作業してください。また、水平の状態を保ったまま移動してください。		**本製品を傾けたりしないでください。** 内部のインクが漏れるおそれがあります。また、正常動作が保証できません。

取り扱いについて

警　告

	• **プリンター動作中は必ず UV カットグラス、マスク、手袋、保護衣を着用し、次の指示に従ってください。** • **動作中のランプを直視しないでください。** 目に害を及ぼす可能性があります。 • **UV 光を皮膚に当てないでください。** 炎症を起こす可能性があります。		**本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。** 転倒・転落により、けがをするおそれがあります。
			可動部に触れないでください。 負傷や製品の故障の原因になります。
	本製品にインクを充てん後は、インクが漏れるおそれがあるため、衝撃を与えないようにゆっくり動かしてください。		**吸着テーブルの上に乗らないでください。** 吸着テーブルが変形するおそれがあります。

注　意

	清掃時は、以下を守ってください。 • **必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用のうえ、作業を行ってください。** • **清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。** 特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。 • **必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。** 専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。 • **クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。** 皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。 • **クリーンスティックは再利用しないでください。** 付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損するおそれがあります。

	プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。 プリントヘッドが破損するおそれがあります。		**クリーニングワイパーを清掃するときは、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。** 油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなるおそれがあります。
	本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。 故障の原因となります。		**シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。** 塗装を傷める原因となります。
	フロントカバーおよびメンテナンスカバーの取り扱いは以下を守ってください。 • カバーに送風機、空調設備などの強い風が当たる場所に設置しないでください。 • 突然閉まるおそれがあります。 • カバーを開けるときは、周囲の安全を十分に確認してください。 • 周囲の物や人にぶつかるおそれがあります。		**メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報に注意してください。** メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまうおそれがあります。 テーブル上に付着したインクは UV ランプによって硬化し、取り除くことができません。
	印刷物に触れる前に、インクが確実に硬化しているか確認してください。硬化しているかわからない場合は、直接皮膚や衣類が触れないよう、必ず手袋を着用してください。		**インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。** • 本製品の電源をオフにする • 本製品の電源ケーブルを抜く • フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける • プリンターを移動する
	ガントリー移動範囲の床上に物を置かないでください。ガントリーに接触し、製品が破損する原因になります。		

インクと廃液について

警　告

	UV 硬化インク、廃液を使用する、または取り扱う際の安全注意事項については、安全データシート (SDS) に詳しく記載されています。これらの液体を取り扱う際は、SDS をよくお読みください。 最新の SDS は、弊社ホームページ（https://www.mutoh.co.jp/）からダウンロードしてください。
	インクカートリッジ（インクパック）および廃液は、以下のような場所に保管してください。 • 子供の手の届かない場所 • 火気や高温から遠ざけ、直射日光を避けた冷暗所
	インクを取り扱うときは、必ず保護具（手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣、マスク）を着用してください。 • 硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。 UV インクは、メディアの表面特性により、硬化するまでの時間が異なる場合があります。特に、印字率の低い印刷は、放置が必要な場合があります（目安として 1 時間）。UV インクが硬化しているか確認するときは、必ず保護手袋を着用してください。 • 特にインクの付着するおそれがある作業を行う場合（例：インクおよび廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング）、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋、ゴーグル等の保護具を着用し、インクが付着しないよう注意してください。 • ２種類の保護手袋がプリンターに同梱されています。インクが浸透する可能性があるため、ポリエチレン手袋（ピンク）の上にゴム手袋（白）を重ねてください。もしもその手袋が利用できない場合は、ブチルゴム製の手袋を着用してください。 • 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。 • 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は医師の診断 / 手当を受けてください。 • 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の医師の診断 / 手当を受けてください。 • 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断 / 手当を受けてください。
	• インクや、プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。 • 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。 • 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。 • 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。 • 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。 他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

⚠ 注　意

	インクカートリッジ（インクパック）の取り扱いは以下を守ってください。 • 分解しない • 落としたり強くたたいたりしない 分解したり衝撃を与えるとインクが漏れるおそれがあります。		専用インク以外を使用した場合は故障の原因になる可能性があります。このような故障の際の修理は、お客様の負担となりますことをご了承ください。
	インクカートリッジ（インクパック）は必ず以下を行ってください。 • ご使用前に、プリンター設置環境に３時間以上放置して常温程度にしてからご使用ください。 • 使用する前にかくはんしてください。また、パネルメッセージに従ってかくはんする必要があります。適切なインクの振り方については、「専用インク使用時のご注意」に記載されている手順をご参照ください。		
	インクは使用期限内に使い切ってください。 • 使用期限の切れたインクの使用は本製品の破損を引き起こす恐れがあります。 • 使用中に使用期限が切れた場合は、インクが残っていても使用期限内のインクに交換してください。 • 使用期限切れのインクは産業廃棄物として処理し、空になったインクカートリッジ（インクパック）はビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。		
	インクは純正品のご使用をお勧めします。 本製品は MUTOH 純正品のインクを使用することで性能を十分に発揮できるよう設計されています。 非純正インクをご使用になりますと、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。この場合には保証の対象外となります。		

その他想定される危険

以下のような危険があります。

ガントリーと吸着テーブル（上面）の間に手を入れないでください

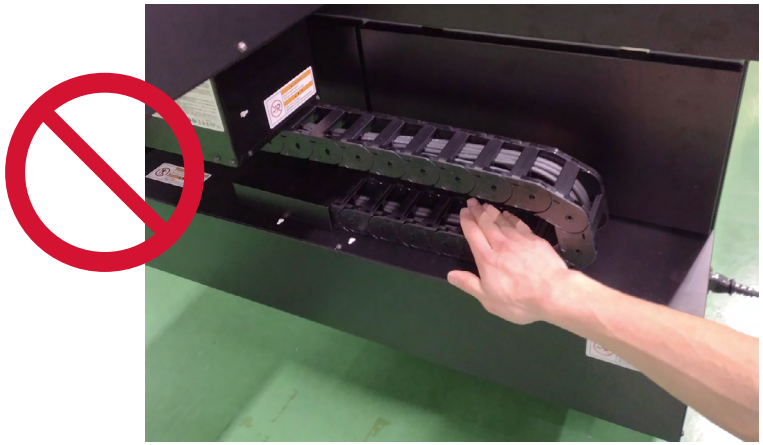
- プリンター内部のキャリッジと吸着テーブルの間に手が挟まれてけがをします。

ガントリーと吸着テーブル（側面）の間に手を入れないでください

- ガントリーとテーブルの間に手が挟まれてけがをします。

キャタピラ部に手や顔などを近づけたり物を入れないでください

- キャタピラ部に巻き込まれてけがをします。



プリンターの動作中に、ガントリーの移動可能範囲に近づかないでください

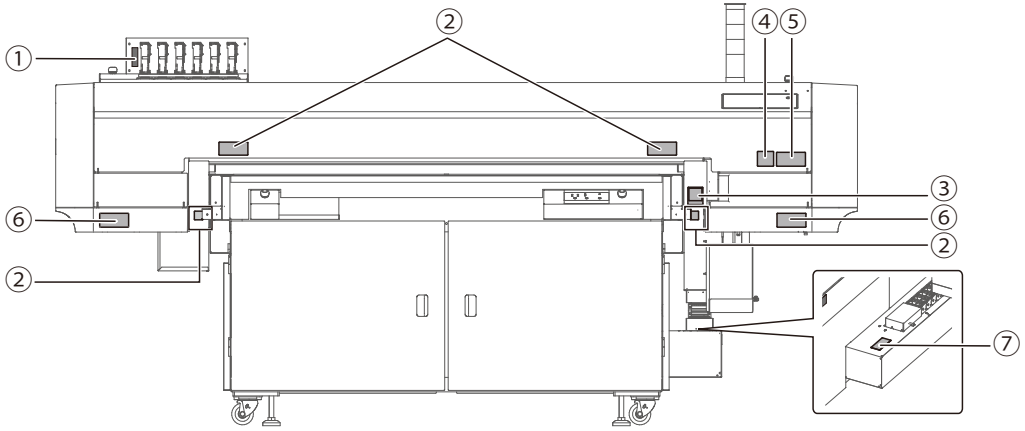
- ガントリーに体が衝突し、けがをするおそれがあります。

UV 光を直視したり UV ランプ周辺に触れないでください

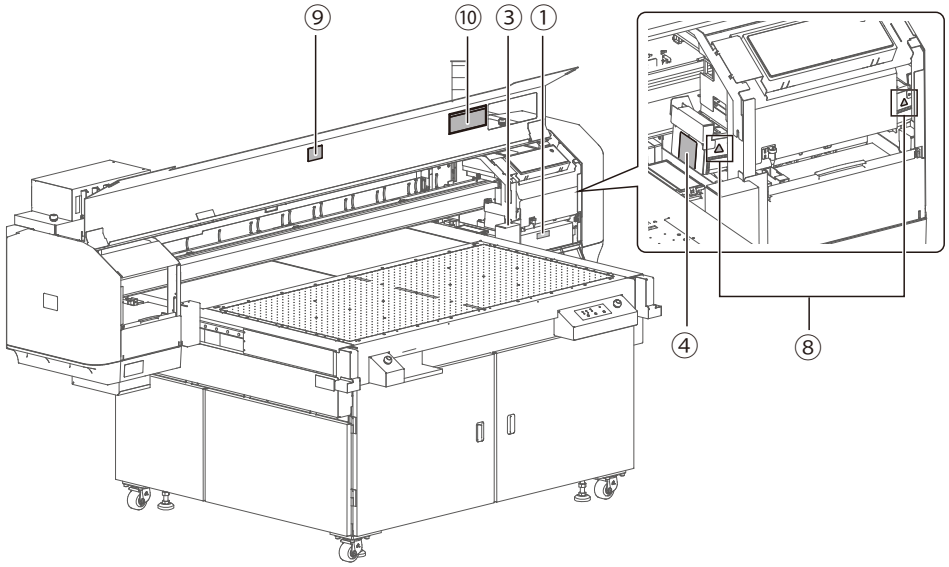
- 本製品を使用するときは、UV カットグラスを着用してください。
- 椅子に着席して作業しているときは、吸着ファンテーブルと頭の位置が同じ高さにならないようにしてください。UV 光の漏れが最も多い高さのため、直視しないでください。
- UV ランプ周辺は高温のため、手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。

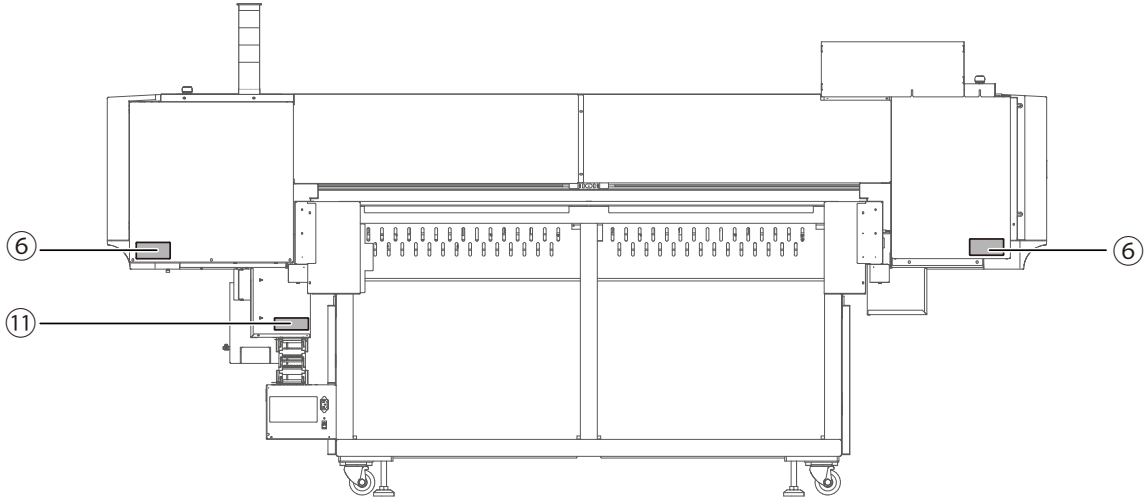
警告ラベル

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、必ずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。

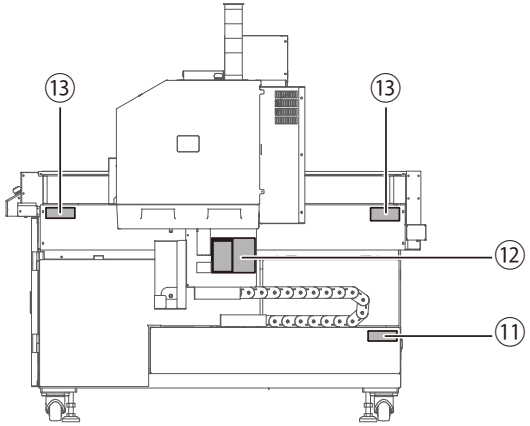


正面

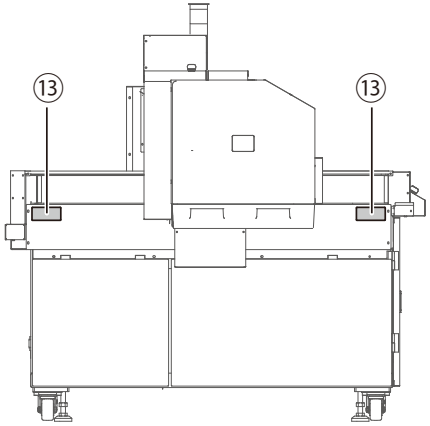




背面

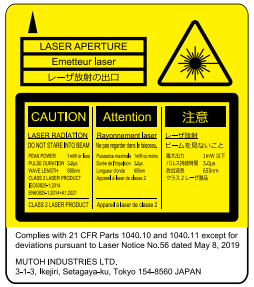
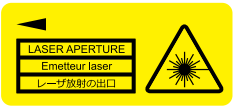
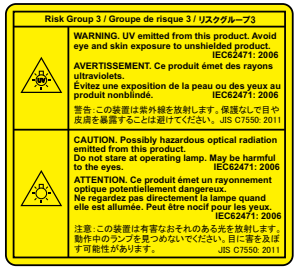


右側面



左側面

※ガントリーの位置：テーブル中央

	ラベル種類	名称 / 意味
①		**保護具着用ラベル** • インクを取り扱うときは保護具を着用してください。
②		**手ばさみ注意ラベル** • この付近に手を置かないでください。 • ガントリーとのすき間や駆動部に手を置いたり、入れたりしないでください。
③	 	**レーザ警告ラベル** • レーザ放射に注意：ビームを見つめないでください。
④		**UV 警告ラベル** • 紫外線に注意：直視したり、皮膚にあてたりしないでください。

⑤

UV 保護具

- 作業時は UV 保護メガネと長袖長ズボンを着用し目や皮膚を保護してください。

⑥

衝突注意

- 動作中に近づかないでください、衝突してけがをするおそれがあります。

⑦

踏みつけ禁止

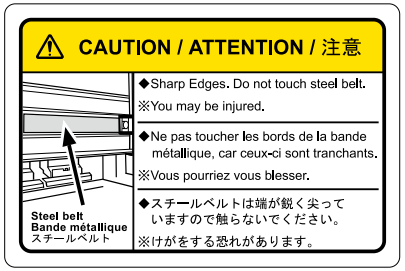
- この部分に足をのせないでください。転倒してけがをしたり、製品が破損するおそれがあります。

⑧

高温注意ラベル

- この部分に触れるとやけどをするおそれがあります。印刷終了後、10 分以上経過するまで触れないでください。

⑨



スチールベルトコーション

- この部分に触れないでください。けがをするおそれがあります。

⑩

フロントカバーコーション

- ラベルに記載されている内容を守ってください。

⑪

巻き込まれ注意

- この部分に手や顔などを近づけたり触れないでください。巻き込まれるおそれがあります。

⑫

廃インク注意ラベル

- 廃液に触れないようご注意ください。皮膚に付着等した場合は、ラベルに記載されている応急処置方法に従ってください。

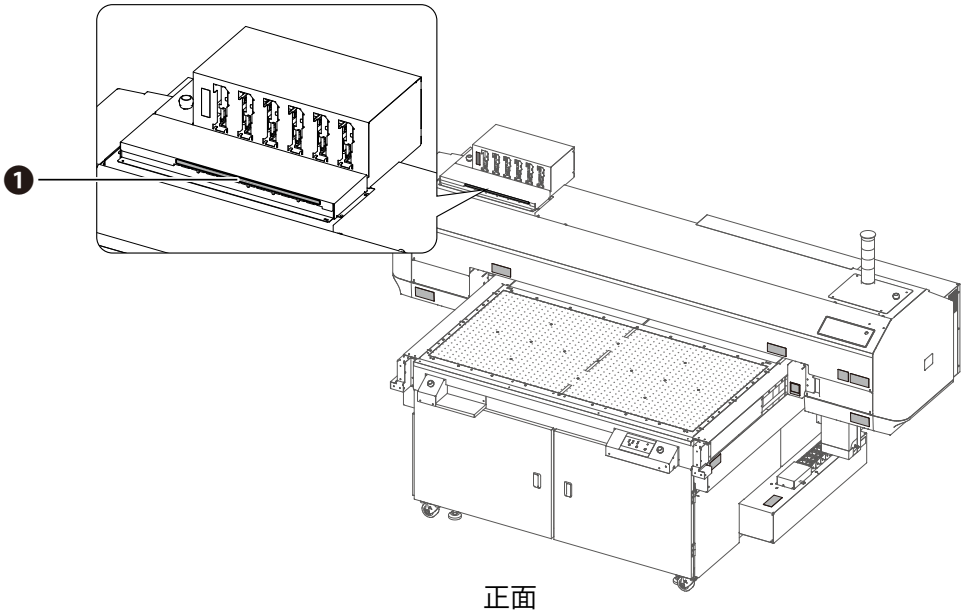
⑬

可動部挟まれ注意

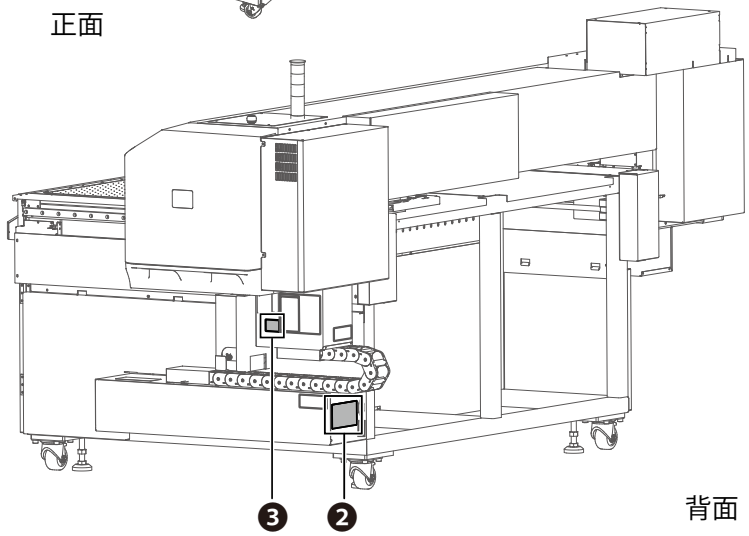
- この部分に体を近づけたり触れないでください。

操作ラベル

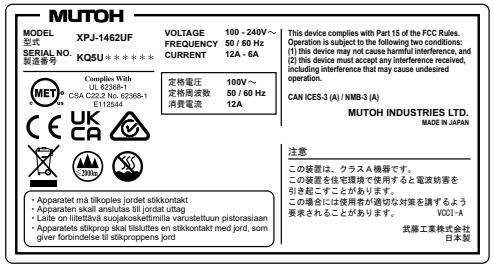
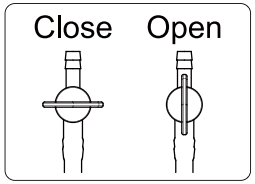
本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。



正面



背面

	ラベル種類	名称 / 意味
❶		**インク色表示ラベル** • ラベルに対応するインクパックをセットしてください。
❷		**定格銘版** • 型式・製造番号・電気定格・認証・届出情報が記載されています。
❸		**開閉コックラベル** • 開閉コックの状態を示しています。

アジャスターについて

本製品を固定するために、電源を入れる前に必ずアジャスターフットを調整してください。

不安定な状態で印刷すると、本製品が意図せず動くおそれがあります。

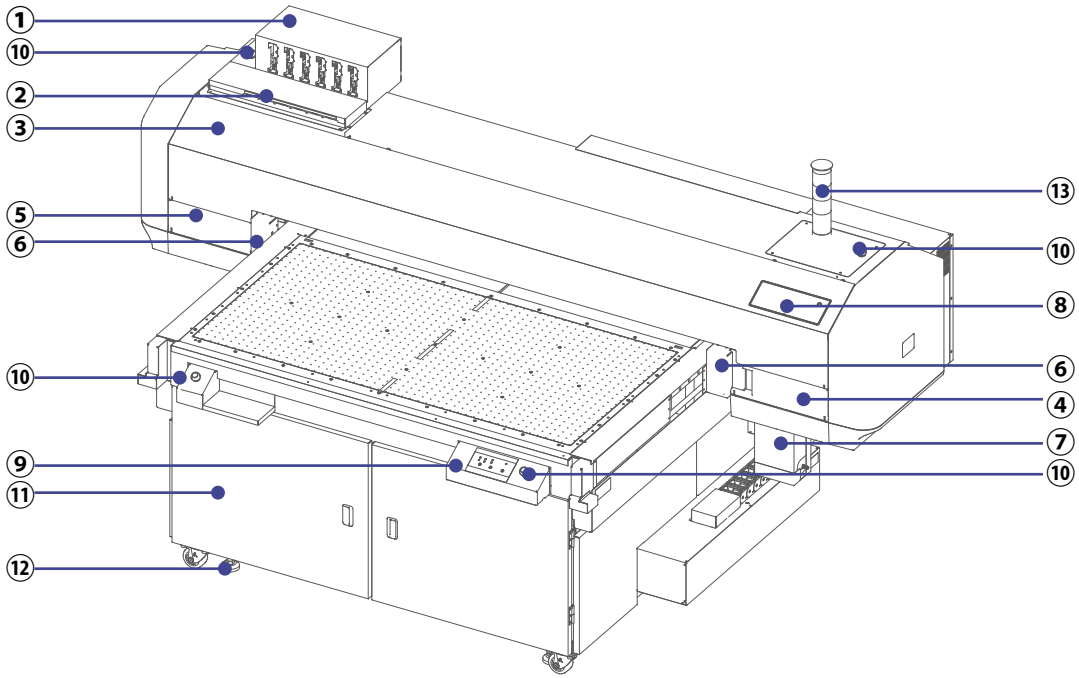
調整方法は、スタートアップガイド「設置」をご参照ください。

ご使用の前に

各部の名称・はたらき　28
テーブル寸法図　42
使用できるメディアの条件　43
ご使用上のお願い　45
コンピューターとの接続　47
本製品のシステム構成　51

各部の名称・はたらき

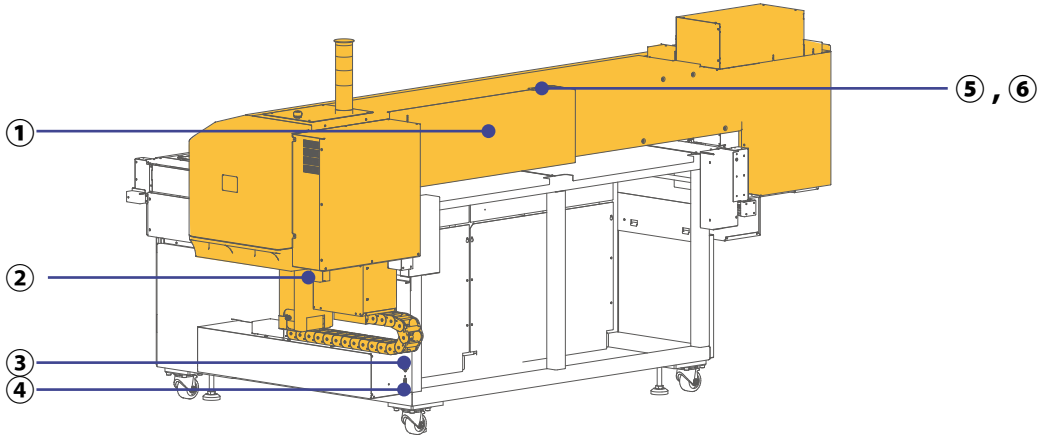
正面



①	インクスロット	インクや洗浄カートリッジを取り付けます。
②	カードスロット	スマートチップカード（S/C カード）を挿入します。
③	フロントカバー	メンテナンス時に開閉します。通常は閉じておきます。 **Important!** フロントカバーを閉じるときには、中央付近を押して閉じてください。

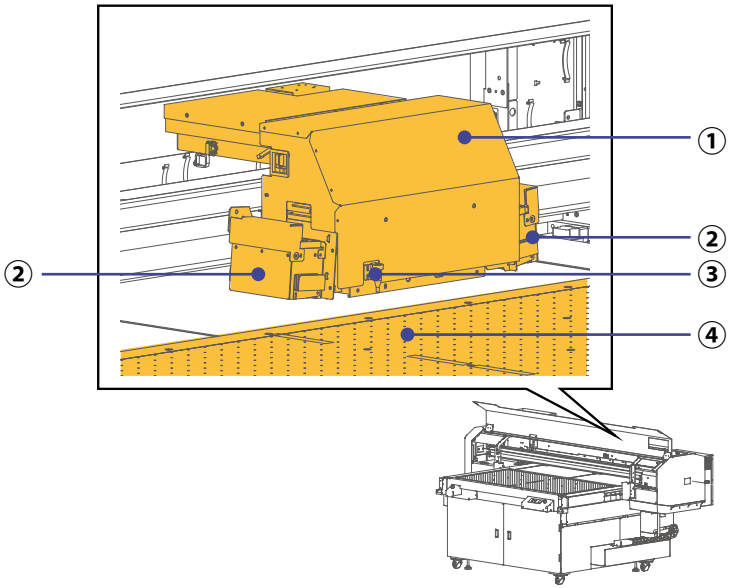
④	メンテナンスカバー R	メンテナンス時や消耗品の交換時に開閉します。通常は閉じておきます。
⑤	メンテナンスカバー L	メンテナンス時やノズルチェック L を行うときに開閉します。通常は閉じておきます。
⑥	メディア高さ検出センサー	メディアの高さを検出するセンサーです。
⑦	廃液タンク	廃インクや使用後の洗浄液をためるタンクです。満タンになる前に、廃液を排出してください。 ☞「2. 廃液の排出」P.64
⑧	プリンタ―コントロールパネル	☞「プリンターコントロールパネル」P.32
⑨	バキュームコントロールパネル	☞「バキュームコントロールパネル」P.38
⑩	緊急停止ボタン	動作を直ちに停止したいときは、緊急停止ボタンを押します。正面の左右およびガントリーの左右の計4か所あります。 ☞「緊急停止する」P.147
⑪	遮光キャビネット	インクなどを保管するのに適しています。
⑫	アジャスター	☞「アジャスターについて」P.26
⑬	LED 表示灯	本製品の状態を3色の LED で表示します。コントロールパネルのステータスバーと連動しています。 • 印刷可能状態：緑色が点灯 • プリンター動作中：緑色が点滅 • インクの残量が少ないとき、インクの使用期限が切れているとき、緊急停止ボタンの押下に伴う復帰動作を実行しているとき、低温警告メッセージまたは高温警告メッセージを表示しているとき：黄色が点灯 • エラー発生時：赤色が点灯 ☞「ステータスバー」P.32

背面



①	ガントリー	印刷時やメンテナンス時、バキュームテーブル上を上下前後に移動します。
②	廃液バルブケース	廃インクを排出するための廃液バルブが収められています。
③	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
④	ネットワークコネクター	イーサネットケーブルを接続します。
⑤	排気ファン	製品内部の排気を逃がします。
⑥	排気ファンフィルター	製品内部のインクミスト汚れを軽減させます。

キャリッジ



①	キャリッジ	プリントヘッドと UV-LED ランプなどを内蔵しています。
②	UV-LED ランプ	インクを硬化する UV 光（紫外線光）を照射するユニットです。
③	LED ポインター	原点を設定するときに使用します。
④	バキュームテーブル	この上でメディアを印刷します。内部に吸着ファンがあります。 ☞「バキュームコントロールパネル」P.38、「バキュームの操作方法」P.39

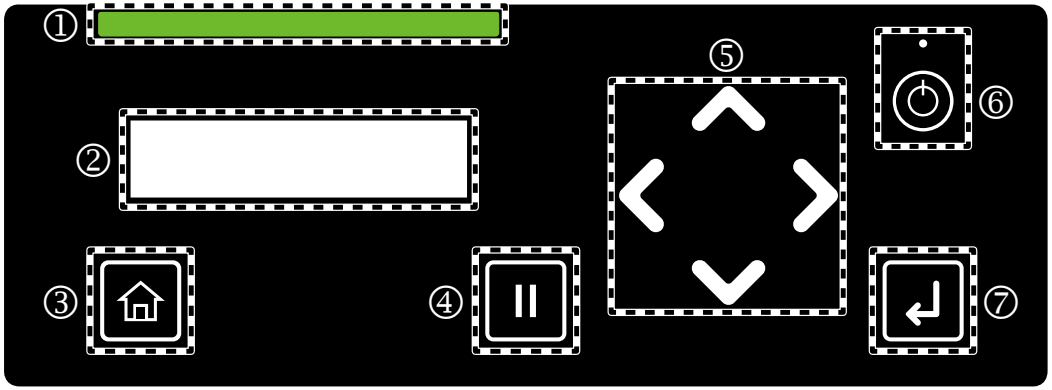
プリンターコントロールパネル

プリンターコントロールパネルの使い方

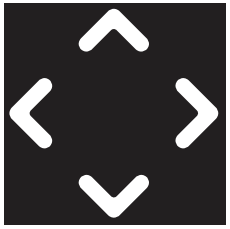
コントロールパネルはタッチパネルになっており、操作が有効なキーが発光するようになっています。

- タップ：キーに軽く触れて、すぐに指を離します。

プリンターコントロールパネルの各部について



①	ステータスバー	本製品の状態、エラーなどを表示します。 • 通常時：緑色に点灯 • エラー発生時：赤色に点灯
②	ディスプレイ	本製品の状態、設定メニュー、エラーなどを表示します。
③		Home キー： 設定メニューに入るとき／出るときに使用します。
④		Cancel キー： 印刷を一時停止します。 印刷停止状態で、もう一度タップすると印刷を再開します。

⑤		方向キー： 設定メニュー表示中は、メニューの選択や、値の入力に使用します。 ・∧ キー：メニューを上に送ります。 ・＜ キー：変更を適用せず、前のメニューに戻ります。 ・＞ キー：次の階層のメニューに進みます。 ・∨ キー：メニューを下に送ります。 印刷可能状態はメディア取り付けや取り外し、ノズルチェック、クリーニングを行います。 ・∧ キー：メディアをセットした後にタップすると、印刷可能な状態になります。 ・＜ キー：ノズルチェックを行います。 ・＞ キー：クリーニングを行います。 ・∨ キー：印刷後にタップすると、メディアが交換可能な状態になります。
⑥		電源ボタン： ・2 秒以上押すと電源をオンします。上部の LED が白色に点灯します。 ・電源がオンの状態で 2 秒以上押すと、電源をオフします。 **Note** ⏻ マークはスタンバイを意味します。本製品は電源ケーブルを接続していると微量の電力を消費します。本書では、この状態を [電源オフ] と表記しています。電源ボタン上部の LED は、電源オンでなくとも電源ケーブルをコンセントに接続すると点灯します。
⑦		Enter キー： メニューや、値の確定に使用します。 また、「インサツデキマス」または「メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ」を表示している状態では、次回、かくはんが必要となるまでの時間を確認する画面に移動します。

ダイレクトキーの説明

パネルに以下の画面が表示されているときに使用すると、特定のメニューへ直接アクセスすることができるキー操作です。

```
インサツデキマス
H : XXX.X mm          Type 1
```

```
メディア　ヲ　セットシテ、
[∧]キーヲ　タップシテクダサイ
```

＜キーをタップ

メディアがセットされている場合：ノズルチェックパターンの種類選択画面にアクセスします。

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、∧ / ∨ キーで印刷したいノズルチェックパターンを選択します。ノズルチェック L を選択した場合は、＞キーをタップして [ノズルチェック L　カイシ　ー＞ Enter] を表示させます。
- Enter キーをタップすると、選択したノズルチェックパターンの印刷を開始します。
- Home キーをタップすると、[インサツデキマス] の表示に戻ります。

Note

ノズルチェックは4種類あります。☞「ノズルチェックの種類」P.78

メディアがセットされていない場合：ノズルチェック L パターンの実行確認画面にアクセスします。

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック L] が表示されたら、＞キーをタップして [ノズルチェック L　カイシ　ー＞ Enter] を表示させます。
- Enter キーをタップすると、ノズルチェック L パターンの印刷を開始します。
- Home キーをタップすると、[メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] の表示に戻ります。

＞キーをタップ

クリーニング実行にアクセスします。

- [クリーニングシマスカ？ ビリョウ] が表示されます
- ∧ / ∨ キーでクリーニング種類を選択し、Enter キーをタップするとクリーニングを開始します。
- Home キーをタップすると、[インサツデキマス] または [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] の表示に戻ります。

Cancel キーをタップ

メディア設定のサブメニュー「セット確認」「高さ設定」にアクセスします。

- [メディアセッテイ 1 セットカクニン] が表示されます。
- ∧ / ∨ キーで設定したいサブメニューを選択し、> キーをタップすると、各サブメニューの設定へ移行します。
- Home キーをタップすると、[インサツデキマス] または [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] の表示に戻ります。

Enter キーをタップ

次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。

詳細は「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.175 を参照してください。

次回、かくはんが必要となるまでの時間は、VerteLith、MSM からも確認できます。

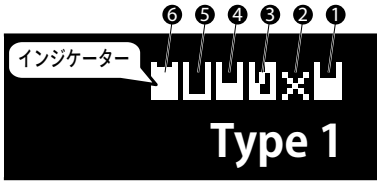
VerteLith：Ver8.2.0 以降
MSM　　：Ver9.01 以降

プリンターコントロールパネルのインジケーター表示

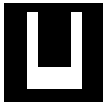
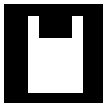
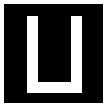
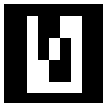
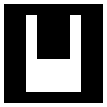
次の場合に、ディスプレイにインクやカートリッジの状態を示すインジケーターを表示します。

- メニューを表示していないとき
- インクやカートリッジのエラーのとき

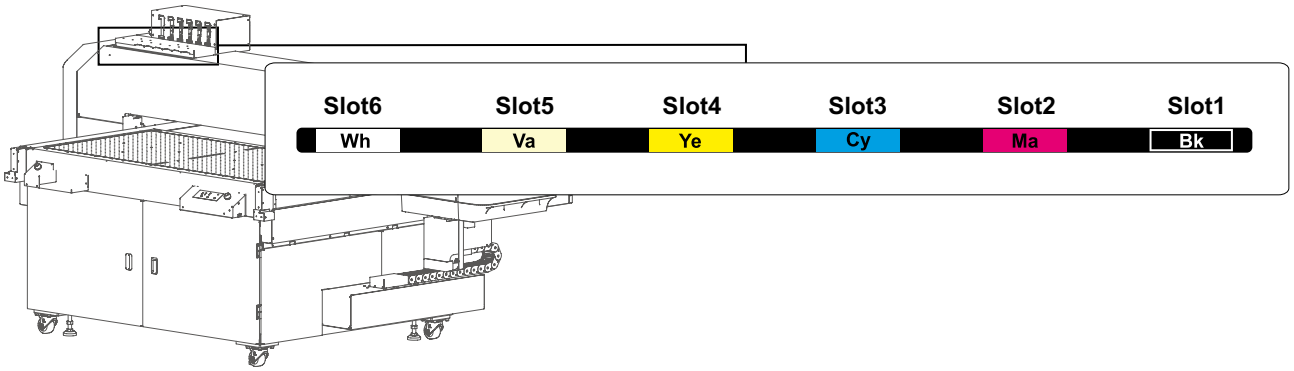
対応スロット番号



- インジケーターは、Slot1 ～ Slot6 のインクスロットに対応しています。右端が Slot1 の状態を表しています。
- インジケーターの意味は下表のとおりです。

	インク残量 80%以上 100%以下		インク残量 20%未満 • インジケーターが点滅している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 ☞「スマートチップリカバリー」P.249
	インク残量 60%以上 80%未満		インク少ない
	インク残量 40%以上 60%未満		インクなし
	インク残量 20%以上 40%以下		カートリッジなし

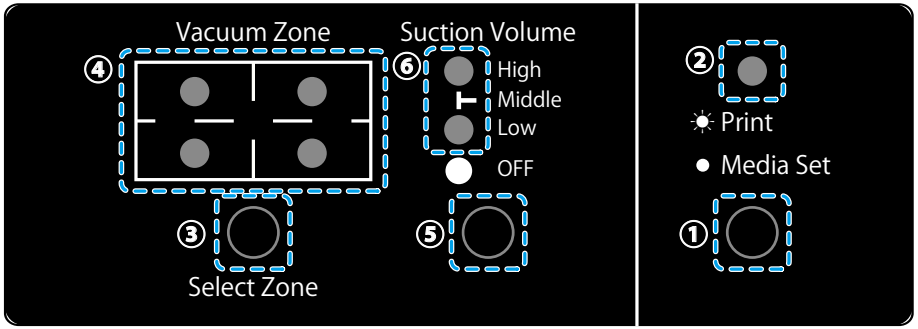
スロット番号とインクバッグの関係は次のとおりです。



バキュームコントロールパネル

バキュームテーブルを起動し、吸着の範囲や強さを設定します。

☞「バキュームの操作方法」P.39



①	プリント / メディアセットスイッチ	印刷をするときには「プリント（Print）」、メディアをセットしたり取り外しをするときには「メディアセット（Media Set）」に設定します。 ☞「Print / Media Set の選択」P.39
②	プリント / メディアセット表示 LED	プリント / メディアセットスイッチの状態を LED で表示します。 緑色に点灯…プリント（Print）、消灯…メディアセット（Media Set）
③	バキュームゾーン選択スイッチ	バキュームゾーンを設定します。 ☞「バキュームゾーンの選択」P.40 各ゾーンの位置については「テーブル寸法図」P.42 をご参照ください。
④	バキュームゾーン表示 LED	選択されているバキュームゾーンを LED で点灯表示します。
⑤	吸引力選択スイッチ	吸引の強さを設定します。
⑥	吸引量表示 LED	吸引の強さを LED で点灯表示します。
フットスイッチ：バキュームの一時停止 / 再開を足元で操作できるスイッチです。		

バキュームの操作方法

Important !

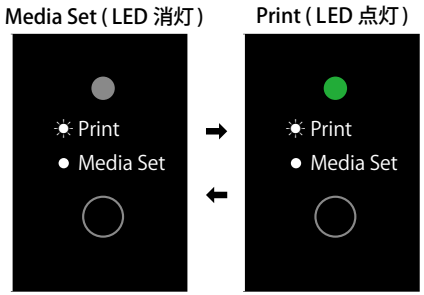
安全のため、バキュームテーブル上で作業（メディアのセットや取り外しなど）をしているときは、スイッチを「Media Set（メディアセット）」にしてください。作業後、「Print（プリント）」に切り替えると、プリンターが動作可能な状態になります。

Print / Media Set の選択

Print（プリント）：プリンターは動作可能です（Print/Media Set LED が緑色に点灯）。

Media Set（メディアセット）：プリンターは動きません（Print/Media Set LED が消灯）。

メディアをセットまたは取り外しするときなどは Media Set 状態にします。

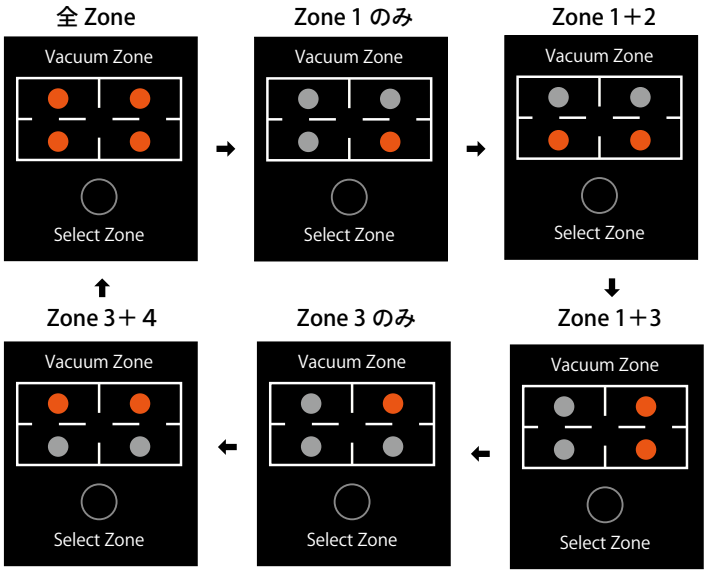


Note

印刷中は、メディアセット（Media Set）へ変更できません。

バキュームゾーンの選択

メディアをセットした位置に応じて、バキュームゾーンを設定します。
スイッチを押すたびに下図の順番で範囲が切り替わります。

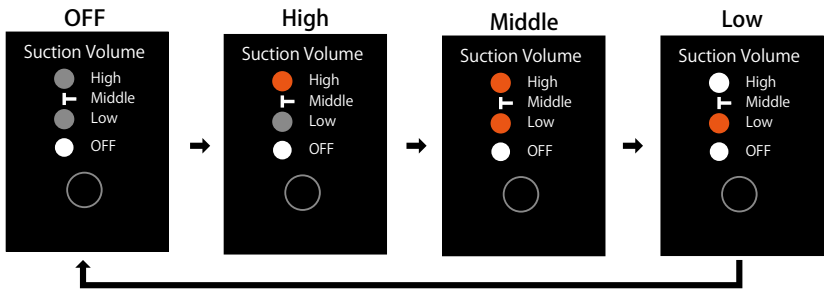


Note

印刷中は、バキュームゾーンを変更できません。

吸引量の選択

吸引量を設定します。スイッチを押すたびに下図の順番で強さが切り替わります。



Note

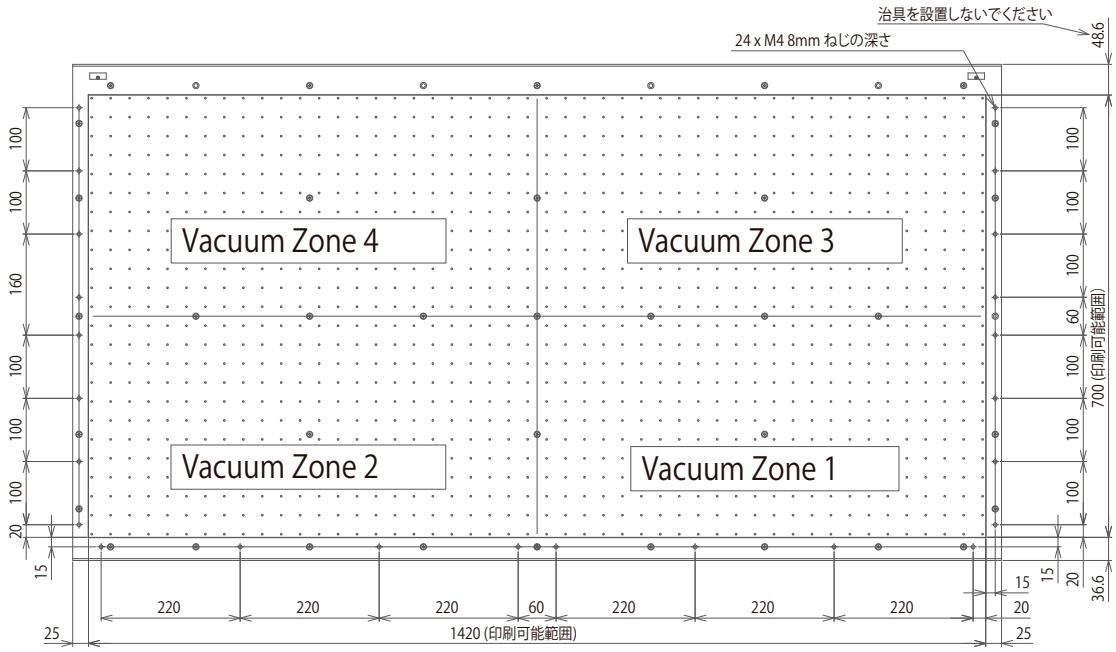
印刷中はバキュームの強さを変更できません。吸引量表示 LED は、次の場合に点滅表示になります。

- 印刷終了後など、プリンターが自動的に吸引を停止した場合
- フットスイッチにより、吸引を停止した場合

テーブル寸法図

本製品のテーブル寸法とバキュームゾーンは下図のとおりです。

背面側



正面側

テーブル上面に２４カ所のＭ４ネジ穴を用意。

テーブル後端４８．６mmの範囲には治具の取付は不可とする。

使用できるメディアの条件

メディアサイズ

本製品は、以下のメディアを使用することができます

最大幅	1420㎜
最大長さ	700㎜
最大厚さ	150 ㎜以下
表面高低差	0.5㎜ 以下（目安）
重量	50 kg/㎡ 以下（治具を含む）

Note

推奨メディアにつきましては、お買い求めの MUTOH 製品取扱店へご確認ください。

メディア取り扱い上のご注意

良好な画質を得るために、以下のことに十分注意してください。

以下の注意に従っていただけない場合、本製品の故障につながる恐れがあります。

- シワや折れ、反りなどがないメディアを使用してください。端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、薄手のテープでメディアをテーブルに固定して、浮いている部分がないようにしてください。
- 印刷中に変形するメディアは、薄手のテープでテーブルに固定して、メディアがプリントヘッドに接触しないようにしてください。
- 熱に弱いメディアは使用しないでください。
  UV 光の発する熱でメディアが変形します。
- 転がりやすい立体物（ゴルフボールやボールペンなど）に印刷する場合は、治具などを使用して転がらないようにしてください。
- サイズが小さく、重量があるメディアや治具をセットする場合、できるだけテーブルの中央部にセットしてください。
- 高低差（凹凸）のあるメディアは、インクミストの発生による製品の動作不良や故障の原因となります。

- 高低差（凹凸）のあるメディアに印刷する場合、低い側の印刷面とプリントヘッドの距離が大きいと十分な印刷結果が得られないことがあります。高低差（凹凸）が 0.5mm 以上のメディアに印刷する場合は、低速印刷を推奨します。低速印刷を使用することでインクミストの発生や印刷のにじみ、印刷のずれを低減します。

☞「テイソクインサツ」P.102

- UV-LED の光を反射しやすいメディアは、プリントヘッド表面のインクを硬化させるため、製品の動作不良や故障の原因となります。印刷する場合は、印刷範囲外に光が漏れないようにメディア上をマスキングするなどの処置を推奨します。

メディアのセットは正確に行ってください

・メディアをセットするときは、メディアの置き方と入力するメディア情報に注意してください。メディア情報が正確に入力されていない場合、メディアからはみ出してテーブル上に印刷してしまう恐れがあります。テーブル上に付着したインクは UV ランプによって硬化し、取り除くことができません。

・本製品使用時にテーブル高さ検出領域に物を置かないでください。テーブル高さ検出領域に物を置くと、メディア高さ検出センサーの誤検出などの原因となり、正しく印刷ができなくなります。また、テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、メディア高さ検出センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。設置したメディアより高い物を置くと、ヘッドとぶつかり故障の原因となります。

詳細は以下をご覧ください。

☞「本製品の印刷エリア」P.134

ご使用上のお願い

電源をオフにしないでください

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは電源をオフにしたり電源コードを抜いたりせず、必ずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈降し、画質不良や故障の原因となります。

定期的に使用してください

本製品は 1 週間に 1 度は使用することをおすすめいたします。
長時間放置するとプリントヘッドのノズルが詰まり、故障の原因となります。

定期的にメンテナンスしてください

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

- 印刷前に、ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがあった場合はヘッドクリーニングを行ってください。
- 1 日の作業終了後に、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
  ☞「1 日の作業終了後のメンテナンス」P.193
- 長期間使用しない場合 * は、スリープモードにして以下を実施してください。
  *[長期間使用しない場合] とは、1 週間から 1 か月間放置する場合を指します。
  - インクの残量を確認し、[インクスクナイ] が表示されていたらインクを交換してください。上記が実施できない場合は、「長期間使用しない場合」P.236 を参照して電源をオフにしてください。
  - 廃液タンクの廃インクを定期的に排出してください。
  - 1 か月に 1 度は内部の清掃を行ってください。

定期的に交換が必要な部品があります

本製品には、長期間のご使用により交換が必要になる部品があります。

- ユーザーによる交換が必要な部品：
  フラッシングボックス用吸収材、クリーニングワイパー、UV-LED ランプのガラスおよびフィルター、排気ファンフィルター、イオナイザー（オプション品）の電極針

本製品の「環境条件」に適合する場所でご使用ください

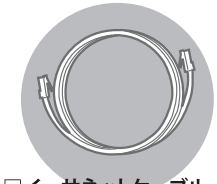
- メディア高さの読み取り精度が低下し、印刷品質にばらつきが生じるおそれがあります。
- インクの変質や硬化不良などに伴う、印刷品質の低下が生じるおそれがあります。

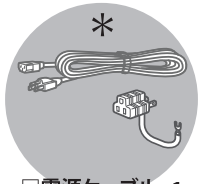
☞「本製品の仕様」P.261

コンピューターとの接続

本製品とコンピューターとの接続には、以下のものが必要です。

□コンピューター：1


□イーサネットケーブル：1



□電源ケーブル：1

警告

必ず指定の電源ケーブルを使用してください。
指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

Note

上のイラストで「＊」がついているものは、オプションまたはサプライ品です。

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

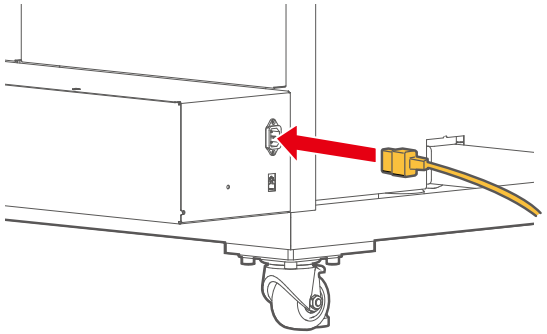
- OS：Windows 11、Windows 10
- CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上
- メモリ：8G バイト以上
- ネットワーク：ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

Note

- 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。
- RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。

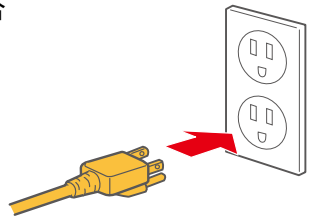
1 フロントカバーが閉じていることを確認します。

2 電源ケーブルを本製品に接続します。

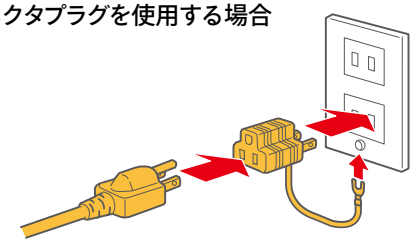


3 電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

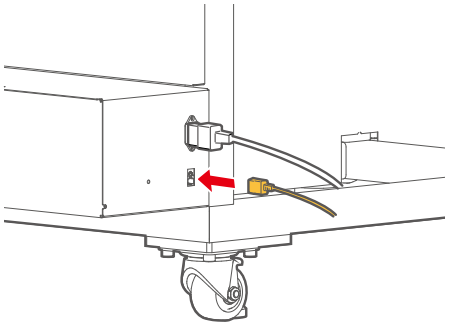
3芯プラグを使用する場合



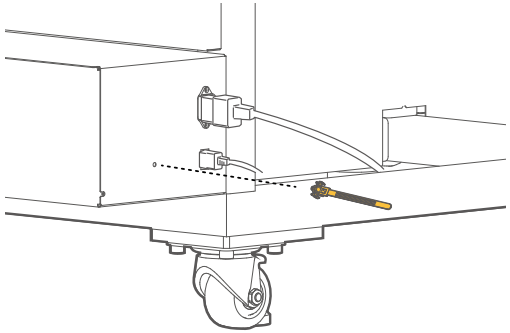
3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合

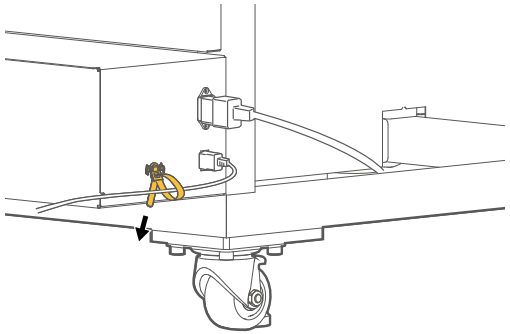


4 イーサネットケーブルを本製品に接続します。



5 リユースバンドをプリンターに取り付け、イーサネットケーブルをプリンターに固定します。

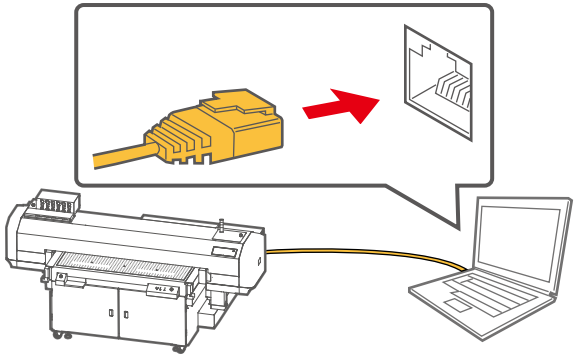




6 イーサネットケーブルを、コンピューターに接続します。

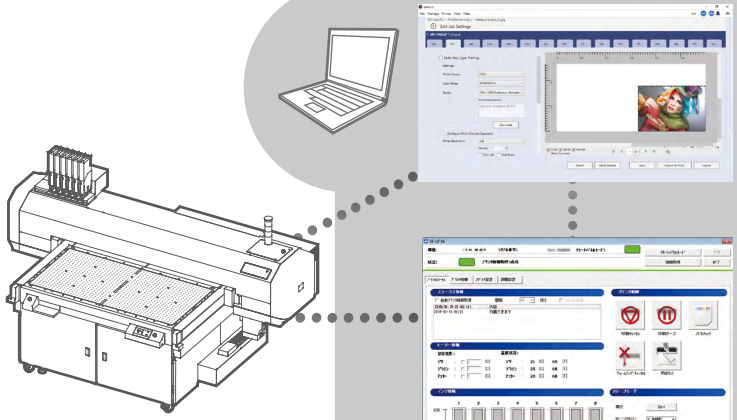
Note

- 右図は本製品とコンピューターを 1 対 1 接続した例です。接続方法はご使用の環境により異なります。
- 本製品を LAN で使用する場合は、接続先のコンピューターと同じサブネットになるようにしてください。



ご使用の前に
各部の名称・はたらき
テーブル寸法図
使用できるメディアの条件
ご使用上のお願い
コンピューターとの接続
本製品のシステム構成
セットアップ
各種設定
基本的な使い方
応用的な使い方
メンテナンス
困ったときは
付録

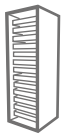
本製品のシステム構成



VerteLith
当社純正のRIPソフトウェアです。各種グラフィックアプリケーションで作成したデータをプリンターで印刷可能な形式に変換し、プリンターに送信します。

MUTOH Status Monitor (MSM)
プリンターの状態確認やメンテナンスを行います。また、MUTOH Club*にユーザー登録すれば、常に最新のサービスが提供されます。
主な機能：
（一部の機能はMUTOH Clubへのユーザー登録とインターネットへの接続が必要です）
・ステータスモニター
・リモートパネル

インターネット



MUTOH Clubサーバー
MUTOH Club*へ接続します。
https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

***MUTOH Club**
ユーザーに役立つコンテンツを無料で提供するWebサービスです。ユーザー登録をすると様々なサービスをご利用いただけます。
主な機能：
・最新アプリ、マニュアルのダウンロード
・メディアプロファイルのダウンロード
・プリンター状態の確認（MSMのプリンター情報提供サービス使用時）

セットアップ

電源を入れる 53

セットアップの流れ 56

MUTOH Status Monitor のインストール 93

MSM の起動／表示／終了 94

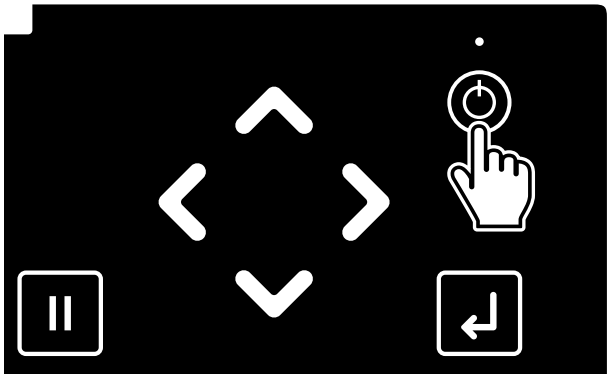
VerteLith のインストール 97

電源を入れる

電源をオンにする

1 フロントカバーを閉じます。

2 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
- 各キーが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。
- [Welcome] と表示されたら、電源ボタンを離してください。



電源をオフにする

Important !

本製品は、電源を常時オンにしてご使用ください。使わないときは必ずスリープモードにしてください。

- スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因となります。

☞「スリープモード」P.145

長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

☞「長期間使用しない場合」P.236

本製品の電源を一時的にオフにする場合は、以下の手順で行います。

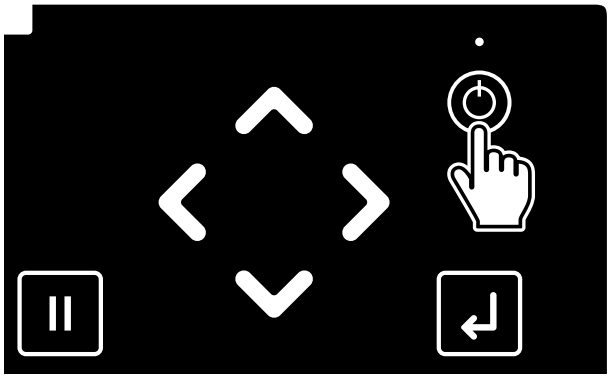
1 印刷が終了し、メディアと治具が取り外されていることを確認します。

2 デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。

☞「デイリーメンテナンスの準備」P.195

3 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。

- [デイリーメンテナンス　カイシ　ー＞ Enter] が表示されます。



Note

Cancel キーをタップすると、デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフします。

☞「3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする」P.238

- デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフすると、プリントヘッド周辺のインクが固着し故障の原因となるため、通常は必ずデイリーメンテナンスを行ってください。

4 Enter キーをタップします。

- ガントリーが本製品の背面側に移動します。
- [メディアヲトリノゾイテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。

5 メディアと治具を取り除き、Enter キーをタップします。

- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
- ガントリーとキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

Note

プリンターが障害物を検出した場合、再び [メディアヲトリノゾイテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。
メディアや治具を取り除いて、Enter キーをタップしてください。

6 [デイリーメンテナンス　シュウリョウ　ー> Enter] が表示されます

- デイリーメンテナンスを開始します。

☞「デイリーメンテナンスの準備」P.195

- メンテナンス終了後、Enter キーをタップします。
- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

7 [クリーニングチュウ ＊＊%] が表示されます。

- 自動で微量クリーニングを行います。

8 微量クリーニング終了後、[デンゲンシャダンチュウ] が表示され、本製品が電源オフ動作を開始します。

セットアップの流れ

以下のフローに従って、初回のセットアップを行います。

初期設定

- 本製品の IP アドレスの設定などを行います。

アクティベーション

初期洗浄～初期充てん

- 本製品にインクパックを取り付け、プリントヘッドをインクで満たします。

メディアをセットする

- ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

- ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

印刷精度の調整

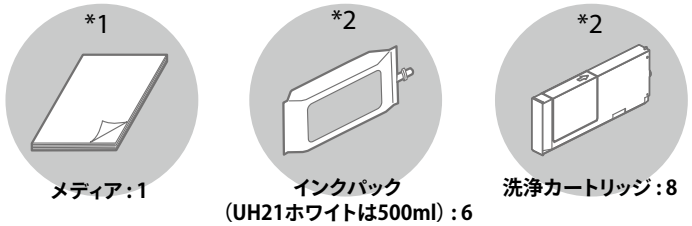
- プリントヘッド間のずれを調整します。

MUTOH Status Monitor のインストール

- MUTOH StatusMonitor（MSM）を、コンピューターにインストールします。

セットアップ完了！

本製品のセットアップには、同梱品以外に以下のものが必要です。



＊1　メディアの使用可能サイズは以下のとおりです。
- サイズ：1420㎜× 700㎜
- 厚さ：150㎜以下
- 表面高低差（目安）：0.5㎜以下
- 重量：50kg /㎡以下

＊2　オプションまたはサプライ品です

初期設定

ディスプレイ表示の設定を行います。

1 電源ボタンを入れます。

☞「電源をオンにする」P.53

Important!

初回起動時はガントリーが中央からホームポジション（バキュームテーブル背面側）へ移動します。

2 パネルに表示する言語を選択します。

- 初回起動時は [Language：　English] が表示されます。
- ⌃/⌄ キーで言語を選択し、↵ Enter キーをタップします。

3 長さの単位を設定します。

- [ナガサタンイ：　mm] が表示されます。
- ▲/▼ キーで長さの単位を選択し、↵ Enter キーをタップします。

4 インク残量の表示をディスプレイで行うかを設定します。

- [インクリョウ：　オフ] が表示されます。
- ▲/▼ キーでオンオフを選択し、↵ Enter キーをタップします。

5 本製品の IP アドレスを設定します。

- [ＩＰアドレス：192. 168. 1. 253] が表示されます。
- ▲/▼ キー：設定値を増減させます。
- ＜ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ＞ キー：カーソルが次の設定値に移動します。
- 入力後、↵ Enter キーをタップします。

6 本製品のサブネットマスクを設定します。

- [サブネットマスク：　255. 255. 255. 0] が表示されます。
- ▲/▼ キー：設定値を増減させます。
- ＜ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ＞ キー：カーソルが次の設定値に移動します。

すべての設定値を入力してください。
入力後、↵ Enter キーをタップします。

7 本製品のゲートウェイを設定します。

- [ゲートウェイ：　192. 168. 1. 254] が表示されます。
- ▲ / ▼ キー：設定値を増減させます。
- ◀ キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- ▶ キー：カーソルが次の設定値に移動します。

すべての設定値を入力してください。
入力後、↵ Enter キーをタップします。

8 エラー時などに鳴る警告ブザーの動作を選択します。

- [ケイコクブ゛ザ゛ー：オン] が表示されます。

▲ / ▼ キーでオンオフを選択し、↵ Enter キーをタップします。

9 [イニシャルチュウ] が表示され、本体が初期動作を開始します。

アクティベーション

[アクティベーション　ヲ　シテクダサイ] と表示されたらアクティベーションを行ってください。

アクティベーションには 2 種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

☞「コントロールパネルから設定する場合」P.60
☞「インターネットから設定する場合」P.61

Note

上記のメッセージが表示されているときに (Home キー) タップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

コントロールパネルから設定する場合

1 [アクティベーション　ヲ　シテクダサイ] が表示されたら、Enter キータップします。

- [0000-0000-0000-0000] が表示されます。

2 16 桁のアクティベーションコードを入力します。

- キー：設定値を増加させます。
- キー：設定値を減少させます。
- キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、Enter キーをタップします。

Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

3 [アクティベーション　セイコウ！　プリンタ　ヲ　サイキドウ] が表示されたら、電源ボタンを 2 秒以上押して、電源をオフにします。

- [デンゲンシャダンチュウ] のメッセージが表示されたら、電源ボタンを離してください。
- しばらく待ってから電源ボタンを 2 秒以上押して、再起動します。

インターネットから設定する場合

[アクティベーション　ヲ　シテクダサイ] が表示されたら、[プリンタ・アクティベーションガイド] に従ってアクティベーションを行ってください。

Note

[プリンタ・アクティベーションガイド] とアクティベーションコードは、下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、[新規登録] からユーザー登録を行うと入手できます。
https://mutoh-club.com/mutoh/guser/

初期洗浄～初期充てん

必要なもの：

- 洗浄カートリッジ：8 本
- インクパック：6 本
  ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、バーニッシュ、ホワイト
- インクパックアダプター：6 つ

Note

大容量パックアダプターの取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

1. 初期洗浄

1 [インクジュウテン　カイシ] が表示されたら Enter キーをタップします。

Note

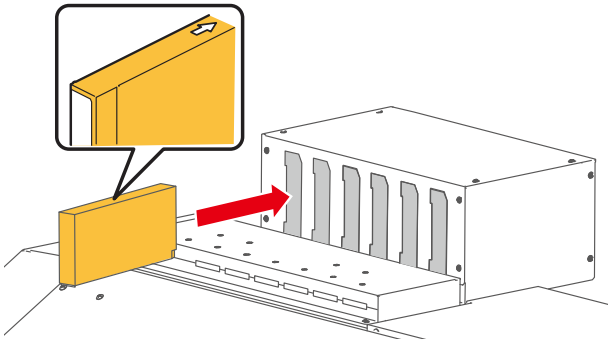
上記のメッセージが表示されているときに Home キーをタップすると、IP アドレスなどの初期設定をやり直すことができます。

2 [ハイエキ　ヲ　ステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] と表示されたら、廃液タンクが空なのを確認して Enter キーをタップします。

3 [センジョウカートリッジ　ヲ　セット] と表示されます。

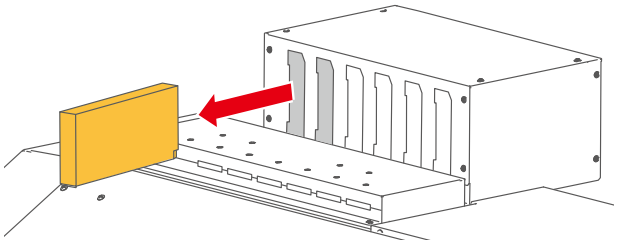
4 すべてのインクスロットに洗浄カートリッジを差し込みます。

- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。
- [ヘッドセンジョウカイシ　—> Enter] が表示されたら、Enter キーをタップします。
- [ヘッドセンジョウチュウ] が表示され、洗浄液の充てんを開始します。
- 洗浄液の充てんが終わると、[[56] カートリッジヲハズス] と表示されます。

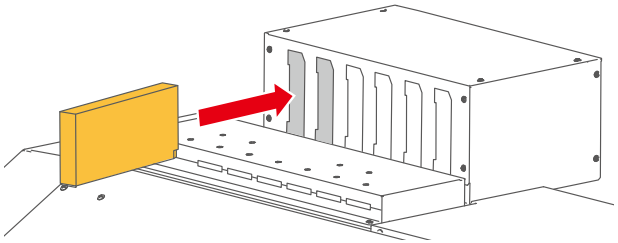


5 スロット 5 とスロット 6 のみ、もう一度充てんします。

- スロット 5 とスロット 6 の洗浄カートリッジを抜きます。



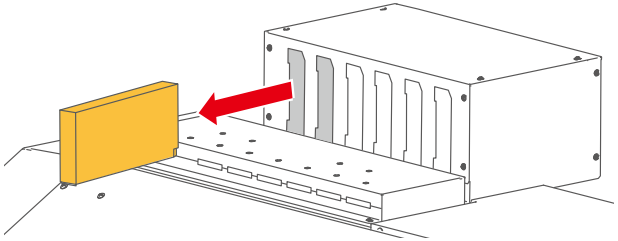
- [[56] センジョウエキヲセット] が表示されたら、スロット 5，スロット 6 に新しい洗浄カートリッジを差し込みます。
- [ヘッドセンジョウカイシ　—> Enter] が表示されたら、Enter キーをタップします。
- [ヘッドセンジョウチュウ] が表示され、洗浄液の充てんを開始します。



- 充てんが終わると、[カートリッジヲ　ヌイテクダサイ] が表示されます。

6 すべての洗浄カートリッジを抜きます。

- [ヘッドセンジョウチュウ　＊＊%] が表示され、洗浄液の排出を開始します。



7 洗浄液の排出が終わると、[ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] と表示されます。

- 廃液タンクを空にします。

☞「2. 廃液の排出」P.64

2. 廃液の排出

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

1 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Media Set] 状態にします。

- Print LED が消灯します。

☞「Print / Media Set の選択」P.39

2 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

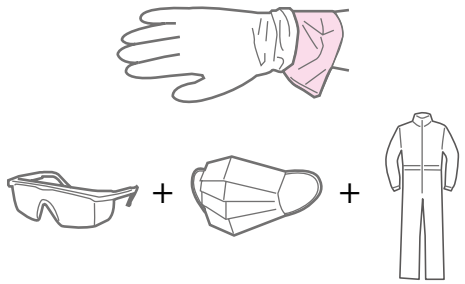
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

Note

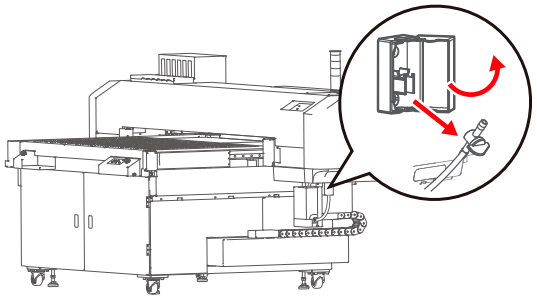
廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがありますが、ご使用上問題はありません。

3 汚れてもかまわない紙や布を廃液タンクの下にしきます。

4
- ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。
- ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



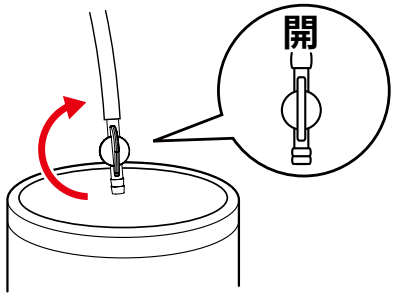
5 廃液バルブケースのカバーを開き、開閉コックを取り外します。



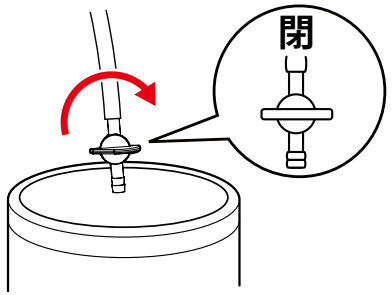
6 廃液バルブの先端を空容器に入れた後、廃液バルブを開き、空容器に廃液を移します。

Important!

開閉コックを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。開閉コックの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

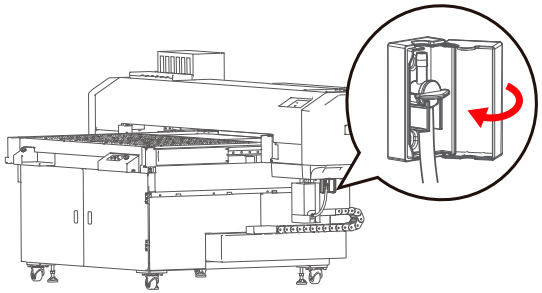


7 廃液を空容器に移し終わったら、廃液バルブを確実に閉めます。



8 廃液バルブの口を乾いた布で拭き取ります。

9 廃液バルブを廃液バルブケースに収納し、カバーを閉じます。



10 廃液は産業廃棄物として処理します。

警告

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
- 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

11 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Print] 状態にします。

- Print LED が点灯します。

☞「Print / Media Set の選択」P.39

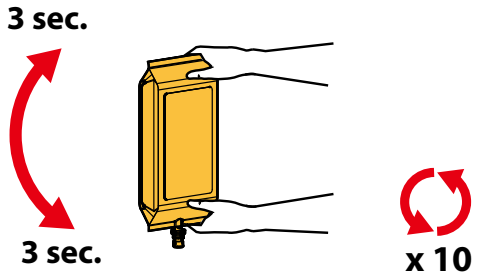
3. 初期充てん

1 [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されていることを確認します。

- ↵ Enter キーをタップします。
- [インクカートリッジ　ヲ　セット] が表示されます。

2 インクパックは、必ずかくはんしてください。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。※ WH のみ 20 回



Important!

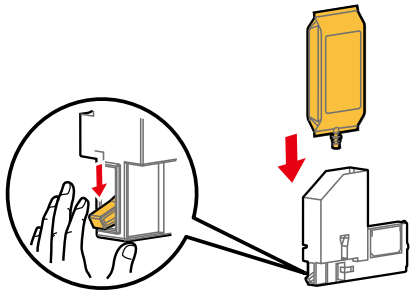
必ず新品のインクパックを使用してください。

Note

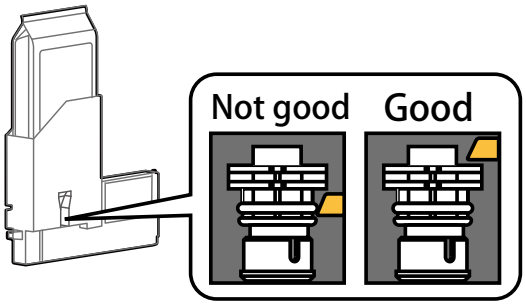
バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

3 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

- インクパックは奥までしっかりと挿入してください。

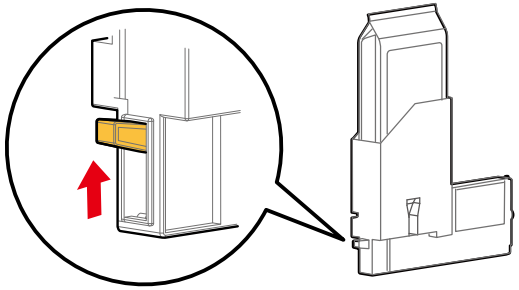


4 インクパックが奥まで差し込まれ、ロックしていることを確認します。



5

大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。

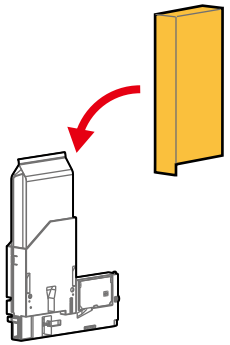


6

遮光カバーを取り付けます。

Note

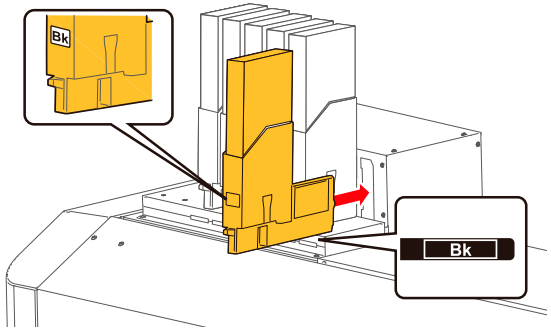
- 遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。
- 大容量パックアダプターの詳細につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書をご参照ください。



7

全インクの大容量パックアダプターをインクスロットにさし込みます。

- 本製品のラベルとインクパックの色を合わせてください。
- 奥までしっかりさし込んでください。
- [[123456] S/C カード　ナシ] が表示されます。

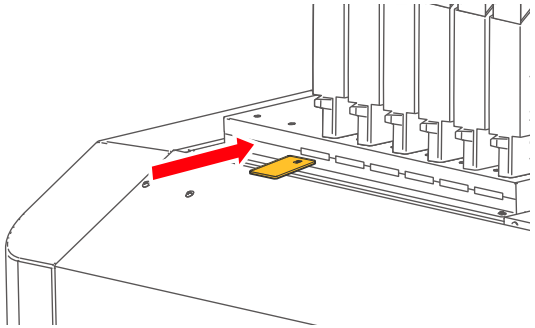


8 スマートチップカードをカードスロットにさし込みます。

- [インクジュウテンチュウ　＊＊％] が表示されます。

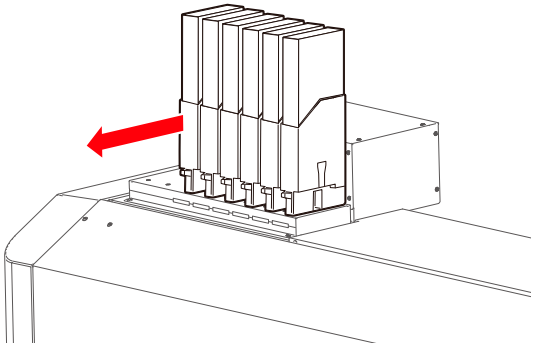
Note

新品の大容量パックアダプターをご使用の場合、先端のゴムが強いため、奥までさし込んでも少し戻される場合があります。スマートチップカードをさし込んでもインク充てんが開始されない場合は、大容量パックアダプターを抜きさししてください。



9 [カートリッジヲヌイテクダサイ] が表示されたら、全インクの大容量パックアダプターをいったん抜きます。

- [インクジュウテンチュウ　＊＊％] が表示され、インクが廃液タンクに排出されます。



10 [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されたら、廃液タンクを空にします。

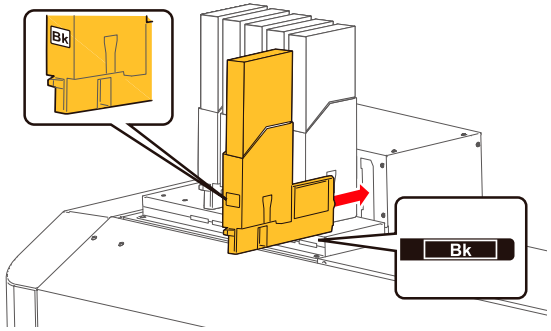
☞「2. 廃液の排出」P.64

11 廃液タンクを空にしたら、↵ Enter キーをタップします。

- [インクカートリッジ゛　ヲ セット] が表示されます。

12 **手順⑨で抜いた全インクの大容量パックアダプターを再度インクスロットへさし込みます。**

- 本製品のラベルとインクパックの色を合わせてください。
- 奥までしっかりさし込んでください。
- [インクジュウテンチュウ　＊＊％] が表示されます。



4. インクをセットした後の手順

1 **[インクジュウテンチュウ＊＊％] が表示されます。**

- インク充てんを開始します。

注意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- **製品の電源をオフにする**
- **製品の電源ケーブルを抜く**
- **フロントカバーやメンテナンスカバーを開ける**
- **プリンターを移動する**

2 **インク充てんが完了すると、[メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。**

- インク充てんが完了しました。

メディアをセットする

必要なもの：メディア（ノズルチェックの場合は A3 サイズ以上）

1. メディアをテーブルに置く

1 [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されていることを確認します。

- 表示されていないときは、∨ キーをタップします。

2 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Media Set] 状態にします。

- Print LED が消灯します。

☞「Print / Media Set の選択」P.39

3 テーブルにメディアを置いて、バキュームゾーンとバキュームの強さを選択します。

☞「バキュームの操作方法」P.39

Note

メディアの右手前の角を、テーブルにあるガイドラインに合わせてください。

4 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Print] 状態にします。

- Print LED が緑色に点灯します。

5 [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されていることを確認し、∧ キーをタップします。

- [**：セットカクニンヒョウジ：オン] が表示されます。
- ↵ Enter キーをタップします。

Note

「セット確認表示」について

- 本メニューは、ユーザー定義の初回選択時のみ表示します。
- [オン] を選択すると、毎メディアセット時に、∧ キーをタップした後 [メディア高さ][高さ変更確認][障害物検出][メディアサイズ][原点位置] の入力を行います。
- ∨ キーで [オフ] を選択すると、毎メディアセット時に、∧ キーをタップした後 [インサツデキマス] を表示します。その場合は、[メディア高さ][障害物検出][メディアサイズ][原点位置] は、選択しているユーザー定義の設定値を使用します。
- [オフ] を選択した後でも、[インサツデキマス] または [メディア　ヲ　セットシテ、∧ キーをタップシテクダサイ] 表示中に ⏸ Cancel キーをタップすると、[**: メディアセッテイ 1　セットカクニン] から [メディア高さ][高さ変更確認][障害物検出][メディアサイズ][原点位置] が入力できます。

2. メディアの高さ、障害物検出時の動作の設定

1 [**：タカサ：　オート] が表示されているのを確認し、∧ / ∨キーでメディアの高さの設定方法を選択します。

- [オート]：自動でメディアの高さを検出します。高さ検出センサーが反応しなくなるまで、ガントリーが上昇します。
- [マニュアル]：手動でメディアの高さを入力します。
- ↵ Enter キーをタップします。

Note

透明なメディアの場合、メディアの高さが正しく検出されない可能性があります。

☞「メディアセット時にメディアを正しく認識できない」P.254

2 メディアの高さを設定します。

[オート] を選択した場合

- [**：PG オフセット：(0.0-1.5) 0.0 mm]　が表示されます。
- ▲ / ▼ キーでプリントヘッドとメディアとの間の補正距離を入力し、↵ Enter キーをタップします。
- [**：タカサヘンコウカクニン：オフ] が表示されます。 [オン] に設定すると、メディアセット時に、高さの変更を確認するメッセージが表示されるようになります。[オフ] に設定した場合は表示されません。

☞「タカサヘンコウカクニン」P.101

- ▲ / ▼ キーで [オン] か [オフ] を選択し、↵ Enter キーをタップします。

Note

- プリントヘッドとメディアとの間の距離の初期値は 1.2 mm です。さらに距離を広げる場合に、0.0 mm ～ 1.5 mm の間で入力することができます。
  例）[PG オフセット：0.5 mm] に設定した場合、プリントヘッドとメディアとの間の距離は、1.2 mm + 0.5 mm = 1.7 mm になります。

[マニュアル] を選択した場合

- [**：メディアタカサ：(0.0-151.5) 0.0 mm] が表示されます。
- ▲ / ▼キーでメディアの高さを入力し、↵ Enter キーをタップします。

Note

メディアの高さは 0.0 mm ～ 151.5 mm の間で入力することができます。

3 [＊＊：ショウガイブツケンシュツ：　オフ] が表示されていることを確認し、▲/▼ キーで、印刷中の障害物検出時の動作を選択します。

- [オフ]：印刷中に障害物検出動作を行いません。
- [オート]：印刷を一時停止します。センサーが反応しなくなるまでガントリーが上昇してから、印刷を再開します。
- [キャンセル]：印刷をキャンセルし、コントロールパネルに障害物検出エラーを表示します。
- [カクニン]：印刷を一時停止します。印刷の再開、またはキャンセルを選択するメニューを表示します。
- 選択したら、↵ Enter キーをタップします。

Note

ガントリーが一番上まで上昇してもセンサーが反応する場合、印刷を中止し、コントロールパネルに障害物検出エラーを表示します。

4 （手順②で、[タカサヘンコウカクニン　オン] を選択した場合のみ）
[メデ゛ィアタカサ　ハ　オナジ゛デ゛スカ?　H：XXX．X mm　ハイ] が表示されます。

- ▲/▼ キーで「ハイ」か「イイエ」を選択し、↵ Enter キーをタップします。

Note

- 本メッセージは、メディア設定メニューで高さ設定を [オート] に、高さ変更確認設定を [オン] に設定している場合のメディアセット時に表示されます。ただし、以下の場合は除きます。
  - 電源をオンにした後の最初のメディアセット時
  - 高さ設定を [マニュアル] から [オート] に切り替えた後の最初のメディアセット時
- セットするメディア高さが前回セットしていたメディア高さと変わらない場合、[ハイ] を選択すると、メディア高さの検出時間が短縮されます。
- セットするメディア高さが、前回セットしていたメディア高さと異なる場合や、[ハイ] を選択してエラーが発生する場合には、[イイエ] を選択してメディア高さを再検出させてください。

5 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- ガントリーが手前に移動しながら、メディア高さ検出センサーでメディアを検知します。

障害物が検出されない場合、次の手順に進みます。

☞「3. メディアの幅と長さ、原点の入力」P.76

障害物が検出された場合、コントロールパネルに障害物検出エラーを表示します。

- ▼ キーをタップします。

メディアセットをやり直し、メディアの高さを修正してください。

☞「1. メディアをテーブルに置く」P.72
☞「2. メディアの高さ、障害物検出時の動作の設定」P.73

3. メディアの幅と長さ、原点の入力

1 メディアの幅を入力します。

- [＊＊：ハバ：(30 - 1420) 1420 mm] が表示されていることを確認します。
- ▲ / ▼ キーでメディアの幅を入力し、↵ Enter キーをタップします。

Note

幅は 30mm ～ 1420mm の間で入力することができます。

2 メディアの長さを入力します。

- [＊＊：ナガサ：(30 - 700) 700 mm] が表示されていることを確認します。
- ▲ / ▼ キーでメディアの長さを入力し、↵ Enter キーをタップします。

Note

長さは 30 mm ～ 700 mm の間で入力することができます。

3 印刷開始位置を入力します。

- [＊＊：ゲンテンセッテイ：PF：0.0 CR：0.0]　が表示されていることを確認します。
- ▲ / ▼ キーで、前後方向 (PF) の印刷開始位置を入力します。
- ◀ / ▶ キーで、左右方向 (CR) の印刷開始位置を入力します。
- ↵ Enter キーをタップします。

Note

原点は PF: 0.0 ～ 680、CR: 0.0 ～ 1400 の間で入力することができます。

- [ゲンテンニイドウチュウ] が表示され、ガントリーが奥に移動します。
- LED ポインターを点灯しながらキャリッジが設定位置に移動します。

4 移動位置を確認します。

- 移動位置があっている場合は、↵ Enter キーをタップします。
- 移動位置があっていない場合は、以下のように調整します。
- ▲ / ▼ キーで、前後方向 (PF) の印刷開始位置を調整します。
- ◀ / ▶ キーで、左右方向 (CR) の印刷開始位置を調整します。
- ↵ Enter キーをタップします。

5 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- [インサツデキマス] が表示されたら、メディアのセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

毎日の作業前にノズルチェックをしてください。ノズルの目詰まりがあるときは、クリーニングを行います。

ノズルチェックの種類

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ノズルチェック F：すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。
  ☞「ノズルチェック F の場合」P.79
- ノズルチェック：「ノズル選択」の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。
  ☞「ノズルチェックの場合」P.80
- ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。
  ☞「ノズルチェック B の場合」P.81
- ノズルチェック L: 反原点側のテーブルの印刷範囲外でノズルチェックパターンを印刷します。印刷用メディアをテーブル上にセットしたままでも、ノズルチェックパターンを印刷することができます。
  ☞「ノズルチェック L の場合」P.82

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- 印刷した線がかすれる
- 部分的に印刷されない

このような場合には、[メニュー 3：メンテナンス][メンテナンス 1：クリーニング] に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。
微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。
それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P.266 までご連絡ください。

Note

ホワイトインクの確認をする場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

1. ノズルチェックの手順

ノズルチェック F の場合

1 ノズルチェックで使用するメディアをバキュームテーブルにセットし、バキュームゾーンと強さを選択します。

- メディアセット時はバキュームテーブルの [Print / Media Set] スイッチを [Media Set] にしてください。
- A3 サイズ以上のメディアを横にして置きます。

☞「メディアをセットする」P.72
☞「バキュームの操作方法」P.39

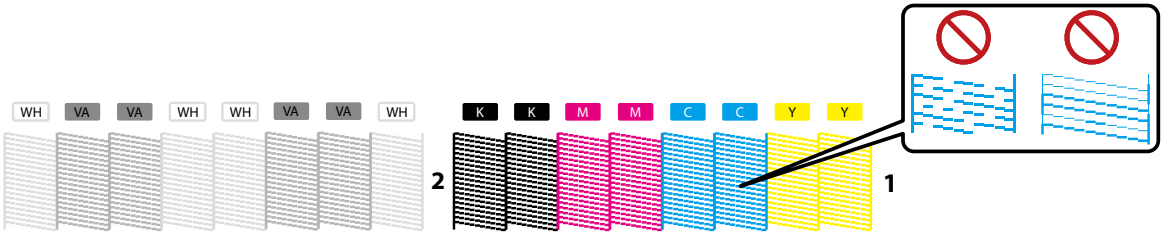
2 [インサツデキマス　H : XXX.Xmm　Type 1] が表示されていることを確認します。

3 キーをタップします。☞「ダイレクトキーの説明」P.34

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されます。
- Enter キーをタップするとノズルチェック F パターンの印刷を開始します。

4 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合、[2. クリーニングの手順] に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

ノズルチェックの場合

1 ノズルチェックで使用するメディアをバキュームテーブルにセットし、バキュームゾーンと強さを選択します。

- メディアセット時はバキュームテーブルの Print/Media Set スイッチを [Media Set] にしてください。
- A3 サイズ以上のメディアを横にして置きます。

☞「メディアをセットする」P.72
☞「バキュームの操作方法」P.39

Note

MiniMSM からもノズルチェックを行えます。

☞「MiniMSM」P.96

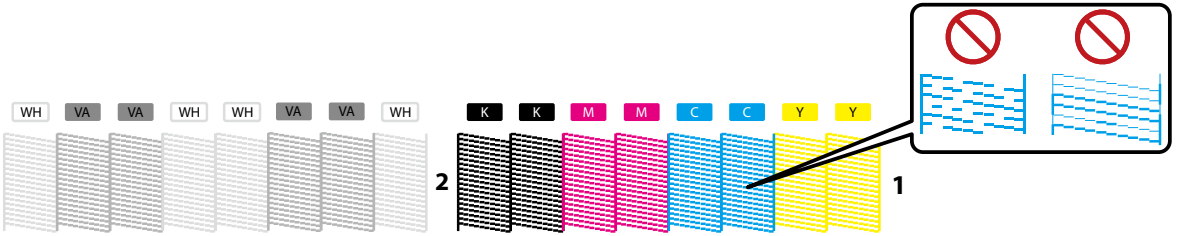
2 [インサツデキマス　H : XXX.Xmm　Type 1] が表示されていることを確認します。

3 ◀ キーをタップします。☞「ダイレクトキーの説明」P.34

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、▲ / ▼ キーで [ノズルチェック] を選択します。
- ↵ Enter キーをタップすると、ノズルチェックパターンの印刷を開始します。

4 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合、[2. クリーニングの手順] に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

- パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ノズルエリア選択）が印刷されます。

ノズルチェック B の場合

1 ノズルチェックで使用するメディアをバキュームテーブルにセットし、バキュームゾーンと強さを選択します。

- メディアセット時はバキュームテーブルの Print/Media Set スイッチを [Media Set] にしてください。
- A3 サイズ以上のメディアを横にして置きます。

☞「メディアをセットする」P.72
☞「バキュームの操作方法」P.39

Note

MiniMSM からもノズルチェック B を行えます。

☞「MiniMSM」P.96

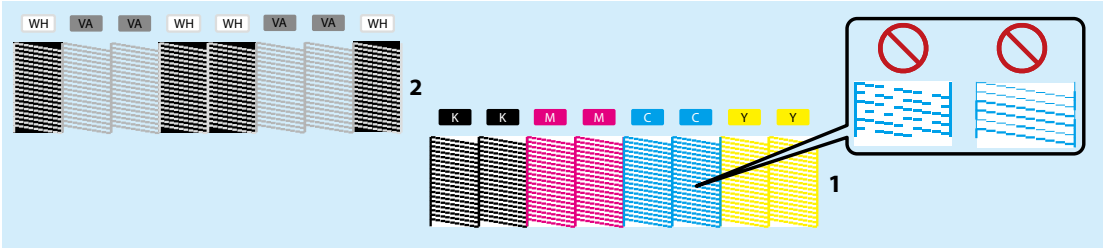
2 [インサツデキマス　H : XXX.Xmm　Type 1] が表示されていることを確認します。

3 ◀ キーをタップします。☞「ダイレクトキーの説明」P.34

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、▲ / ▼ キーで [ノズルチェック B] を選択します。
- ↵ Enter キーをタップすると、ノズルチェック B パターンの印刷を開始します。

4 パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合、[2. クリーニングの手順] に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



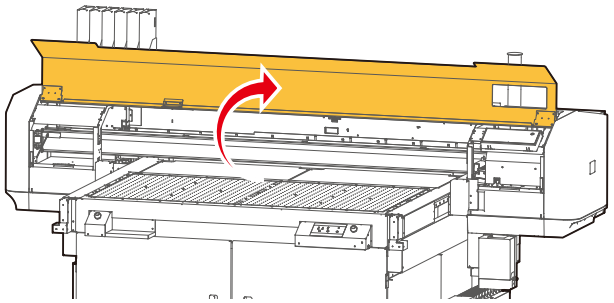
Note

- 上記のパターンは、ノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分を水色にしています。
- パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ノズルエリア選択）が印刷されます。

ノズルチェック L の場合

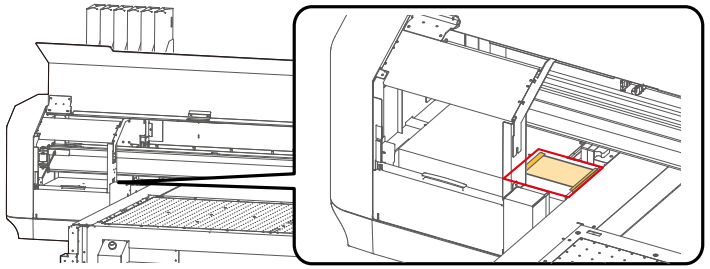
1 **フロントカバーを開きます。**

- [カバーオープン] が表示され、プリンターが動作不可になります。



2 **ノズルチェックで使用するメディアを、ガントリー左側のノズルチェック L スペース（下図イラストの赤枠部分）にセットします。**

- A6 サイズ（105㎜× 148㎜）程度のメディアを、スペースの右端に合わせてセットしてください。
- メディアが浮かないように、マスキングテープ等で固定してください。



Note

MiniMSM からもノズルチェック L を行えます。

☞「MiniMSM」P.96

3 **フロントカバーを閉じます。**

- [カバーオープン] の表示が消え、プリンターが動作可能になります。

4

キーをタップします。 ☞「ダイレクトキーの説明」P.34

- [インサツヲカイシシマスカ？　ノズルチェック F] が表示されたら、 / キーで [ノズルチェック L] を選択します。
- キーをタップして [ノズルチェック L　カイシ　ー> Enter] を表示させます。
- Enter キーをタップすると、ノズルチェック L パターンの印刷を開始します。

Note

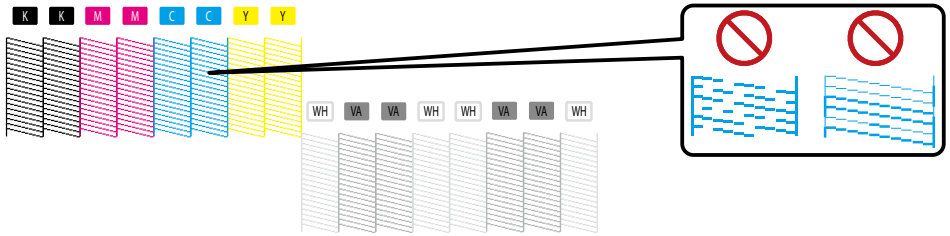
メディアセットが完了していない場合、ノズルチェックLの実行確認画面が表示されます。

☞「ダイレクトキーの説明」P.34

5

パターンを確認します。

- ノズルの目詰まり（線が抜けている）があったり、線がかすれている場合、[2. クリーニングの手順] に進みます。
- ノズルの目詰まりがない場合は、印刷を開始できます。



Note

パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン、ノズルエリア選択）が印刷されます。

2. クリーニングの手順

1 [インサツデキマス　H:XXX.Xmm　Type 1] または [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されていることを確認します。

2 ▶ キーをタップします。☞「ダイレクトキーの説明」P.34

3 [クリーニングシマスカ?　ビリョウ] が表示されたら、実行するクリーニング種類を ▲ / ▼ キーで選択します。

- ↵ Enter キーをタップします。
- クリーニングを開始します。

4 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりがないかどうかを確認します。

☞「1. ノズルチェックの手順」P.79

- ノズルの目詰まりが解消されない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。

Note

通常クリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが解消されない場合は、以下の対処方法を参考にしてください。

1. 強力クリーニングを行ってください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
2. 以下を清掃してください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
   ☞「各部の清掃の流れ」P.209
3. メンテナンスメニューのクリーニングから「微量充てん」を行ってください。（解消されない場合は、次に進んでください。）
   ☞「ヘッドクリーニング」P.204
4. 「漬け置きクリーニング」を実施してください。
   ☞「漬け置きクリーニング」P.206
5. 「漬け置きクリーニング」でも解消しない場合は、ノズルの目詰まりのないノズルを選択することができます。
   ☞「ノズル選択」P.113

印刷精度の調整

初回の印刷開始前や印刷条件（メディアの厚み、PG オフセットの使用）を変えたときは、印刷精度の調整を行ってください。

印刷精度の調整には「ヘッド調整」「調整印刷」の 2 種類があります。ヘッド調整を行った後は、必ず調整印刷を行ってください。ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。☞「調整印刷」P.88

ヘッド調整

本製品には、プリントヘッドが 2 つ搭載されています。プリントヘッド間（カラーとホワイト）のズレを本メニューの調整パターンの印刷結果で確認し、調整することができます。

本メニューには次の 2 つの調整方式があります。

- スタンダード：現在のユーザ定義で使用している作画モードのみを調整します。スタンダード で調整したときは、RIP 側の作画モードをユーザー定義の作画モードと同じにしてください。
- カスタム：現在のユーザー定義で使用している作画モード以外の作画モードを含めて調整できます。RIP 側の作画モードがユーザー定義の作画モードと違っていても、画質（カラーとホワイトを使用するデータの場合）が最適になります。

Note

- 以下の場合にはヘッド調整を行うと、画質が改善できる可能性があります。
  作画方向が双方向の作画モードを使用していて画質（カラーとホワイトのズレ）が気になるとき☞「調整印刷」P.88
  調整印刷をしても画質（カラーとホワイトを使用するデータの場合）が向上しないとき
- ヘッド調整を行った後は、必ず調整印刷を行ってください。
  ヘッド調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。☞「調整印刷」P.88
- スタンダードヘッド調整を行った後に、作画モードを変更するときは、必ずヘッド調整も合わせて行ってください。
- カスタムヘッド調整の「調整 ALL」を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更してもヘッド調整は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザー定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、カスタムヘッド調整であらかじめすべてのパターン（A、B、D、E）を確認し、ズレがあるパターンは調整を行っておいてください。

ヘッド調整の手順

1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.72

2 ヘッド調整メニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- ▼キーでメニューをスクロールし、[メニュー 2 ：テストインサツ] を選択します。
- ▶キーをタップ ➡ [テストインサツ 1　ノズルチェック] が表示されます。
- ▲/▼キーで メニューをスクロールし、[テストインサツ 8　ヘッドチョウセイ] を選択します。
- ▶キーをタップ ➡ [ヘッドチョウセイ 1　スタンダード] が表示されます。

3 ▲/▼キーで調整方式を選択します。

スタンダードを選択した場合

- Enter キーをタップすると、調整パターンを印刷します。

カスタムを選択した場合

- ▶キーをタップ すると、[カスタム 1 チョウセイオール] が表示されます。
- ▲/▼キーで調整パターンを選択し、Enter キーをタップすると印刷します。

Note

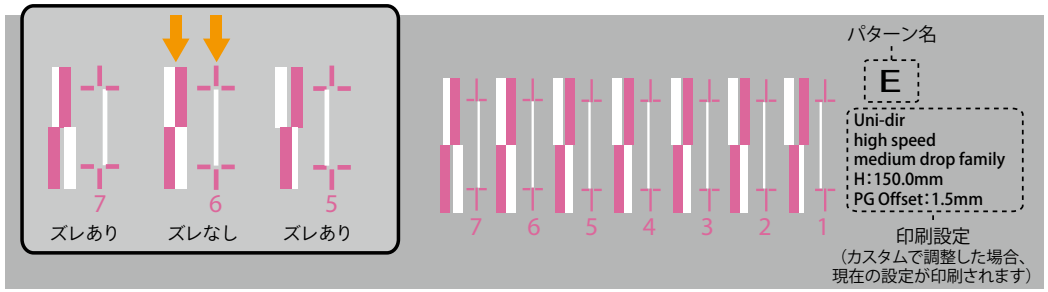
調整パターンの印刷中に Cancel キーをタップすると印刷をキャンセルします。

4 印刷結果を確認し、次の手順に従って調整します。

確認手順

1 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンを探します。ヘッド調整パターンは、メディア両端と中央に印刷されます。

- ズレのないパターンの下に印刷されている番号が調整値です。



2 調整値を入力します。

- ディスプレイに [パターン E：3] などと表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を ⌃ / ⌄ キーで入力して、↵ Enter キーをタップします。
- 上の図の場合、[パターン E：6] と入力します。
- 「ヘッドチョウセイ 2：カスタム」を選択し、かつ「チョウセイオール」を選択した場合は、A、B、D、E について調整値を入力します。

調整印刷

プリントヘッドの往復動作のズレを、本メニューの調整パターン印刷結果で確認し、調整します。

本メニューには次の２つの調整方法があります。

- スタンダード：現在のユーザー定義で使用している作画モードのみを調整します。スタンダードで調整したときは、RIP 側の作画モードをユーザー定義の作画モードと同じにしてください。
- カスタム：現在のユーザー定義で使用している作画モード以外の作画モードでも調整できます。RIP 側の作画モードがユーザ定義の作画モードと違っていても、画質が最適になります。

作画モードに対応する調整パターン

※設定されている作画モードにより印刷するパターンは以下の通りです。

作画モード設定	印刷パターン
Build Up	パターン E
Quality	
Production	
High Speed	パターン D
Draft	

Note

- 製品の設置環境、使用するメディア等を変更して、作画画質が変化した場合に、調整印刷を行ってください。
- スタンダード調整を行った後に、作画モードを変更する場合は、必ず調整印刷も合わせて行ってください。
- カスタム調整を行った場合は、すべての作画モードを一度に調整するため、作画モードを変更しても調整印刷は不要です。
- RIP ソフトなどで、ユーザ定義での設定とは異なる作画モードを指定するような場合は、カスタム調整であらかじめすべてのパターン（A、B、D、E）に対して調整を行っておいてください。

調整印刷の手順

1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.72

2 調整印刷メニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーを 2 回タップ すると、[ユーザーテイギ　Type 1] が表示されます。
- / キーを数回タップして使用するユーザー定義を選択し、 Enter キーをタップ します。
- [Type**：1 サクガモード] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[Type**：2　チョウセイインサツ] を選択します。
- キーをタップ ➡ [** チョウセイインサツ 1　スタンダード] が表示されます。

3 / キーで調整方式を選択します。

スタンダードを選択した場合

- キーをタップ ➡ [スタンダード 1　カクニンパターン] が表示されます。
- Enter キーをタップすると、確認パターンを印刷します。

カスタムを選択した場合

- キーをタップ ➡ [カスタム 1　カクニンパターン] が表示されます。
- Enter キーをタップすると、確認パターンを印刷します。

Note

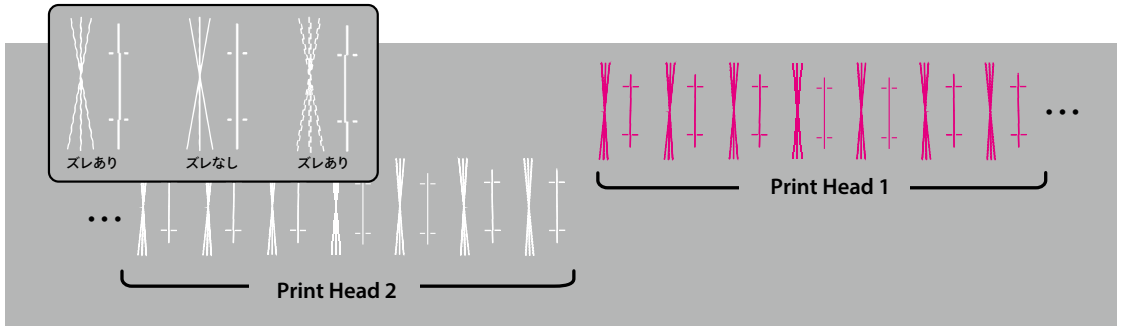
確認パターンの印刷中に Cancel キーをタップすると印刷をキャンセルします。

4 印刷結果を確認し、次の手順に従って調整します。

確認手順

1 印刷した確認パターンを確認し、ズレがないところを探します。

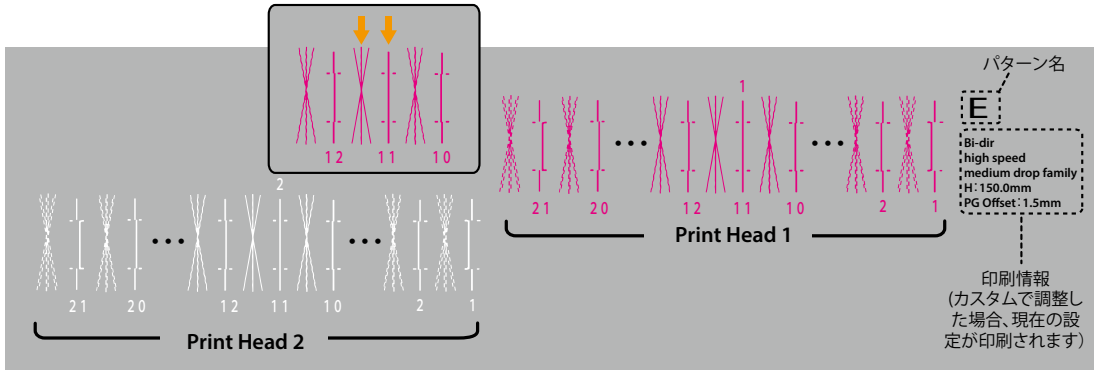
- 下図の場合、ズレがあります。



- ズレ量が大きいと思われる場合は、手順②に進みます。
- ズレ量が小さいと思われる場合は、手順⑤に進みます。

2 粗調整パターンを印刷します。

- カスタムの場合：粗調整オールまたは粗調整パターン A、B、D、E を選択して印刷します。
- プリントヘッド 1 について、印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。



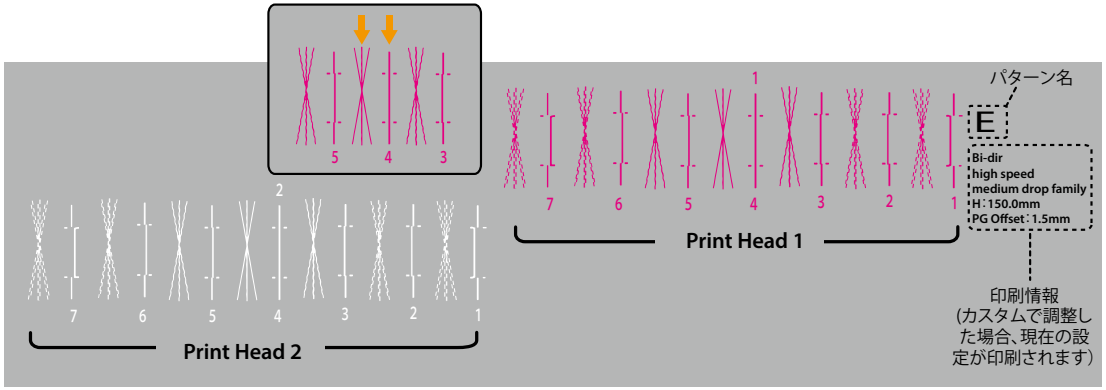
3 調整値を入力します。

- ディスプレイに「パターン E1：11」と表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を ▲ / ▼ キーで 入力して ↵ Enter キーをタップします。
- 手順②の図の場合「パターン E1：11」のまま、↵ Enter キーをタップします。

4 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

5 次に、調整パターンを印刷します。

- カスタムの場合：調整オールまたは調整 A、B、D、E を選択して印刷します。
- プリントヘッド 1 について、印刷結果を見て、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探します。



6 調整値を入力します。

- ディスプレイに [パターン E1 : 4] と表示されているので、もっともズレのないパターンの番号を ⌃ / ⌄ キーで入力して ↵ Enter キーをタップします。
- 手順⑤の図の場合、[パターン E1 : 4] のまま、↵ Enter キーをタップします。

7 同様に、プリントヘッド 2 の調整を行います。

MUTOH Status Monitor のインストール

印刷を行う前に、必ず MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールしてください。MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンター登録を行ってください。

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。

- MUTOH Club からダウンロードできるソフトウェアやマニュアルは以下のとおりです。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更することができます。 テスト作画を行うこともできます。
VerteLith	MUTOH プリンタの性能を最大限に引き出し、ユーザーのワークフローを効率化する純正 RIP ソフトウェアです。（ライセンス購入必要）
マニュアル （プリンターとソフトウェア）	以下のマニュアルが PDF でダウンロードできます。 • XPJ-1462UF 取扱説明書 [使い方とメンテナンス方法]（本書） • MUTOH Status Monitor 取扱説明書 • VerteLith　ユーザーマニュアル

Important!

- MSM は、必ず MUTOH Club からダウンロードされたものをご使用ください。

インストール方法

1. 本製品に同梱の [ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い] シートを見ながら、ユーザー登録とダウンロードを行います。

2. ダウンロードした zip ファイルを解凍し、その中の setup.exe をダブルクリックします。

MSM の起動／表示／終了

MSM の起動方法

Windows 11 / Windows 10

デスクトップの MSM アイコンをダブルクリックします。

Note

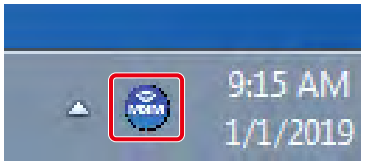
Windows のスタートメニューから起動する方法

• Windows 11 / Windows 10

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（または［すべてのアプリ］）-［MUTOH］-［MUTOH Status Monitor］の順にクリックします。

MSM の表示方法

タスクトレイの MSM アイコンをダブルクリックします。

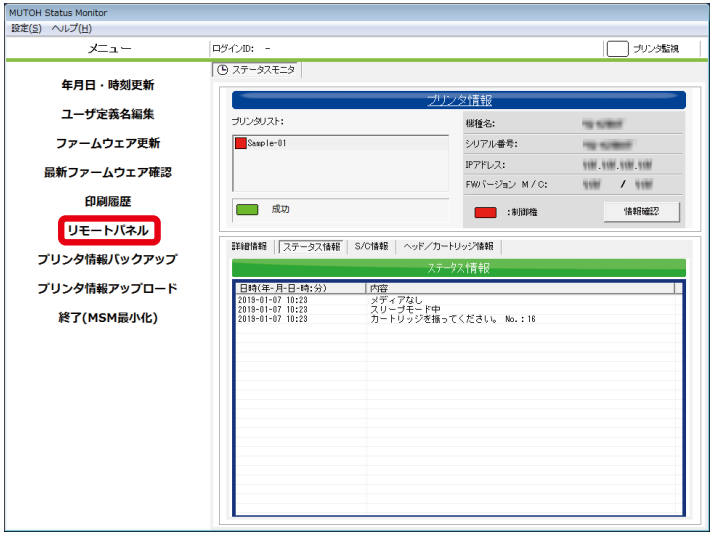


リモートパネルの表示方法

リモートパネルは、本製品の状態を見たり、操作したりするときに使用します。

［リモートパネル］をクリックします。

• リモートパネルが開きます。

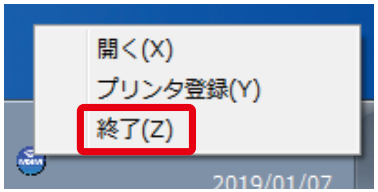


MSM の終了方法

タスクトレイの MSM アイコンを右クリックし、［終了］をクリックします。

Note

通常のご使用時は MSM を終了させないでください。MSM の画面を閉じるときは、メニューバーの［設定］-［閉じる］の順にクリックします。



MiniMSM

MSM を縮小サイズのミニパネルで表示します。MiniMSM では、以下の主要な機能を操作することができます。

MiniMSM の表示方法

[設定] ー [MiniMSM] をクリックします。

- MiniMSM が表示されます。

各アイコンの説明

プリンタ選択：VerteLith 登録中の機種を選択します。

メディアセット：印刷開始位置にメディアをセットします。選択しているユーザー定義の設定値を使用します。

印刷キャンセル：印刷中の動作を途中で停止します。再開はできません。

クリーニング：クリーニング 操作画面を表示し、種類の選択と実行ができます。

ノズルチェック：ノズルチェック 操作画面を表示し、種類の選択と実行ができます。

設定：設定画面を表示します。

終了：操作を終了して再び元の画面を表示します。

Note

VerteLith から表示する方法：

- 右上の [MSM] アイコンをクリックー MSM が表示されます。
- MSM の [設定] ー [MiniMSM] をクリックします。
- MiniMSM が表示されます。

VerteLith のインストール

ライセンスをご購入後、同梱の「インストールガイド」を見ながら、ユーザー登録とインストールを行います。
インストール後は、VerteLith のユーザーマニュアルに従って、初期設定とプリンター登録をしてください。

各種設定

キー操作 99
印刷設定メニュー 100
テスト印刷メニュー 118
メンテナンスメニュー 126
プリンターステータスメニュー 129
システム情報メニュー 130
インクかくはんメニュー 131
スリープモードメニュー 132

キー操作

本製品の各種設定は、パネル設定メニューで行います。

1 パネル設定メニューに入るには、 Home キーをタップします。

Note

ステータスバーが点滅しているとき（印刷中、データ解析中、データ受信中）は、パネル設定メニューに入れません。

2 メニューの選択および実行 / 確定の方法は次のとおりです。

- / キーをタップすると、メニューがスクロールします。
- キーでメニューに入ります。
- サブメニューから選択したり、数値を入力したりするときは、 / キーをタップします。
- Enter キーで確定 / 実行します。
- キーでひとつ前の階層のメニューに戻ります。

印刷設定メニュー

※設定範囲の下線は初期値です。

設定項目	設定範囲	内容
ユーザテイギ	Type1 ～ Type15	メディアの種類毎にメディア情報と印刷条件を設定し、ユーザー定義として保存します。最大 15 個のユーザー定義が作成できます。☞「ユーザー定義」P.107
サクガモード	Build Up, Quality, Production, High Speed, Draft	作画モードを選択します。
エフェクト	None, i-Weave UVEx	選択されている作画モードに合ったエフェクトパターンが自動で選択されます。初期値は、設定した作画モードによって異なります。
チョウセイインサツ ☞「調整印刷」P.88		双方向印刷のインク着弾位置を調整します。
スタンダード	カクニンパターン , ソチョウセイパターン, チョウセイパターン	選択されている作画モードで、双方向印刷のインク着弾位置を調整します。
カスタム	カクニンパターン , ソチョウセイオール , ソチョウセイパターン A, B, D, E, チョウセイオール , チョウセイパターン A, B, D, E,	RIP ソフトウェアで設定変更可能なすべての印刷条件で、双方向印刷のインク着弾位置を調整します。
レイヤーチョウセイインサツ ☞「レイヤー調整印刷」P.108		レイヤー印刷のズレを調整するときに設定します。以下の2種類があります。
ヘッドビチョウセイ	カクニンパターン , ソチョウセイオール , チョウセイパターン A,B,D,E	シングルパスレイヤー印刷とマルチパスレイヤー印刷時のプリントヘッド間のインクの着弾位置のズレを調整します。
レイヤーチョウセイ	カクニンパターン , ソチョウセイオール , ソチョウセイパターン B,D,E, チョウセイオール, チョウセイパターン B,D,E	マルチパスレイヤー印刷で各レイヤーに異なる drop family が設定されている場合、レイヤーのズレを調整します。

設定項目	設定範囲	内容
メディアセッテイ		
セットカクニン	タカサ , PG オフセット , メディアタカサ , ショウガイブツケンシュツ、ハバ , ナガサ , ゲンテンセッテイ	メディアに関する以下の設定を一括で行います。 [メディア高さ] - [高さ変更確認] - [障害物検出] - [メディア幅] - [メディア長さ] - [原点] ☞ 「メディアをセットする」P.72
サイズ		[セットカクニン] 機能を使わない場合に使用します。
ハバ	30㎜～1420㎜	メディアの幅を入力します。
ナガサ	30㎜～700㎜	メディアの長さを入力します。
タカサ		[セットカクニン] 機能を使わない場合に使用します。 • オート：テーブルにセットしたメディアの高さ（厚さ）を自動検出し、ヘッドの高さを自動で調整します。 • マニュアル：メディアの厚さを入力します。
PG オフセット	0.0 ㎜ ～ 1.5 ㎜	[オート] を選択した場合に設定できます。 PG オフセット値を設定すると、自動検出した高さ（厚さ）から、PG オフセット値分さらにプリントヘッドが上昇します。メディアとのギャップにさらにマージンを得たい場合に設定します。
タカサヘンコウカクニン	オン、オフ	[オート] を選択した場合に設定できます。 • オン ： メディアセット時に、[メディアタカサ ハ オナジデスカ ?] という確認メッセージが表示されるようになります。同じ高さのメディアを繰り返し印刷する場合、本設定を「オン」にすることで、メディアセット時の高さ検出時間を短縮できます。 • オフ：メディアセット時に確認メッセージは表示されません。 ☞ 「2. メディアの高さ、障害物検出時の動作の設定」P.73 の手順②、④参照
メディアタカサ	0.0 ㎜ ～ 151.5㎜	[マニュアル] を選択した場合に設定できます。 メディアの高さ（厚さ）を入力します。

設定項目	設定範囲	内容
ゲンテンセッテイ	PF: 0.0 ㎜ ～ 680.0 ㎜ CR: 0.0 ㎜ ～ 1400.0㎜	[セットカクニン] 機能を使わない場合に使用します。 バキュームテーブル上のガイド線を原点 (0,0) として、印刷開始位置の座標（X 位置、Y 位置）を設定します。 • PF：前後方向を X 軸として、ガイド線からの X 位置を入力します。 • CR：左右方向を Y 軸として、ガイド線からのY位置を入力します。
セットカクニンヒョウジ	オフ , オン	メディアセット時に [セットカクニン] メニューを表示させるかどうかを設定します。 ☞ 「メディアをセットする」P.72 の手順⑤参照
テイソクインサツ	オフ , 50%	印刷速度を落としたいときに使用します。[オフ] 以外に設定した場合、片方向印刷になります。 • 表面に凹凸や高低差があるメディア（ゴルフボール、ボールペン、スマートフォンケースなど）に印刷するときに設定すると、画質が向上します。
ショウガイブツケンシュツ	オフ , オート , キャンセル , カクニン	障害物検出時の動作を設定します。 • オフ：印刷中に障害物検出を行いません。 • オート：印刷を一時停止します。センサーが反応しなくなるまでガントリーが上昇してから、印刷を再開します。 • キャンセル：印刷をキャンセルし、コントロールパネルに障害物検出エラーを表示します。 • カクニン：印刷を一時停止します。印刷の再開、またはキャンセルを選択するメニューを表示します。 ☞ 「2. メディアの高さ、障害物検出時の動作の設定」P.73
ユーザコピー	Type 1 ～ Type 15, オール	選択しているユーザー定義の設定を、別のユーザー定義にコピーできます。コピーする項目は、作画モード／エフェクト／調整印刷の調整値／メディア設定／レイヤー調整印刷の調整値／低速印刷／障害物の7項目です。オールを選択すると、すべてのユーザー定義にコピーされます。
ショキカ	イイエ , ハイ	選択しているユーザー定義の設定値を初期化します。

設定項目	設定範囲	内容
ショウサイセッテイ		
カサネガキカイスウ	1 回～ 9 回	指定した回数分、同じ行を重ね印刷します。透明なメディアなどに高濃度で印刷したいときに回数を増やしてください。
レイヤーカサネガキカイスウ（カラーレイヤー）	1 回～ 9 回	カラーレイヤー(CMYK) を重ね描き印刷する場合は設定します。
レイヤーカサネガキカイスウ（ホワイトレイヤー）	1 回～ 9 回	ホワイトレイヤーを重ね描き印刷する場合は設定します。
レイヤーカサネガキカイスウ（バーニッシュレイヤー）	1 回～ 9 回	バーニッシュレイヤーを重ね描き印刷する場合は設定します。
パスカンウェイト	0.0 秒～ 5.0 秒	1 パス毎の待機時間を設定します。設定された待機時間を待って次のパスを印刷します。
CR インサツイドウ	データハバ、キカイハバ、メディアハバ	印刷中にプリントヘッドが移動する範囲を設定します。 • データハバ：印刷データ幅の範囲を移動します。 • キカイハバ：プリンターの最大移動範囲を移動します。 • メディアハバ：メディア幅の範囲を移動します。
ヘッダーダンプ	オフ, オン, ダンプ, インサツ	印刷データに関するダンプデータ（データヘッダー / データドット数 / プリンターシリアル番号 / ファームウェアバージョン）を印刷するかどうかを設定します。 • オフ：ダンプデータを印刷しません。 • オン：印刷データを印刷後、ダンプデータを印刷します。 • ダンプ:ダンプデータのみを印刷します。ただし、[データドット数] は印刷しません。 • インサツ：前回印刷したダンプデータを印刷します。ダンプデータの履歴がないときにには [データガアリマセン] と表示されます。
フラッシング	オフ, オン	[オン] にすると、ノズルの目詰まりを防止するためのメンテナンス動作（フラッシング）を行います。[オフ] にすると印刷品質が保てません。通常は [オン] でご使用ください。
リターンカイスウ	1 回 ～ 999 回	フラッシングを行う間隔を設定します。設定した回数だけプリントヘッドが往復するごとに、フラッシング動作を行います。複数回にすると、印刷品質が保てません。通常は [1] でご使用ください。

設定項目	設定範囲	内容
オートクリーニング		待機中、印刷前および累積作画時間により行うオートクリーニングの設定をします。
タイキチュウ		
クリーニングシュルイ	オフ, ビリョウ, ツウジョウ, キョウリョク	印刷可能状態に行うオートクリーニングの種類を設定します。
クリーニングカンカク	10 分～ 1440 分	印刷可能状態に行うオートクリーニングの間隔を設定します。
インサツマエ		
クリーニングシュルイ	オフ, ビリョウ, ツウジョウ, キョウリョク	印刷前に行うオートクリーニングの種類を設定します。
ルイセキインサツ	オフ, 1 時間 , 2 時間 , 3 時間 , 4 時間	設定した累積印刷時間ごとにオートクリーニングを行います。クリーニング種類は [強力] クリーニングです（変更不可）。
マルチレイヤー	オフ, オン	マルチパスレイヤー印刷を行うかどうかを設定します。[オン] にすると、同じメディアの上に複数の印刷データを重ねて印刷できます。
インクメンテナンス	ビリョウ, ツウジョウ, キョウリョク	プリンターを一定時間使用しなかった場合に、次に使用するときに、プリンターの性能維持のために一定量のインクを排出します。 • ツウジョウ：初期値はこの設定です。 • ビリョウ：普段の印刷でホワイトインクをほとんど使用しない場合は、この設定にしておくと、待機中のホワイトインクの消費量を抑えることができます。 • キョウリョク：[ツウジョウ] よりも強力なインクメンテナンスを行うことで色安定性を保ちます。色合いの変化が気になる場合に設定してください。

設定項目	設定範囲	内容
ノズルセンタク ☞「ノズル選択」P.113		クリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが改善しない場合に、確認パターンを印刷して、目詰まりのないノズルだけを使用するように設定することができます。
カクニンパターンインサツ		確認パターンを印刷して、線が欠けていないパターンを探します。
ノズルエリアセッテイ	ノズルオール, ノズル A, ノズル B, ノズル C, ノズル D, ノズル E, ノズル F	上記で選択したノズルの目詰まりのないパターンを設定します。
ジドウノズルチェック ☞「自動ノズルチェック」P.116	オフ, オン	自動ノズルチェックを行うかどうかを設定します。[オン] にすると、以下のタイミングで吐出検知ユニットのセンサーがノズルの状態を確認し、目詰まりがある場合は自動でクリーニングを行います。 • プリンターの電源をオンにしたとき • プリンターがスリープモードから復帰したとき • ジョブ回数設定後の初回印刷前、および設定したジョブ回数ごとの印刷前 3回クリーニングしても目詰まりが解消されない場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。
ジョブカイスウ	オフ, 1 回～ 30 回	自動ノズルチェックを行う間隔を印刷ジョブの回数で設定できます。設定すると、以下のタイミングで自動ノズルチェックが行われます。 • [ジョブカイスウ] 設定後の初回印刷前 • 設定したジョブ回数ごとの印刷前
ノズルセンタク	オフ, オン	[オン] にすると、自動ノズルチェックの結果、3回クリーニングをしてもノズルの目詰まりが解消できなかった場合は、正常に吐出しているノズルを自動的に選択して印刷します。
イオナイザー Note イオナイザー（オプション品）を使用しない場合は表示されません。	オフ, オン	[オン] にすると、メディアセット時にメディア表面の静電気を除去します。 ☞「イオナイザー (オプション品) のメンテナンス」P.211

設定項目	設定範囲	内容
ショキセッテイ		プリンターコントロールパネルのディスプレイに表示される言語、長さ単位などを設定します。また、IP アドレスの設定などを行います。初回起動時の設定は「初期設定」P.57 をご参照ください。
ゲンゴ	English, Dutch, Spanish, French, Italian, Portugese, German, ニホンゴ	ディスプレイに表示される言語を設定します。
ナガサタンイ	㎜, inch	ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。
インクリョウ	オフ, オン	インク残量の表示方法を選択します。 • オフ：インク残量のインジケーターを表示しません。インクなし、インク少ない、インクバッグなしなどのエラー（警告）が発生しているスロット番号を表示します。 • オン：インク残量のインジケーターを表示します。
IP アドレス	0.0.0.0 ～ 192.168.1.253 ～ 255.255.255.255	本製品の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	0.0.0.0 ～ 255.255.255.0 ～ 255.255.255.255	本製品のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	0.0.0.0 ～ 192.168.1.254 ～ 255.255.255.255	本製品のゲートウェイを設定します。
ケイコクブザー	オフ, オン	エラー発生時の警告ブザーの動作を設定します。 • オフ：警告ブザーが一度だけ鳴ります。 • オン：警告ブザーが連続的に鳴ります。
ショキカ		本製品の各設定値を、工場出荷時の初期値に戻します。
ユーザテイギオール		すべてのユーザー定義を初期化します。
ショウサイセッテイ		[ショウサイセッテイ] 内の全項目の設定値を初期化します
ショキセッテイ		[ショキセッテイ] 内の全項目の設定値を初期化します。
オール		[ユーザテイギ]、[ショウサイセッテイ]、[ショキセッテイ]、[スリープモード] 内の全項目の設定値を初期化します。

ユーザー定義

メディアの種類毎にメディア情報と印刷条件を設定し、ユーザー定義として保存します。最大 15 個のユーザー定義が作成できます。

1 ユーザー定義メニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップ ➡ [ユーザテイギ：　Type 1] が表示されます。
- キー で [ユーザテイギ：　Type ＊] を選択します。
- (*) は 1 ～ 15 まで。

2 Enter キーをタップし、各種設定を行います。

Important !

別のユーザー定義に変更すると、ユーザー定義で変更できる設定がすべて、選択中のユーザー定義の設定値に切り替わります。

- ユーザー定義の設定値の「メディア設定」が切り替わると、「メディア高さ」「メディアサイズ」「原点位置」が選択中のユーザー定義の設定値に切り替わりますので、印刷開始位置に注意してください。メディアの意図しない場所に印刷したり、メディアの外に印刷する恐れがあります。

[セットカクニンヒョウジ　オン] について

- ユーザ定義の初回選択時のみ、メディアのセットのときに表示します。詳細は、「メディアをセットする」P.72 の手順⑤をご参照ください。

レイヤー調整印刷

レイヤー印刷のズレを調整するときに設定します。以下の２種類があります。

- ヘッド微調整：シングルパスレイヤー印刷とマルチパスレイヤー印刷時のプリントヘッド間のインクの着弾位置のズレを調整します。ヘッド微調整を行った後は、必ず調整印刷を行ってください。ヘッド微調整の影響で、ズレが生じる可能性があります。
  ☞「調整印刷」P.88
- レイヤー調整：マルチパスレイヤー印刷で各レイヤーに異なる drop family が設定されている場合、レイヤーのズレを調整します。

レイヤー調整印刷の手順

1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.72

2 レイヤー調整印刷メニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーを２回タップ ➡ [ユーザテイギ：　Type ＊] が表示されます。
- / キーでメニューをスクロールして設定するユーザー定義を選択し、 Enter キーをタップします。
- [Type ＊＊：1　サクガモード] が表示されます。
- キーをタップして [Type ＊＊：３ レイヤーチョウセイインサツ] を選択します。

3 ❯キーをタップし、⌃/⌄キーで調整方式を選択します。

[ヘッドチョウセイ] を選択した場合

- ❯キーをタップすると、[ヘッドビチョウセイ 1　カクニンパターン] が表示されます。
- ⌃/⌄キーで確認パターンまたは調整パターンを選択し、↵ Enter キーをタップすると印刷します。

[レイヤーチョウセイ] を選択した場合

- ❯キーをタップ すると、[レイヤーチョウセイ 1　カクニンパターン] が表示されます。
- ⌃/⌄キーで確認パターンまたは調整パターンを選択し、↵ Enter キーをタップすると印刷します。

Note

調整パターンの印刷中に ⏸ Cancel キーをタップすると印刷をキャンセルします。

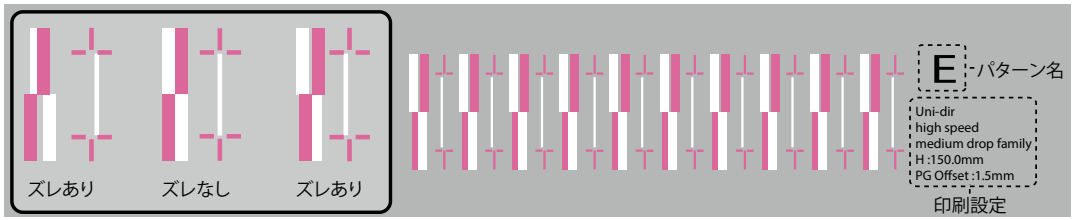
4 印刷結果を確認し、それぞれ次の手順に従って調整します。

☞「ヘッド微調整手順」P.110
☞「レイヤー調整手順」P.111

ヘッド微調整手順

1 **確認パターンの印刷結果を確認します。**

- ズレがあれば、ヘッド微調整パターンに進みます。下図の場合、ズレがあります。

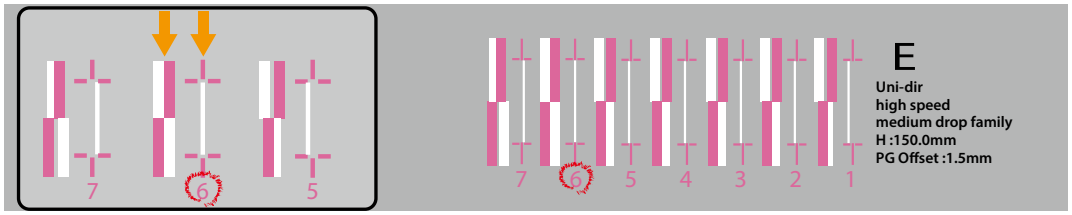


Note

上記のパターンは、パターン E の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。

2 **微調整パターン (「オール」または「A,B,D,E」を印刷し、補正値を入力します。**

- 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
- ディスプレイに「パターン E: 5」などと表示されているので、印をつけた番号を ⌃ / ⌄ キーで入力して ↵ Enter キーをタップします。
- 下の図の場合、「パターン E： 6」と入力します。



Note

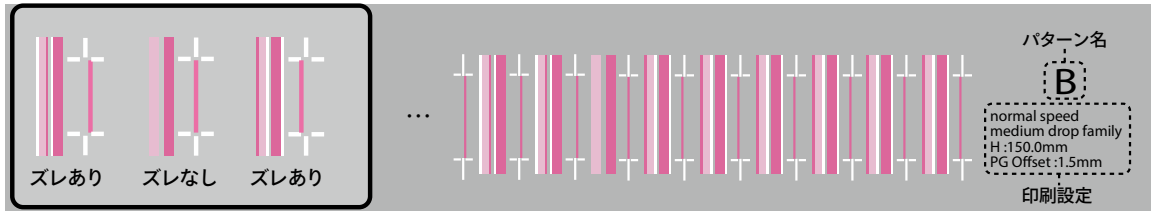
ヘッド微調整を行った後は、必ず調整印刷を行ってください。

☞ 「調整印刷」P.88

レイヤー調整手順

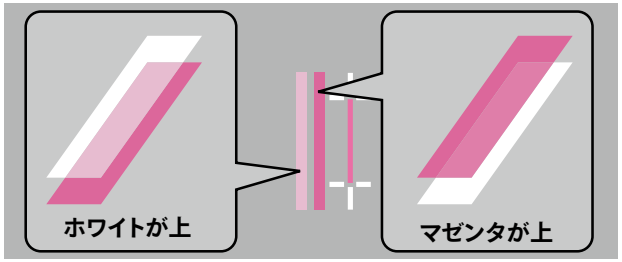
1 確認パターンの印刷結果を確認します。

- ズレがあれば、次の手順に進んで調整してください。下図の場合、ズレがあります。



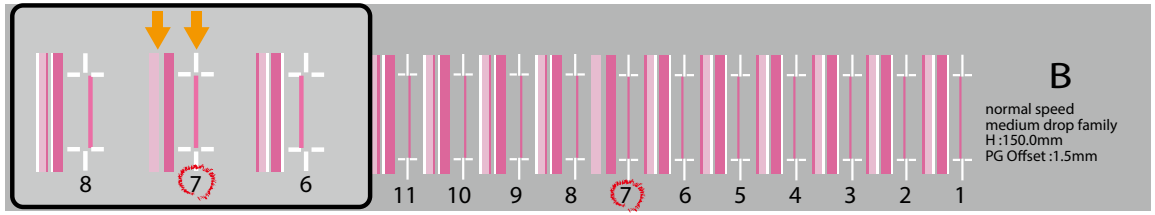
Note

- 上記のパターンは、パターン B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。
- ホワイトをマゼンタの上に重ねて印刷するパターンと、マゼンタをホワイトの上に重ねて印刷するパターンを印刷します。



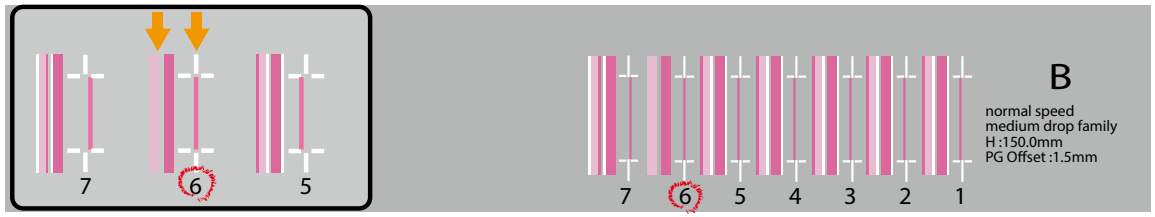
2 粗調整パターン（「粗調整オール」または「粗調整パターン B,D,E」）を印刷し、補正値を入力します。

- 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
- ディスプレイに「パターン B: 6」などと表示されているので、印をつけた番号を ⌃ / ⌄ キーで入力して ↵ Enter キーをタップします。
- 下の図の場合、「パターン B： 7」と入力します。



3 調整パターン (「調整オール」または「調整パターン B,D,E」）を印刷し、補正値を入力します。

- 印刷結果を確認し、もっともズレのないパターンの下に印刷されている番号を探して印をつけます。
- ディスプレイに「パターン B：7」などと表示されているので、印をつけた番号を ⌃ / ⌄ キーで入力して ↵ Enter キーをタップします。
- 下の図の場合、「パターン B： 6」と入力します。



ノズル選択

クリーニングを繰り返してもノズルの目詰まりが改善しない場合に、確認パターンを印刷し、ノズルの目詰まりがないノズルだけを使用するように設定することができます。

確認パターンの印刷

1 ノズル選択メニューにアクセスします。

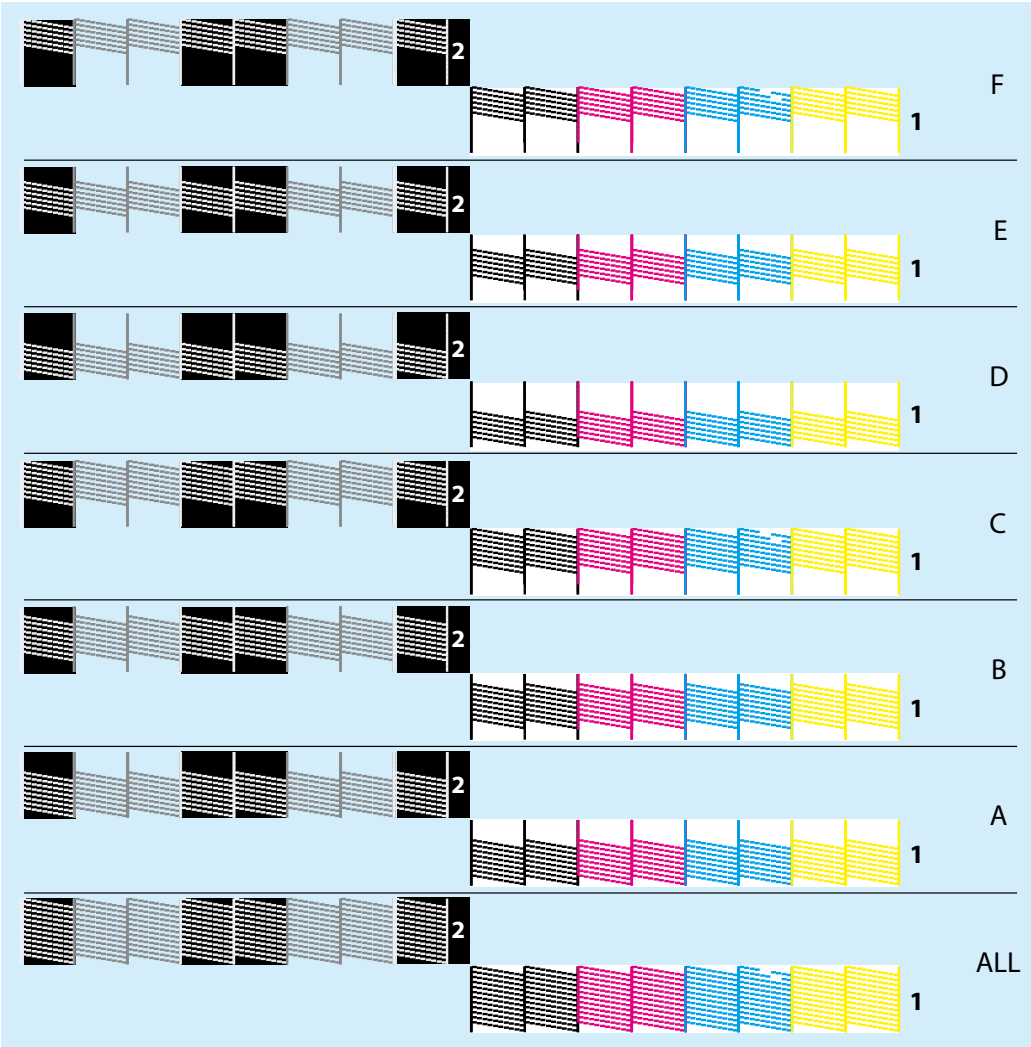
- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップ➡ [セッテイ 1　ユーザテイギ] が表示されます。
- キー で [セッテイ 2　ショウサイセッテイ] を選択します。
- キーをタップ➡ [ショウサイセッテイ 1　カサネガキカイスウ] が表示されます。
- / キーで メニューをスクロールして、[ショウサイセッテイ 10　ノズルセンタク] を選択します。

2 確認パターンを印刷します。

- キーをタップします。
- [ノズルセンタク 1　カクニンパターンインサツ] で Enter キーをタップすると、確認パターンが印刷されます。

3 印刷結果を確認し、ノズルの目詰まりのないパターンを確認します。

- 下の図の場合、A、B、D、E のパターンはノズルの目詰まりがありません。



ノズル設定

1 ノズル設定を行います。

- [ショウサイセッテイ 10　ノズルセンタク] にアクセスします（確認パターンの印刷の手順①）。
- ▶ キーをタップ ➡ [ノズルセンタク 1　カクニンパターン] が表示されます。
- ▼ キーをタップし、[ノズルセンタク 2 ノズルエリアセッテイ] を選択します。
- ▶ キーをタップします。

2 ノズルの目詰まりのないパターンを ▲ / ▼ キーで選択して ↵ Enter キーをタップします。

- ノズルの目詰まりがないパターンが複数ある場合は、使用するノズルが多いパターンを選択します。
- 使用するノズルが多い方から、ALL> A = B = C >D =E=F の順になります。
- 例えば A と D が選択可能な場合は、A を選択します。
- ↵ Enter キーをタップします。

自動ノズルチェック

本体精度保証環境（☞ 「本製品の仕様」P.261 ）以外でのご使用や、お使いのインクによっては次の現象が発生する可能性があります。

- 自動ノズルチェックの動作ごとに、毎回クリーニングが実行される（インク使用量の増加）
- 自動ノズルチェックの動作時間が長くなる
- 自動ノズルチェックを使用しても、ノズルが目詰まりしたまま印刷される *

* ノズルが目詰まりしたまま印刷が続く場合は、手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。

☞ 「ノズルチェック」P.118 、「ヘッドクリーニング」P.204

本機能は 100% ノズルの目詰まり防止を保証するものではありません。

自動ノズルチェックを [オン] に設定

自動ノズルチェックでは吐出検知ユニットのセンサーによって、ノズルの目詰まりの確認をメディアを消費せずに定期的に行います。

ノズルの目詰まりを検知した場合は、自動でクリーニングを行い印刷を継続、またはノズルの目詰まりを回避したノズルパターンを自動で選択して印刷を継続します。

自動ノズルチェック中に、Cancel キーをタップすると、自動ノズルチェックを中止します。

1 自動ノズルチェックメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップ➡ [セッテイ 1　ユーザテイギ] が表示されます。
- キー で [セッテイ 2　ショウサイセッテイ] を選択します。
- キーをタップ➡ [ショウサイセッテイ 1　カサネガキカイスウ] が表示されます。
- / キーでメニューをスクロールし、[ショウサイセッテイ 11　ジドウノズルチェック] を選択します。

2 自動ノズルチェックをオンに設定します。

- キーをタップします。
- [ジドウノズルチェック　オン] を選択して、Enter キーをタップします。

自動ノズルチェックの流れ

1 自動ノズルチェックでノズルの目詰まりを検知した場合

- [クリーニングチュウ　＊＊%] が表示され、クリーニングが実行されてノズルの目詰まりを解消します。
- ヘッド選択で設定を変更した場合、設定外のヘッドはクリーニングの対象外となります。
- クリーニングは最大 3 回まで実行されます。

2 自動ノズルチェックで、ノズル選択設定が行われた場合

- 2 回目のクリーニングでノズルの目詰まりを解消できない場合は、目詰まりのないノズルパターンが自動的に選択されます。ノズルの目詰まりを回避し、正常なノズルのみで印刷できます。
- 印刷可能状態のときに、[インサツデキマス　H：XXX.Xmm ノズルセンタク：＊] と、選択中のノズル（＊）を表示します。

3 自動ノズルチェック実行後もノズルの目詰まりを回避できない場合

- [ジドウノズルチェック　ノズルヌケガアリマス] が表示されます。本製品に送付済みの印刷ジョブがある場合、ノズルの目詰まりを検知した印刷ジョブは削除、それ以降の印刷ジョブは保留となります。
- ノズルの目詰まりを解消する場合は、印刷ジョブの送信元で、保留された印刷ジョブを削除してから、手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。ノズルの目詰まりが解消してから、印刷を再度やり直すことを推奨します。

☞ 「ノズルチェック」P.118 、「ヘッドクリーニング」P.204

- ノズルが目詰まりしたままの状態で保留したジョブを印刷する必要がある場合は、↵ Enter キーをタップします。

テスト印刷メニュー

設定項目	内容
ノズルチェック	「ノズル選択」の設定を反映したノズルチェックパターンを印刷します。 ☞ 「ノズルチェックの場合」P.80
ノズルチェック F	すべてのノズルを使用してノズルチェックパターンを印刷します。 ☞ 「ノズルチェック F の場合」P.79
ノズルチェック B	白インクとカラーインクのノズルチェックパターンに背景色をつけて印刷します。白・カラーのノズル状態がより確認しやすくなります。 ☞ 「ノズルチェック B の場合」P.81
ノズルチェック L	フロントカバーを開けた左側のスペースにメディアをセットして、ノズルチェックパターンを印刷します。印刷用メディアをテーブル上にセットしたままでも、ノズルチェックパターンを印刷することができます。 ☞ 「ノズルチェック L の場合」P.82
モードプリント	↵ Enter キーをタップすると、選択中のユーザー定義に設定されている以下の設定を印刷します。 [サクガモード]、[エフェクト]、[オクリホセイの微調整値] （必要メディアサイズ：幅 220㎜×長さ 25㎜） 2023/01/01 0:00 Quality - i-Weave UVEx/ 微調整値 :0.00%

設定項目	内容
セッテイナイヨウ	Enter キーをタップすると、現在のプリンターの設定内容および各ユーザー定義の設定内容を印刷します。 （必要メディアサイズ：幅 420㎜×長さ 297㎜）

現在の設定内容

<プリンタ情報>

2024/01/01 00:00

シリアルNo.	＝ KQ5U000001	累積印刷面積	＝ 1000㎡
機種	＝ XPJ-1462UF	ファームウェア M	＝ V1.00
メモリ容量	＝ 384MB	ファームウェア C	＝ V1.00

<メニュー設定>

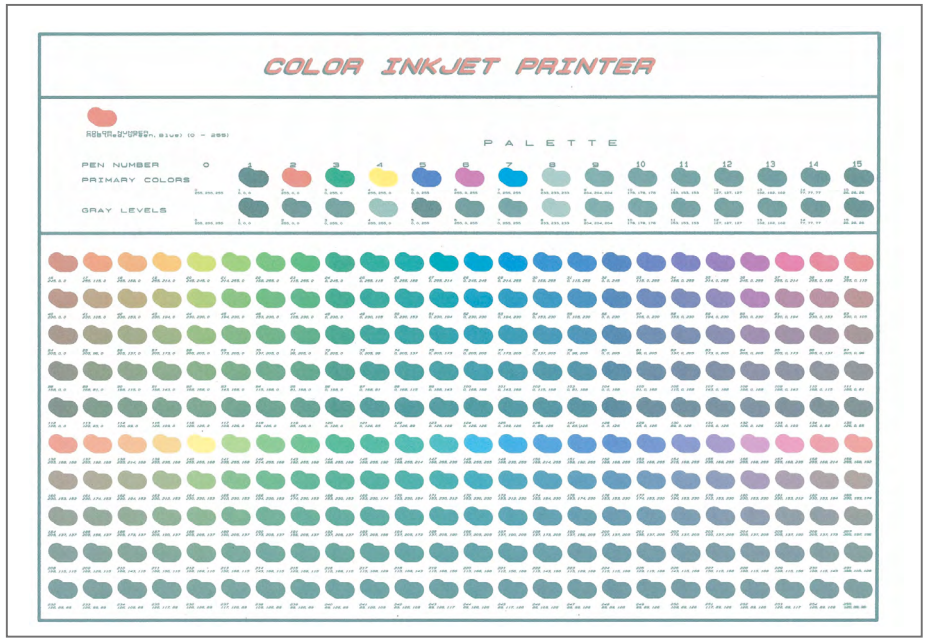
```
[メニュー番号]メニュー　　＝ 設定値
[1]設定
    [1]ユーザ定義　　＝ Type 1
        [1]作画モード　　＝ Production （エフェクト＝i-Wasxe UVEx）
        [2]調整印刷
        [3]レイヤー調整印刷
        [4]メディア設定
            [1]セット確認
            [2]サイズ　　幅 ＝ 1420mm　長さ ＝ 700mm
            [3]高さ　　＝ オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）
                                （高さ変更確認 ＝ オフ）
            [4]原点設定　　PF ＝ 0.0mm　CR ＝ 0.0mm
            [5]セット確認表示　　＝ オフ
        [5]低速印刷　　＝ オフ
        [6]障害物検出　　＝ オート
        [7]ユーザコピー
        [8]初期化
    [2]詳細設定
        [1]重ね描き回数　　＝ 1回
            レイヤー重ね描き回数
            [1]カラーレイヤー　　＝ 1回
            [2]ホワイトレイヤー　　＝ 1回
            [3]パーニッシュレイヤー　　＝ 1回
        [2]パス間ウェイト　　＝ 0.0秒
        [3]CR印刷移動幅　　＝ メディア幅
        [4]ヘッダーダンプ　　＝ オフ
        [5]フラッシング　　＝ オン（リターン回数＝ 1回）
        [6]オートクリーニング
            [1]待機中　　＝ オフ
            [2]印刷前　　＝ オフ
            [3]長時印刷　　＝ オフ
        [7]マルチレイヤー　　＝ オフ
        [8]インクメンテナンス　　＝ 通常
        [9]ノズル選択
            [1]確認パターン印刷
            [2]ノズルエリア設定　　＝ ノズルオール
        [10]自動ノズルチェック　　＝ オフ
            [1]ジョブ回数　　＝ 30回
            [2]ノズル選択　　＝ オン
        [11]イオナイザー　　＝ オン
    [3]初期設定
        [1]言語　　＝ 日本語
        [2]長さ単位　　＝ mm
        [3]インク量　　＝ オン
        [4]IPアドレス　　＝ 192.168.　1.253
        [5]サブネットマスク　　＝ 255.255.255.255
        [6]ゲートウェイ　　＝ 192.168.　1.254
        [7]警告ブザー　　＝ オン
[メニュー番号]メニュー　　＝ 設定値
    [4]初期化
[2]テスト印刷
    [8]送り補正
        [2]初期調整値　　＝ 500.0／500mm
        [5]増調整値　　＝ −0.01%
[3]メンテナンス
    [1]クリーニング
    [2]CRメンテナンス
    [3]UVスキャン
        [1]実行
        [2]スキャン数　　＝ 4
    [4]インク排出
    [5]プラグ寿命
        [1]寿命確認
            スロット1：E★★★★★F　スロット2：E★★★★★F　スロット3：E★★★★★F
            スロット4：E★★★★★F　スロット5：E★★★★★F　スロット6：E★★★★★F
        [2]寿命初期化
    [6]流け置きクリーニング
    [7]デイリーメンテナンス
    [8]イオナイザー
[4]プリンタステータス
    [1]インク　　スマートチップ　　123456　：100／100／100／100／100
    [2]寿命確認　　ヘッド1　：E★★★★★F　　ヘッド2　：E★★★★★F
                CRモータ　：E★★★★★F
                PFモータ　：E★★★★★F
                PGモータL　：E★★★★★F　　PGモータR　：E★★★★★F
                ポンプ1　：E★★★★★F　　ポンプ2　：E★★★★★F
                Cポンプ　：E★★★★★F
                UVランプL　：E★★★★★F　　UVランプR　：E★★★★★F
                防塵カバー1　：E★★★★★F　　防塵カバー2　：E★★★★★F
                防塵カバー3　：E★★★★★F　　防塵カバー4　：E★★★★★F
    [3]ジョブステータス
    [4]累積印刷面積
    [5]インク使用期限
        スロット1：2024／12／31　　スロット2：2024／12／31
        スロット3：2024／12／31　　スロット4：2024／12／31
        スロット5：2024／12／31　　スロット6：2024／12／31
[5]システム情報
[6]インク排押
    [1]開始
    [2]次回排押
        KMCY　：48h
        W　：<1h
[7]スリープモード
    [1]実行
    [2]クリーニングタイマー
        クリーニング種類　　＝ オフ
        クリーニングタイマー　　＝ 1時間
```

<各ユーザ定義設定>

ユーザ定義	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4	Type 5
作画モード	Production	Production	Production	Production	Production
作画モード>エフェクト	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx
メディア設定>サイズ　幅	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm
長さ	700mm	700mm	700mm	700mm	700mm
メディア設定>高さ	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）
メディア設定>原点設定	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0
メディア設定>セット確認表示	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
低速印刷	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
障害物検出	オート	オート	オート	オート	オート

ユーザ定義	Type 6	Type 7	Type 8	Type 9	Type10
作画モード	Production	Production	Production	Production	Production
作画モード>エフェクト	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx
メディア設定>サイズ　幅	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm
長さ	700mm	700mm	700mm	700mm	700mm
メディア設定>高さ	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）
メディア設定>原点設定	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0
メディア設定>セット確認表示	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
低速印刷	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
障害物検出	オート	オート	オート	オート	オート

ユーザ定義	Type11	Type12	Type13	Type14	Type15
作画モード	Production	Production	Production	Production	Production
作画モード>エフェクト	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx	i-Wasxe UVEx
メディア設定>サイズ　幅	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm	1420mm
長さ	700mm	700mm	700mm	700mm	700mm
メディア設定>高さ	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）	オート （PGオフセット ＝ 0.0mm）（高さ変更確認 ＝ オフ）
メディア設定>原点設定	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0	PF ＝ 0.0　CR ＝ 0.0
メディア設定>セット確認表示	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
低速印刷	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
障害物検出	オート	オート	オート	オート	オート

設定項目		内容
パレット		Enter キーをタップすると、プリンターのカラーパレットパターンを印刷します。 （必要メディアサイズ：幅 297㎜×長さ 210㎜） 
ヘッドチョウセイ 「ヘッド調整」P.85		「ヘッド調整パターン」を印刷し、プリントヘッド間のインク着弾位置の調整を行います。
スタンダード		選択されている作画モードで、インク着弾位置を調整します。
カスタム	チョウセイオール， チョウセイパターン A,B,D,E	RIP ソフトウェアで設定変更可能なすべての印刷条件で、インク着弾位置を調整します。

設定項目		内容
オクリホセイ ☞ 「送り補正」P.122		「初期調整印刷パターン」を印刷し、ガントリーの送り量を補正します。
ショキチョウセイインサツ	100㎜～ 500㎜～ 650㎜	初期調整印刷を行います。[フィードナガサ] を入力し、↵ Enter キーをタップします。
ショキチョウセイチ	初期調整印刷時の設定± 10.0㎜	
カクニンチョウセイインサツ	100㎜～ 500㎜～ 650㎜	確認調整印刷を行います。[フィードナガサ] を入力し、↵ Enter キーをタップします。
ビチョウセイインサツ	0%、± 0.1%、± 0.2%、± 0.5% で 7 パターン印刷	微調整印刷を行います。印刷したパターンから、微調整値を確認します。
ビチョウセイチ	－ 5.00% ～ 0.00% ～ 5.00%	微調整値を ⌃ / ⌄ キーで入力して ↵ Enter キーをタップします。

送り補正

メディア送り補正についての各種設定を行います。

印刷結果に次のような不具合があるとき、メディア送り補正を行うと改善する場合があります。

- 画像が重なっている。
- 画像に白いスジが入っている。

手順

1 送り補正メニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キー でメニューをスクロールして、[メニュー 2　テストインサツ] を選択します。
- キーをタップ ➡ [テストインサツ 1　ノズルチェック] が表示されます。
- / キーでメニューをスクロールして、[テストインサツ 9　オクリホセイ] を選択します。

2 初期調整印刷を行います。

- キーをタップ ➡ [オクリホセイ 1　ショキチョウセイインサツ] が表示されます。
- キーをタップ ➡ [ショキチョウセイインサツ　フィードナガサ] が表示されます。
- / キーでフィードの長さを入力し、 Enter キーをタップします。

3 印刷されたパターンの「+」間の長さを定規で測ります。

- 下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。

Note

- フィード長さの最大設定値は、ユーザ定義の［メディアセッテイ］-［サイズ］-［ナガサ］の設定によって異なります（「確認調整印刷」も同様です）。
- メディアの長さによっては使用できません。例えば、長さが 100 mm 以下の場合、パネルに［インサツエリア フソク］を表示し、印刷を行いません。

4 測った長さを初期調整値に入力します。

- ［テストインサツ 9　オクリホセイ］にアクセスして（手順①）、▶キーをタップ ➡［オクリホセイ 1　ショキチョウセイインサツ］が表示されます。
- ▼キー で［オクリホセイ 2　ショキチョウセイチ］を選択して、▶キーをタップします。
- 実測値を ▲ / ▼キー で入力し、↵ Enter キーをタップします。これが初期調整値になります。

5 確認調整印刷を行います。

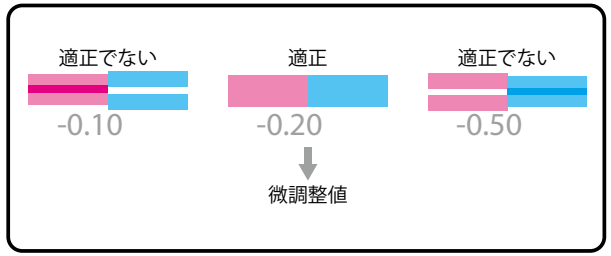
- [テストインサツ 9　オクリホセイ] にアクセスして（手順①）、▶キーをタップ➡ [オクリホセイ 1　ショキチョウセイインサツ] が表示されます。
- ▼キーで [オクリホセイ 3　カクニンチョウセイインサツ] を選択して、▶キーをタップ ➡ [カクニンチョウセイインサツ　フィードナガサ] が表示されます。
- ▲ / ▼キーでフィードの長さを入力し、↵ Enter キーをタップします。

6 印刷されたパターンの「+」間の長さを定規で測ります。

- [フィードナガサ] での設定値と実測値にズレがあれば、手順①からやり直します。ズレがなければ手順⑦に進みます。
- 下の例では、測る場所を青い点線と矢印で示しています（青い部分は実際は印刷されません）。

7 微調整印刷を行います。印刷結果に従って、微調整値を入力します。

- [テストインサツ 9　オクリホセイ] にアクセスして（手順①）、▶キーをタップ ➡ [オクリホセイ 1　ショキチョウセイインサツ] が表示されます。
- ▼キー で [オクリホセイ 4　ビチョウセイインサツ] を選択して、↵ Enter キーをタップします。
- 印刷されたパターンのパターンの中でもっとも白スジ・画像の重なりがないところを探します。そのパターンのしたにある数字が、微調整値です。



8 微調整値を入力します。

- [テストインサツ 9　オクリホセイ] にアクセスして（手順①）、▶キーをタップ ➡ [オクリホセイ 1　ショキチョウセイインサツ] が表示されます。
- ▼キー で [オクリホセイ 5　ビチョウセイチ] を選択して、▶キーをタップ ➡ [ビチョウセイチ　(-5 - 5) 0.00%] が表示されます。
- ▲ / ▼キーで調整値を入力し、↵ Enter キーをタップします。

Note

保存した微調整値が、パターンの基準値になります。例えば微調整値に「-0.20」を保存した場合、もう一度パターンを印刷すると、中心のパターンの下にある数字は「-0.20」になり、左端は「+1.00」、右端は「-1.40」になります。

メンテナンスメニュー

設定項目	設定範囲	内容
クリーニング ☞「ヘッドクリーニング」P.204		クリーニングするプリントヘッドとクリーニング種類を選択して ↵ Enter キーをタップすると、クリーニングが開始されます。
ヘッドセンタク	オール , ヘッド 1, ヘッド 2	ヘッドを選択します。
クリーニングシュルイ	ビリョウ , ツウジョウ , キョウリョク , ビリョウジュウテン , ショキジュウテン	クリーニング種類を選択します。 （ヘッド選択で「ヘッド 1」 または「ヘッド 2」 を指定した場合、クリーニング種類の「初期充てん」 は表示されません。）
CR メンテナンス ☞「消耗品の交換」P.218		以下の消耗品を交換するときに使用します。[カイシ -> Enter] で ↵ Enter キーをタップすると、キャリッジがメンテナンス位置に移動します。 ☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.220 ☞「クリーニングワイパーの交換」P.224 ☞「UV-LED ランプのガラスの交換」P.227 ☞「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.230
UV スキャン ☞「UV スキャン」P.128		UV 光の照射のみを行う機能です。エラーによりインクが未硬化だった場合等、印刷後に追加で UV 照射が必要なときに使用します。
ジッコウ		[カイシ -> Enter] で ↵ Enter キーをタップすると、UV 光の照射を行います。
スキャンスウ	2, 4, 8, 16	ガントリー移動方向 1 インチあたりの追加照射回数を選択します。
インクハイシュツ		プリンターを長期間使用しない場合に、プリンター内のインクを排出します。 ☞「長期間使用しない場合」P.236 、「2. インクを排出する」P.237

設定項目	設定範囲	内容
プラグジュミョウ ☞ 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.188		大容量パックアダプターのプラグの点検、交換を行うときに使用します。
ジュミョウカクニン		大容量パックアダプターに付いているアダプタープラグの寿命が確認できます。 • 寿命は、* 印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示されます。寿命が近づくにつれて、* 印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。 • * 印がすべて消えて、「コウカン」と表示された場合は、速やかにアダプタープラグを交換してください。
ジュミョウショキカ		アダプタープラグを交換した後に、アダプタープラグの寿命カウンターを初期化します。対象のインクスロットを選択して初期化してください。
ツケオキクリーニング ☞ 「漬け置きクリーニング」P.206		メンテナンス液を満たしたキャップにプリントヘッドを浸して、ノズル面に付着した汚れを落とします。ヘッドクリーニングを実施してもノズルの目詰まりが直らないときは、漬け置きクリーニングを実施してください。
デイリーメンテナンス ☞ 「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193 ☞ 「各部の清掃」P.209		デイリーメンテナンスを行うときに使用します。[カイシ ->Enter] で ↵ Enter キーをタップすると、ガントリー、キャリッジがメンテナンス位置に移動します。
イオナイザー		イオナイザーが正常に動作しているかどうかを確認するときに使用します。 ☞ 「イオナイザー (オプション品) のメンテナンス」P.211 ☞ 「警報出力機能」P.216

UV スキャン

エラーによりインクが未硬化だった場合等、印刷後に追加で UV 照射が必要なときに使用します。

1 UV スキャンメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キー でメニューをスクロールして、[メニュー 3　メンテナンス] を選択します。
- キーをタップ ➡ [メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールして、[メンテナンス 3　UV スキャン] を選択します。

2 UV 光を追加照射します。

- キーをタップ ➡ [UV スキャン　ジッコウ] が表示されます。
- キーをタップ ➡ [UV スキャンカイシ　—> Enter] が表示されます。
- Enter キーをタップします。

Note

- UV-LED ランプの照射を行う範囲は、現在選択中のユーザ定義の［メディアセッテイ］-［サイズ］および［ゲンテンセッテイ］の設定によります。
- UV スキャン中のときに Cancel キーをタップすると、[UV スキャンチュウ　キャンセル—> Enter] が表示されます。Enter キーをタップすると、UV スキャンを中止します。Home キーをタップすると、元の表示に戻ります。

UV スキャンを行うときの、メディア送り方向 1 インチあたりの往復回数を選択できます。手順は以下のとおりです。

- [メンテナンス 3　UV スキャン] にアクセスして（手順①）、キーをタップ ➡ [UV スキャン　ジッコウ] が表示されます。
- キー でメニューをスクロールして、[UV スキャン 2　スキャンスウ] を選択します。
- キーをタップします。
- / キーで往復回数を選択し、Enter キーをタップします。

プリンターステータスメニュー

設定項目	設定範囲	内容
インク		各インクスロットのインク残量をパーセントで表示します。 **Note** インク残量が 10%で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。 ☞ 「スマートチップリカバリー」P.249
ジュミョウカクニン	ヘッド 1, ヘッド 2, CR モータ , PF モータ , PG モータ R, PG モータ L , ポンプ 1, ポンプ 2, ジュンカンポンプ, UV ランプ L, UV ランプ R, ボウジンカバー	交換が必要な部品の残り寿命を表示します。 • 寿命は、* 印の数（最大 5 個：残り 100%）で表示します。寿命が近づくにつれて、* 印の数が 1 個（20%）ずつ減っていきます。 • * 印がすべて消えて、「コウカン」と表示された場合は、速やかに部品交換を依頼してください。
ジョブ ステータス		
ステータス		印刷が完了した場合は「カンリョウ」、中止した場合は「キャンセル」が表示されます。
データナガサ		印刷データの長さを表示します。
インサツ　ズミ		印刷済み部分の長さを表示します。
インサツ　ノコリ		まだ印刷されていないデータの長さを表示します。
ルイセキインサツメンセキ		累積の印刷面積を表示します。
インクシヨウキゲン		インクの使用期限を表示します。 • US61 インクを使用している場合にだけ表示されます。 • スマートチップリカバリーが実行されているスロットには、「————／——／——」が表示されます。 ☞ 「スマートチップリカバリー」P.249

システム情報メニュー

設定項目	内容
バージョン	本製品のファームウェアのバージョンが表示されます。
モデル	本製品のモデル名が表示されます。
シリアル No.	本製品のシリアル番号が表示されます。
インクシュルイ	本製品で使用しているインク種類が表示されます。

インクかくはんメニュー

インクかくはん の開始（即時実行）と、次回のかくはんが必要となるまでの時間を確認します。

サブメニュー	内容
カイシ	インクを選択して、かくはんを行います。 ☞「インクをかくはんする」P.172
ジカイ　カクハン	次回のかくはんが必要となるまでの時間を表示します。 ☞「インクをかくはんする」P.172

スリープモードメニュー

設定項目	設定範囲	内容
ジッコウ		本製品をスリープモードに移行します。表示される指示にしたがって、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。 ☞「スリープモード」P.145 ☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193
クリーニングタイマー		スリープモード中に、ヘッドクリーニングを行う間隔を設定します。
クリーニングシュルイ	オフ, ビリョウ, ツウジョウ, キョウリョク	スリープモード中のオートクリーニングの種類を選択します。
クリーニングタイマー	1, 2, 3, 4, 5, 6, 9, 12, 18, 24（時間）	スリープモード中のオートクリーニングの間隔を設定します。

基本的な使い方

印刷する 134

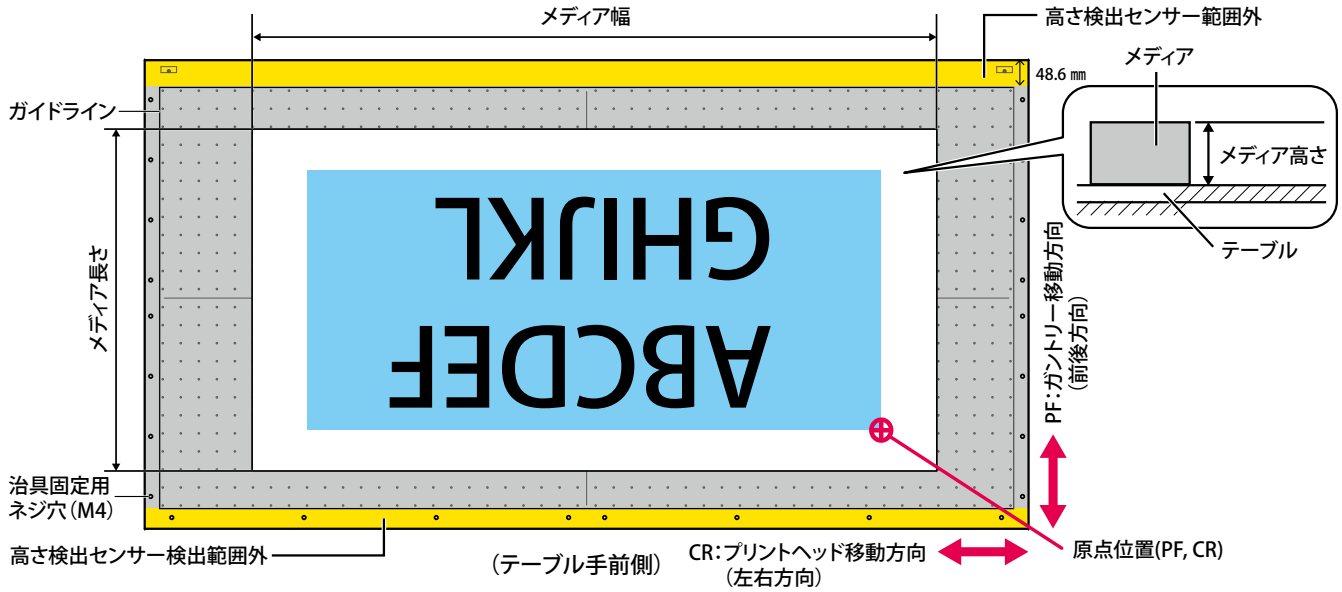
スリープモード 145

緊急停止する 147

印刷する

本製品の印刷エリア

- 設置したメディアのサイズ（幅と長さ）の入力が必要です。
- デフォルトの原点位置（印刷開始位置）はテーブル手前右端です。メディアセット位置に合わせて、原点位置を変更することもできます。
- ガイドラインは、最大の印刷領域（1420 mm × 700 mm）を示しています。
- ネジ穴（M4）は、治具（お客様でご用意ください）を固定するときに使用します。
- 各寸法については、「テーブル寸法図」P.42 をご覧ください。



Important!

- テーブル手前側のガイドラインより前方の領域は、高さ検出センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。設置したメディアより高い物を置くと、ヘッドとぶつかり故障の原因となります。

作業の流れ

印刷をするときの基本的な作業の流れは次のとおりです。

1 メディアをセットします。

☞「メディアをセットする」P.72

2 ノズルチェックとクリーニングをします。

☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78

3 印刷精度の調整をします（必要なとき）。

☞「印刷精度の調整」P.85

4 データを印刷します。

- 当社の純正 RIP ソフトウェアー「VerteLith」を使った印刷方法を説明します。

☞「印刷を開始する」P.136
☞「応用的な使い方」P.150

5 作業を終了します。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193

印刷を開始する

VerteLith を使った基本的な印刷（単層印刷）の手順を説明します。

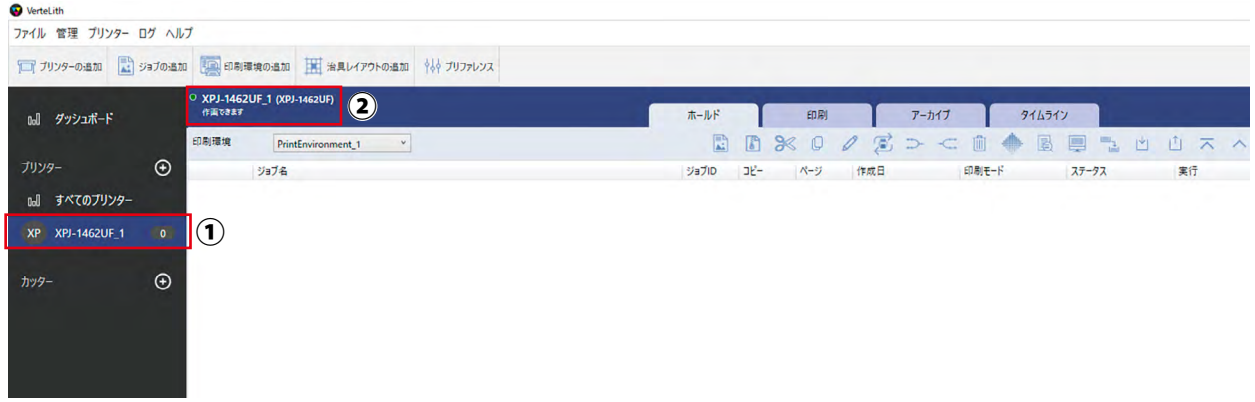
VerteLith のセットアップおよび詳しい操作方法については、別冊の「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

1 印刷を開始する前に、以下を順番に行います。

☞「メディアをセットする」P.72
☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78
☞「印刷精度の調整」P.85（必要なとき）

2 VerteLith を起動し、使用するプリンターに「XPJ-1462UF」を選択します（①）。

- 「XPJ1462UF」が表示されます（②）。

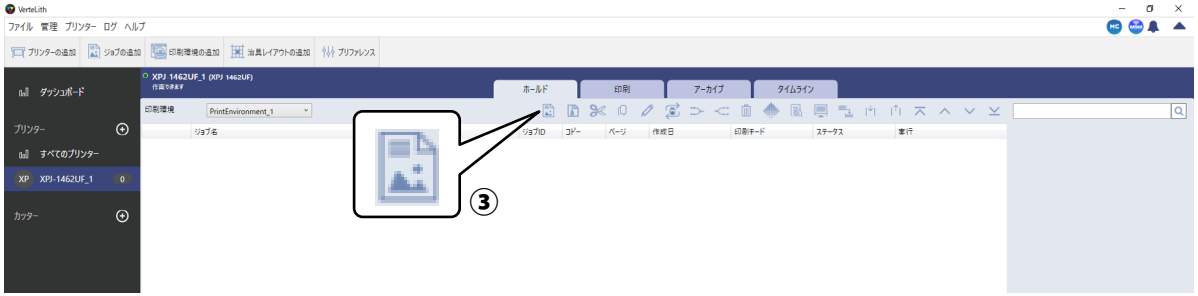


Note

プリンターの登録方法は、「VerteLith ユーザーマニュアル」をご参照ください。

3 印刷したい画像ファイルを追加します。

- ホールドタブの [ジョブ追加] アイコン（③）をクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示されます。



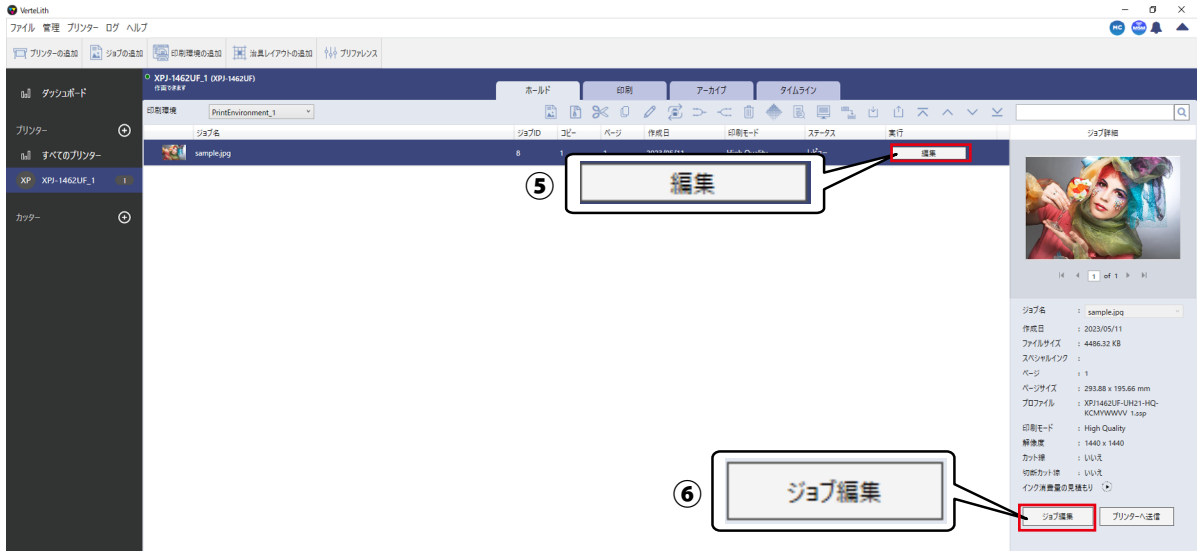
- ダイアログから追加したい画像ファイルを選択して [OK] をクリックすると、ホールドタブ内にジョブが追加されます（④）。複数のファイルも追加できます。

Note

ホールドタブにファイルをドラッグでも追加できます。

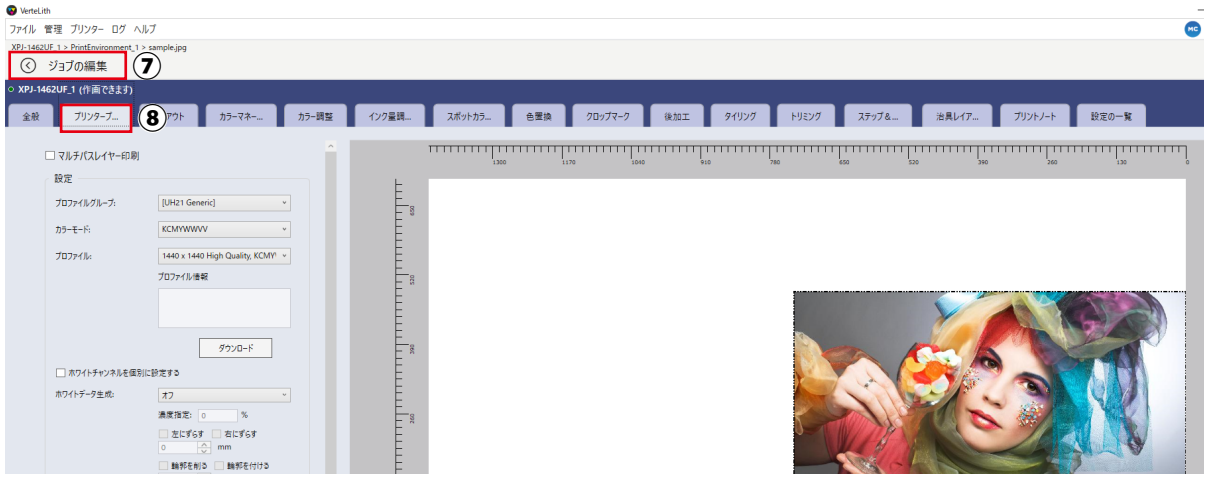
4

ジョブを選択して、[編集] (⑤) か [ジョブ編集] (⑥) をクリックします。



5

[ジョブの編集] (⑦) が表示されたら、プリンタープロファイルタブ (⑧) をクリックします。



6 基本の印刷設定を行います。

プロファイルグループを選択（⑨）

- 使用しているインクに合わせて選択します。

プロファイルを選択（⑩）

- 印刷に使用するメディア種類、印刷スピードに合わせて選択します。

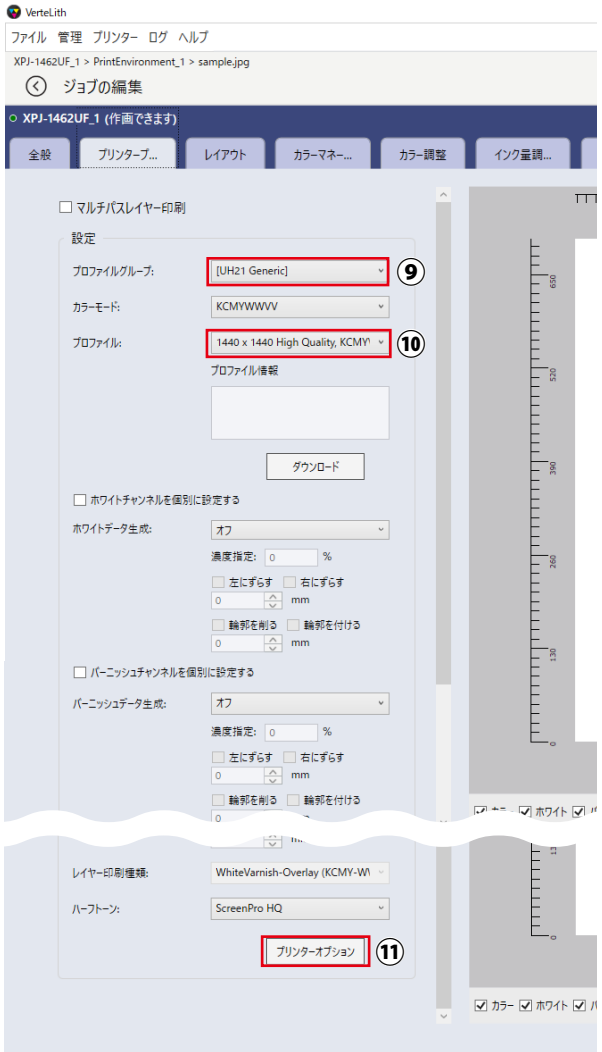
プリンターオプション（⑪）

- 詳細な印刷設定ができます（デフォルトでも印刷できます）。

Note

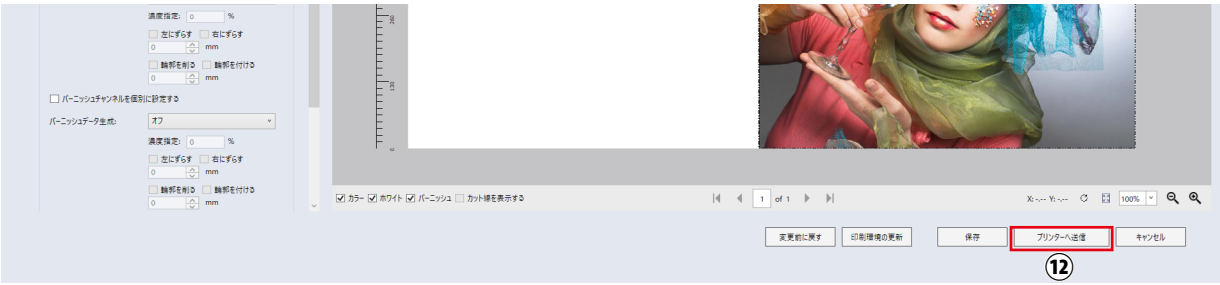
ここではカラーの単層印刷を設定しています。目的に合わせて印刷設定を変更します。

☞「応用的な使い方」P.150



7

設定後、[プリンターへ送信] (⑫) をクリックすると印刷タブが表示され、RIP 処理につづいて印刷を開始します。



- 送信中は、ジョブのステータス（送信中、RIP 処理待ち、RIP 処理中、印刷待ち）が表示されます（⑬）。

- 印刷終了後、ホールドタブに再びジョブが表示されます（⑭）。

8

作業終了後、メンテナンスを行います。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193

ジョブの停止 / 再開 / キャンセル

1 キュー停止アイコン（①）をクリックすると、RIP 処理後のジョブを「印刷待ち」状態にします（送信中のジョブの一時停止はできません）。

2 キュー再開アイコン（②）をクリックすると、「印刷待ち」のジョブの印刷を再開します。

3 キャンセルアイコン（③）をクリックすると、ジョブの印刷をキャンセルします。

印刷の一時停止 / 再開

コントロールパネルから操作します。

1 印刷中に、Cancel キーをタップします。

- 印刷が一時停止します。
- [インサツイチジテイシチュウ　インサツキャンセル－> Enter] が表示されます。

Note

- 本操作では本製品に送信された印刷データを削除しません。
- 印刷を中止しデータを削除する場合は、以下をご覧ください。

☞「印刷をキャンセルする」P.143

2 もう一度、Cancel キーをタップすると、印刷が再開します。

Important!

印刷を一時停止させた場合、印刷品質は保証できません。

印刷をキャンセルする

コントロールパネルから操作します。

1 印刷中に、 Cancel キーをタップします。

- 印刷が一時停止します。
- [インサツイチジテイシチュウ　インサツキャンセル－> Enter] が表示されます。

Note

もう一度 Cancel キーをタップすると、印刷を再開します。

2 Enter キーをタップすると、印刷がキャンセルされます（再開はできません）。

- 本製品に送信された印刷データを削除します。

Important!

ガントリーがホームポジションに戻ったときにステータスバーが緑点滅している場合は、もう一度 Cancel キーをタップし、以下の手順で印刷をキャンセルします。

- [メディアセッテイ1　インサツキャンセル] が表示されます。
- キーをタップ ➡ [インサツキャンセル　カイシ　－> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。
- [キャンセルチュウ] が表示され、本製品に送信された印刷データが削除されます。

上記を行った後もステータスバーが緑点滅している場合は、 キーをタップして印刷可能な状態にし、再度手順①、②を行ってください。

Note

Mini MSM でも印刷のキャンセルができます。

印刷中に、Mini MSM の [印刷中止] アイコンをクリックすると、印刷がキャンセルされます（再開はできません）。

☞「MiniMSM」P.96

次回、かくはんが必要となるまでの時間を表示

1. パネルに「インサツデキマス」 または「メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ」 が表示されているときに [Enter] キーをタップします。

2. 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。
詳細は「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.175 を参照してください。

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、必ずスリープモードにしてください。
スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

スリープモードの解除時に経過時間により自動メンテナンス動作を行います。

スリープモードにするときの流れ

スリープモードにするときは、コントロールパネルの指示に従って、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。
詳しい手順については、以下をご参照ください。

☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193

長期間スリープモードに入る場合

長期間スリープモードに入る場合は、事前に下記を実施してください。

- インクカートリッジ（インクパック）の残量が十分あることを確認してください。

☞「インク残量を確認する」P.181

- 廃液タンクの廃液を捨ててください。

☞「廃液タンクを空にする」P.189

Important!

スリープモード中はインクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。

☞「インクの確認と交換」P.181

スリープモードを解除する

1 スリープモードを解除するときは、[Enter] キーをタップします。

Note

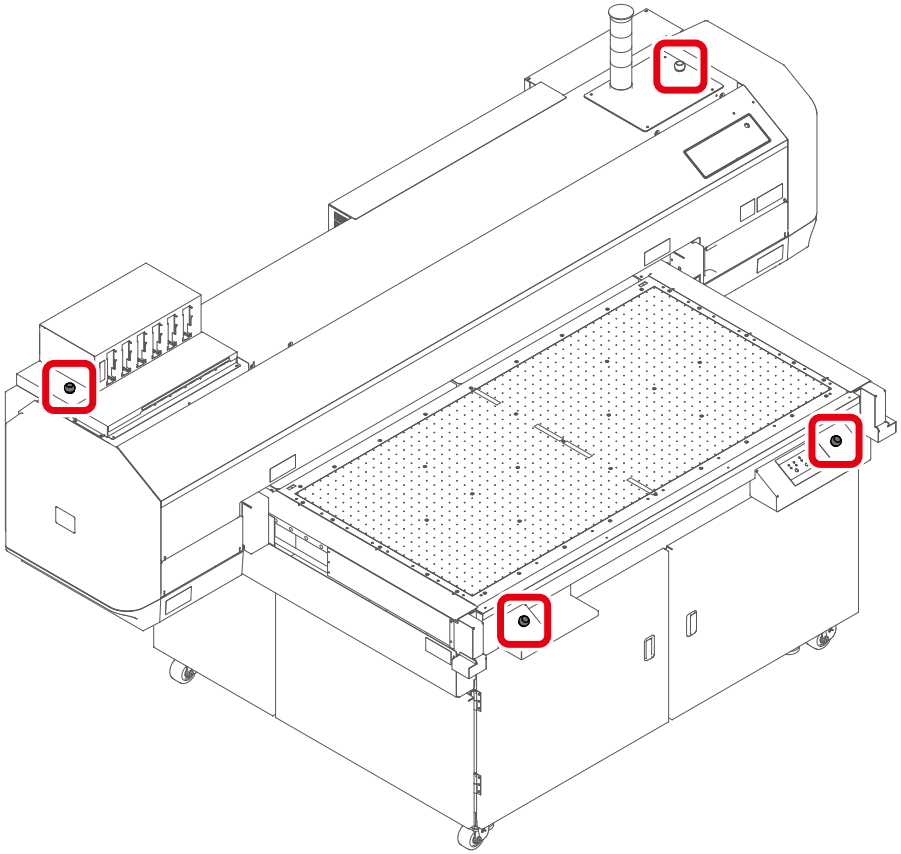
本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。

緊急停止する

本製品には安全装置として、緊急停止ボタンがあります。

緊急停止ボタンの位置

本製品の正面の左右およびガントリーの左右、計４か所です。



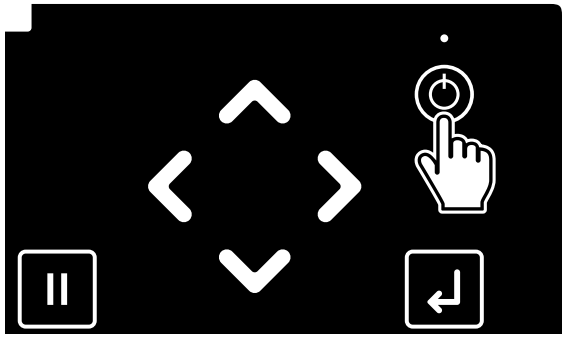
手順

1 緊急停止ボタンを押します。

- プリンターが動作を停止します。

2 [キンキュウテイシシマシタ　サイキドウシテクダサイ] が表示されます。

- 電源ボタンを 2 秒以上押します。
- プリンターが再起動し、バージョンなどの起動メッセージが表示されます。

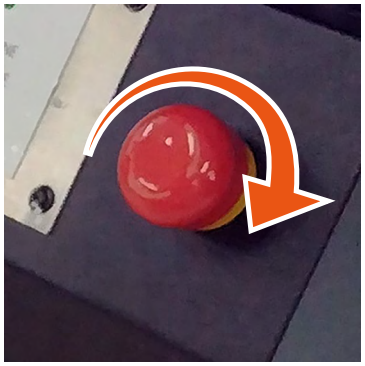


3 [キンキュウテイシボタンヲカイジョシテクダサイ] が表示されます。

- 解除するときには、ボタンを右に回します。

Note

緊急停止ボタンがすでに解除されている場合は、このメッセージは表示されません。



4 [キンキュウテイシ　フッキチュウ] が表示されます。

- ガントリーが上昇します。

5 [アンゼンカクニンシマシタカ　イイエ] が表示されます。

- 安全が確認できたら、∧ / ∨ キーでメニューをスクロールし、[アンゼンカクニンシマシタカ　ハイ] を選択します。
- ↵ Enter キーをタップします。

6 [イニシャルチュウ] が表示されます。

7 [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。

- 印刷可能な状態に戻りました。

応用的な使い方

レイヤー印刷 151

治具レイアウト印刷 160

レイヤー印刷

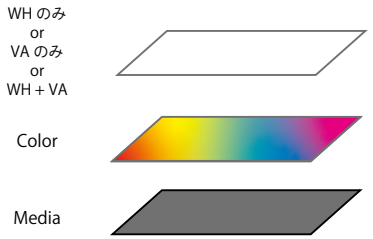
シングルパスレイヤー印刷

XPJ-1462UF は、ひとつの画像ファイルからホワイトレイヤーまたはバーニッシュレイヤーを自動生成し、１回の移動で２層を同時に印刷する [シングルパスレイヤー印刷] ができます。レイヤーの重ね順が異なる以下の２種類があります。本製品のプリントヘッドの構造上、それぞれ印刷時のガントリーの移動方向が異なります。

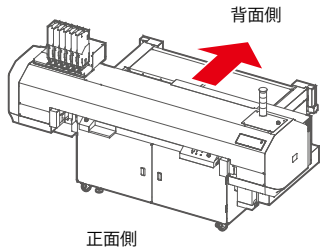
オーバーレイ印刷

カラー印刷の上にホワイトインクまたはバーニッシュインクを重ねて印刷します。ガントリーはテーブルの正面側から背面側に移動しながら印刷します。

印刷イメージ



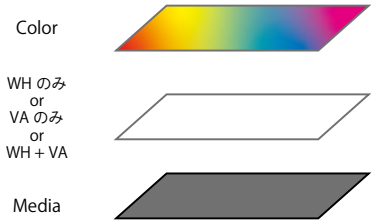
ガントリーの移動方向



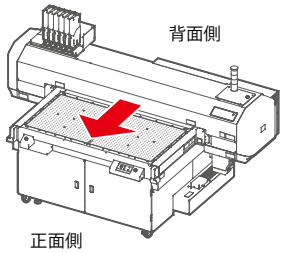
アンダーレイ印刷

ホワイトインクまたはバーニッシュインクを印刷し、その上にカラーを重ねて印刷します。ガントリーはテーブルの背面側から正面側に移動しながら印刷します。

印刷イメージ



ガントリーの移動方向



シングルパスレイヤー印刷の設定

[ジョブの編集] でプリンタープロファイルタブをクリックし、以下を設定します。

カラーモードを選択 (①)

- [KCMYWWVV] を選択します。
- カラーデータに加えて、ホワイト（またはバーニッシュ）のデータ生成ができます。

ホワイトデータの生成 (②)

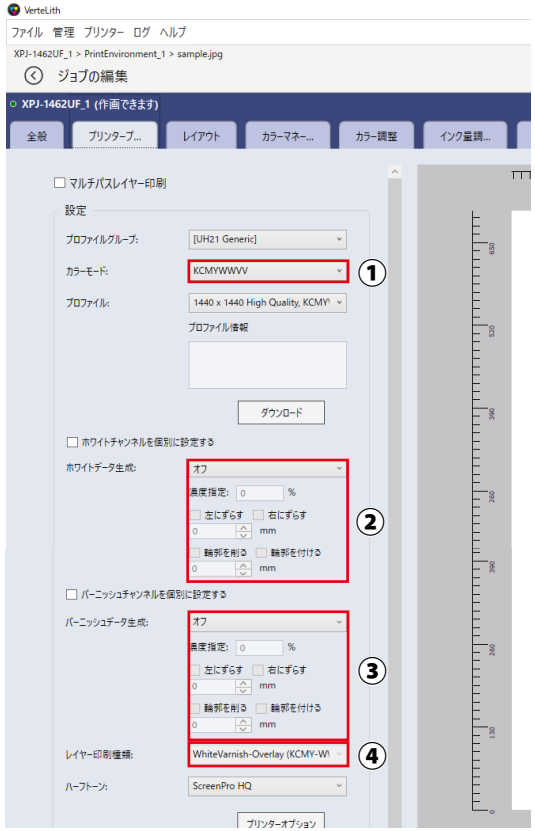
- リストからデータの生成方法、濃度、位置補正、輪郭補正を設定します。

バーニッシュデータの生成 (③)

- リストからデータの生成方法、濃度、位置補正、輪郭補正を設定します。

レイヤー印刷種類の選択 (④)

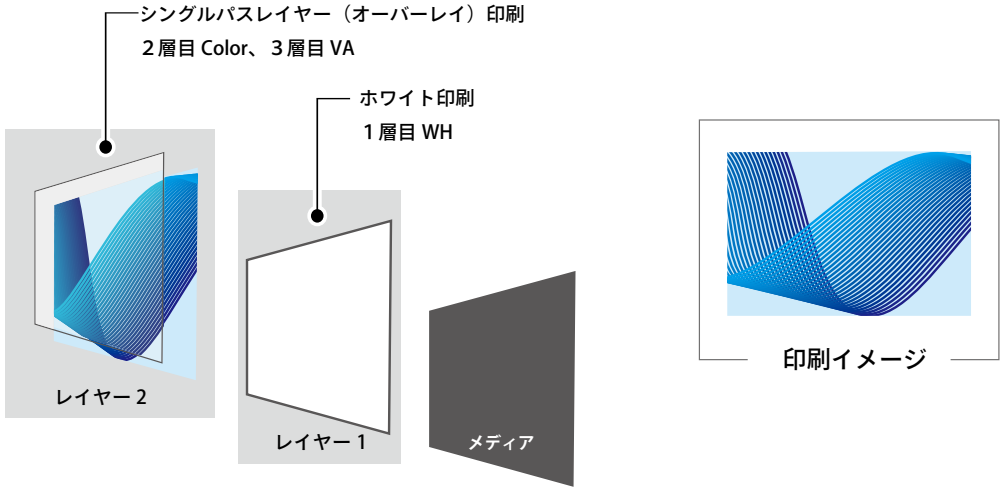
- 用途に合わせて重ね順を設定します。「オーバーレイ」「アンダーレイ」のいずれかを選択できます。



マルチパスレイヤー印刷

[マルチパスレイヤー印刷] は、レイヤーを 1 層ずつ重ねて印刷する方法です。各レイヤーごとにカラーモードを設定します。ひとつの画像ファイルを使用して、以下の印刷例ような 3 層以上の印刷を行う場合は、[マルチパスレイヤー印刷] を使います。

・印刷例：ホワイト印刷＋シングルパスレイヤー印刷



マルチパスレイヤー印刷の設定

1 [ジョブの編集] でプリンタープロファイルタブをクリックし、[マルチパスレイヤー印刷] を有効にします（①）。

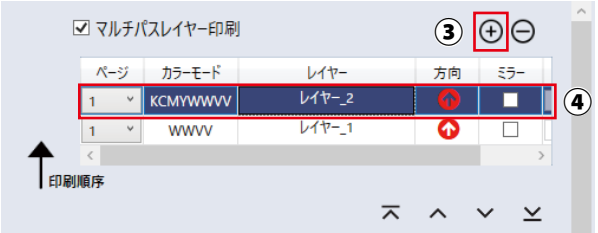
・レイヤーのリストビューが表示されます（②）。

2 [+] アイコン（③）をクリックして、レイヤーを追加します

- レイヤー _1 の上に、レイヤー _2 が作成されます（④）。
- リストの下から順にメディア上に印刷されます。

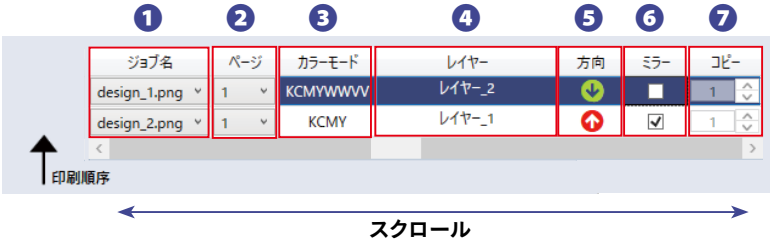
Note

レイヤーを選択した状態で [+] アイコンをクリックすると、選択したレイヤーがコピーされ、[−] アイコンをクリックすると選択したレイヤーが削除されます。



Important!

マルチパスレイヤー印刷のリストビュー構成

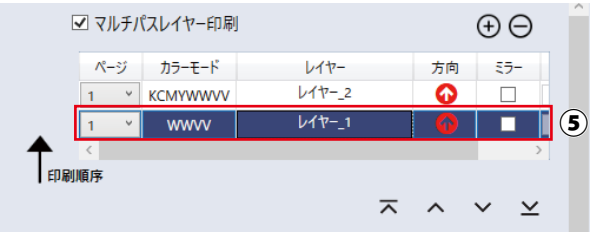


❶ ジョブ名	ネストしたジョブ名を表示します（ネストしていないときは表示されません）。 ☞「ネスト機能を使ったマルチパスレイヤー印刷」P.156
❷ ページ	複数ページある PDF ファイルを印刷するときに印刷するページを指定します。
❸ カラーモード	選択中のカラーモードを表示します。
❹ レイヤー	レイヤーの印刷順番を表示します。
❺ 方向	印刷時のガントリーの移動方向を表示します。 は背面側から正面側へ移動しながら、 は正面側から背面側へ移動しながら印刷します。
❻ ミラー	チェックを入れると、画像を反転させます。
❼ コピー	同一のレイヤー内にコピーする数量を変更します。

3 リストビューからレイヤーを選択し、各レイヤーの印刷設定をします。
この例では、レイヤー _1 にホワイトデータを生成し、レイヤー _2 にはカラーの上にバーニッシュデータを生成するオーバーレイ印刷を設定します。

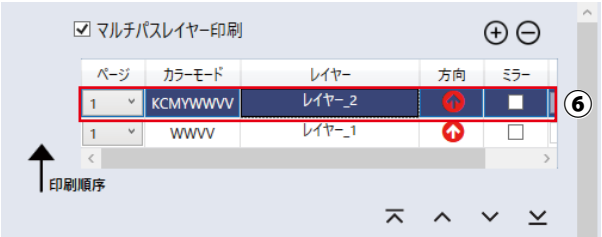
レイヤー _1 をクリックで選択し（⑤）、以下のように設定します。

- カラーモード：[WWVV]
- ホワイトデータ生成：[全ピクセルに対し指定の濃度で生成」
- 濃度指定：[100%]
- バーニッシュデータ生成：[オフ]
- Printing Direction：[Forward]



レイヤー _2 をクリックで選択し（⑥）、以下のように設定します。

- カラーモード：[KCMYWWVV]
- ホワイトデータ生成：[オフ]
- バーニッシュデータ生成：[全ピクセルに対し指定の濃度で生成]
- 濃度指定：[100%]
- レイヤー印刷種類：[WhiteVarnish-Overlay (KCMYWWVV)] を選択。

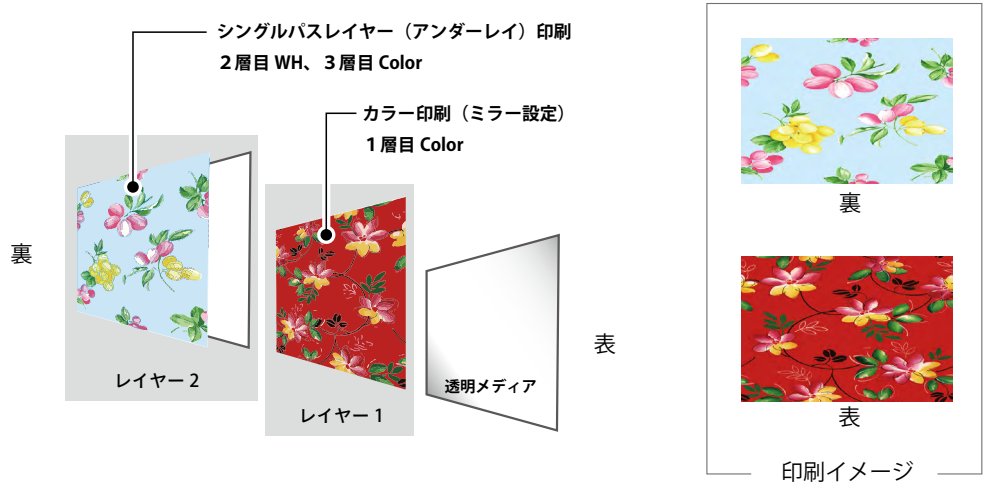


4 設定後、画面右下の [プリンターへ送信] をクリックすると印刷タブが表示され、RIP 処理につづいて印刷を開始します。

ネスト機能を使ったマルチパスレイヤー印刷

複数の画像ファイルを使ってレイヤー印刷をする場合は、複数のジョブをひとつにグループ化する「ネスト」を使うと効率的に印刷できます。ここでは、下のイラストのようにふたつの画像をネストして、表と裏から見えるデザインが異なる印刷例の設定方法を説明します。

・印刷例：カラー印刷 ＋ シングルパスレイヤー印刷



ネストの手順と印刷設定

1 ネストしたいジョブをクリックで選択します（①）。

2 [ネスト] アイコン（②）をクリックします。

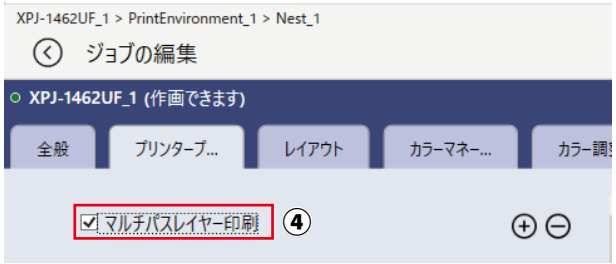
- ネスト設定後、次のように表示が切り替わります（③）。

Note

- ネストしたいファイルを選択して右クリック - [ネスト] を選択でも設定できます。
- ネスト方法は、新規で追加したすべてのジョブを自動でネストする「オート」もあります。詳細は別冊「VerteLith ユーザーズガイド」をご参照ください。

3 ネストしたジョブをクリックで選択して、[編集] または [ジョブの編集] をクリックします。

4 [ジョブの編集] が表示されたらプリンタープロファイルタブをクリックし、[マルチパスレイヤー印刷] を有効にします（④）。



5 [ネストジョブの配置方法] が表示されます。

- [レイヤー] を選択します（⑤）。

6 各レイヤーに割り当てられたジョブのリストビューが表示されます（⑥）。

- リストの下にあるレイヤーから順にメディア上に印刷されます。
- メディア上に印刷をしたいジョブをリストの一番下に移動します。この例の場合は、レイヤー _2 に割り当てられた画像ファイルをメディア上に印刷し、レイヤー _1 に割り当てられた画像ファイルをレイヤー 2 の上に重ねて印刷します。

Note

印刷順序を変更する場合は、 アイコンをクリックして入れ替えてください。

7

リストビューから対象のレイヤーを選択し、各レイヤーの印刷設定をします。
この例の場合、レイヤー _1 は画像を反転（透明メディア越しに印刷結果を見るため）、レイヤー _2 はホワイトデータを生成するように設定します。

レイヤー _1 をクリックで選択し（⑦）、以下を設定します。

- [ミラー]（⑧）にチェックを入れる。
- カラーモード：[KCMY] を選択。
- Printing Direction：[Forward] を選択。

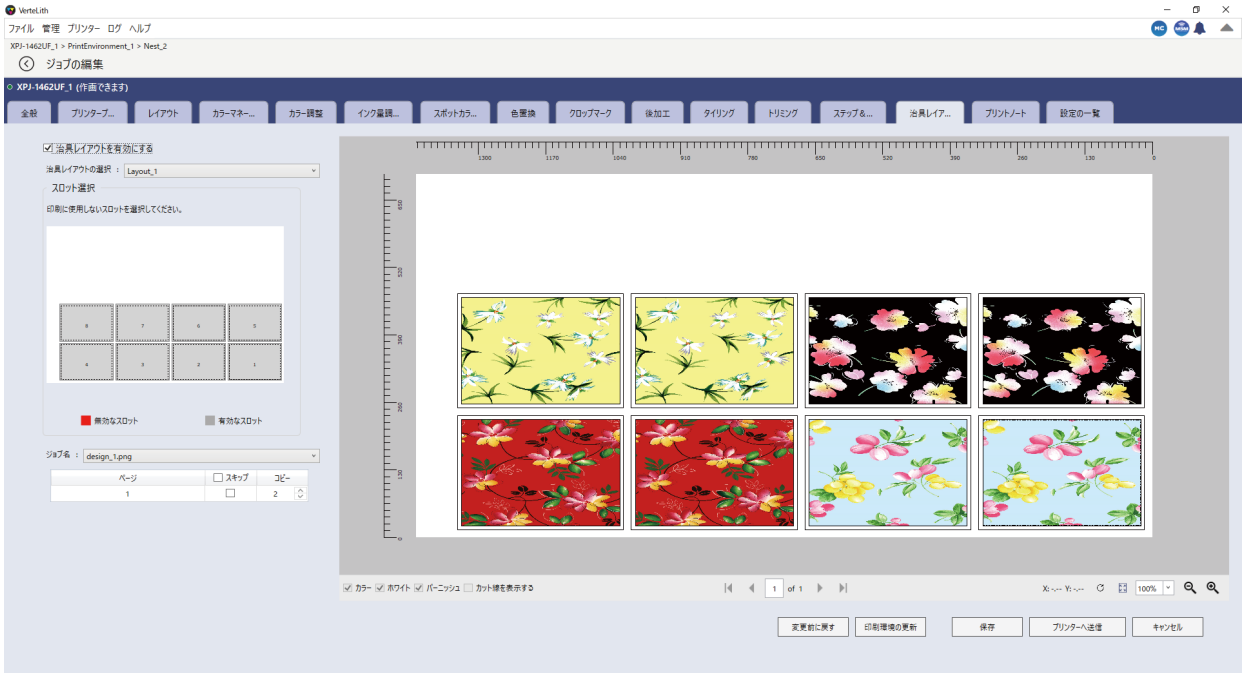
レイヤー _2（⑨）をクリックで選択し、以下を設定します。

- カラーモード：[KCMYWWVV] を選択。
- ホワイトデータ生成：[全ピクセルに対し指定の濃度で生成] を選択。
- 濃度指定：[100%]
- レイヤー印刷種類：[WhiteVarnish-Underlay (WWVV-KCMY)] を選択。

治具レイアウト印刷

治具レイアウトは、ジョブの割付け位置、割付け数でレイアウトを作成しテンプレートとして登録する機能です。印刷したいオブジェクトをテーブルに等間隔で配置して、一度に印刷することができます。作成したレイアウトを印刷すれば、簡易治具として使用できます。

ネストしたジョブの治具レイアウト設定例



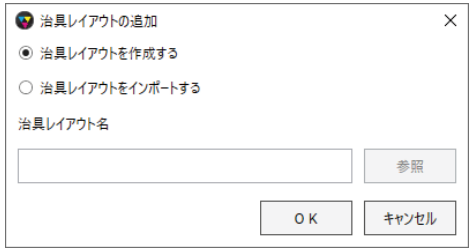
治具レイアウトを使った印刷の手順

はじめに治具レイアウトを作成します。

レイアウトの作成

1 [治具レイアウト追加] (①) をクリックします。

- [治具レイアウトの追加] ダイアログが表示されます。



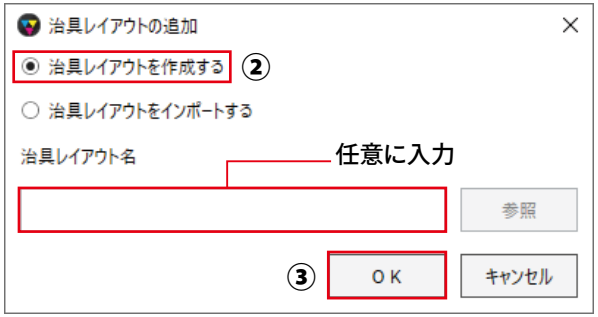
2 [治具レイアウトを作成する] を選択し (②)、治具レイアウト名を任意に入力して [OK] をクリックします (③)。

Important!

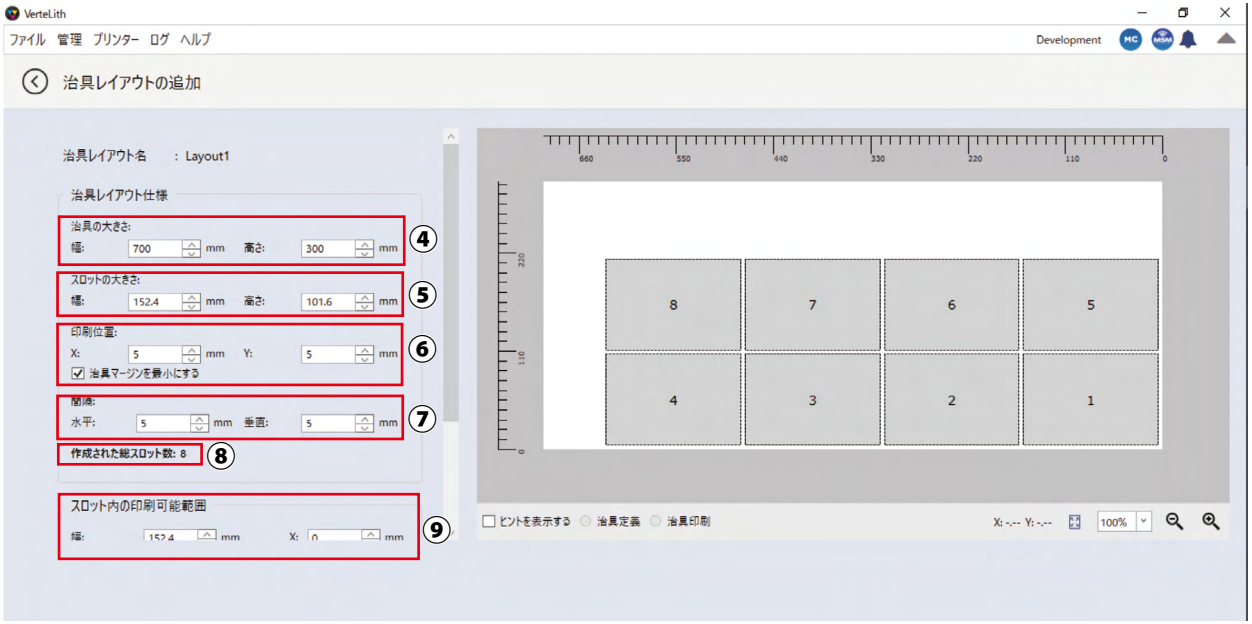
[治具レイアウトをインポートする] を選択すると、外部アプリケーションで作成したレイアウトをインポートできます。

【手順】

- [治具レイアウトをインポートする] を選択。
- [参照] をクリックして、治具レイアウトファイルを選択 (SVG 形式で作成したファイルを選択します)。
- [OK] をクリック後、治具のレイアウトの編集画面が表示されます。



3 治具レイアウトの編集画面が表示されたら、以下を設定します。



[治具の大きさ] を設定 (④)

- 治具の幅と高さを指定します。

[スロットの大きさ] を設定 (⑤)

- スロットは、ジョブが配置される枠です。ジョブの画像ファイルの大きさと同じ幅と高さを指定します。

[印刷位置] を設定 (⑥)

- 治具スロットを配置する右下の X/Y 値を指定します。
- [治具マージンを最小にする] を有効にすると、XY の最小値を 0mm に設定できます。無効の場合は、XY の最小値は 5mm です。

[間隔] を設定 (⑦)

治具スロット間の水平方向と垂直方向の間隔を指定します。

作成された総スロット数（⑧）

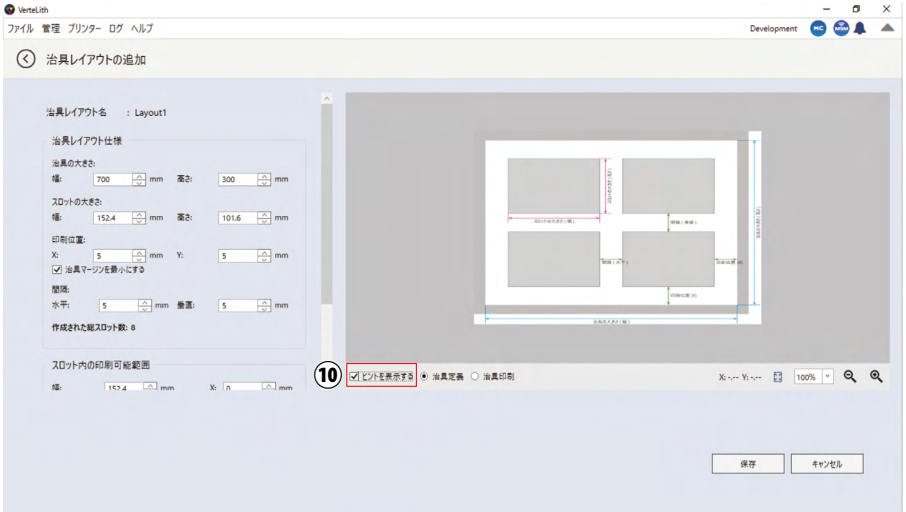
- 治具スロットの総数が表示されます。この例の場合、作成された総スロット数は８です。

スロット内の印刷可能範囲（⑨）

- ジョブの印刷範囲の幅と高さを指定します。

Note

[ヒントを表示する]（⑩）を有効にすると、治具の定義または治具印刷の説明が表示されます。



治具レイアウトを使ってジョブを印刷する

作成した治具レイアウトにジョブを割り付け、印刷します。

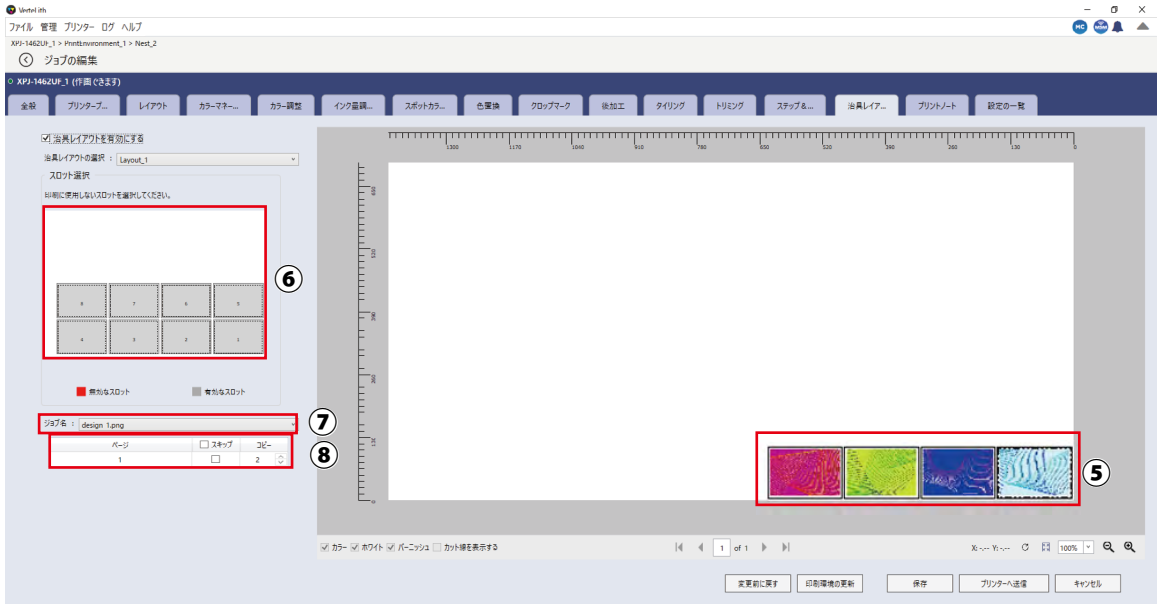
1 印刷したいジョブを選択し、[編集] をクリックします (①)。ここではネストしたジョブを選択しています。

2 [ジョブの編集] が表示されたら、治具レイアウトタブをクリックします (②)。

3 治具レイアウトを有効にします (③)。

- [治具レイアウトの選択] が表示されたら、ドロップダウンリストから、作成した治具レイアウトを選択します (④)。

4 選択したジョブが、作成した治具レイアウトのスロットに自動で割り付けられます（⑤）。
必要に応じて、以下を設定します。



スロット選択（⑥）
印刷しないスロットを選択します。

ジョブ名（⑦）
ネストしたジョブを選択時、割り付けるジョブを選択します。

ページの割り当てとコピー（⑧）
- ジョブのコピー数と、スキップするページを指定します。コピー数が治具スロット数を上回る場合は、残りのページまたはコピーを次の治具で印刷します。

5 設定後、画面右下の [プリンターへ送信] をクリックすると印刷タブが表示され、RIP 処理につづいて印刷を開始します。

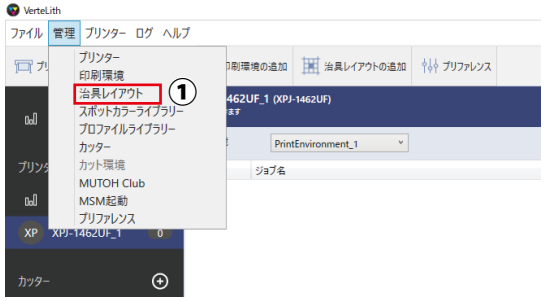
簡易治具

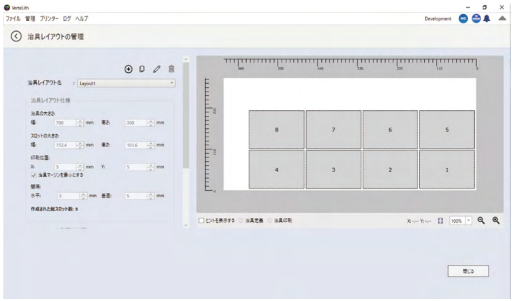
作成した治具レイアウトを印刷すると、簡易治具として使用できます。

1

[管理] ー [治具レイアウト] を選択します (①)。

- [治具レイアウトの管理] 画面が表示されます。

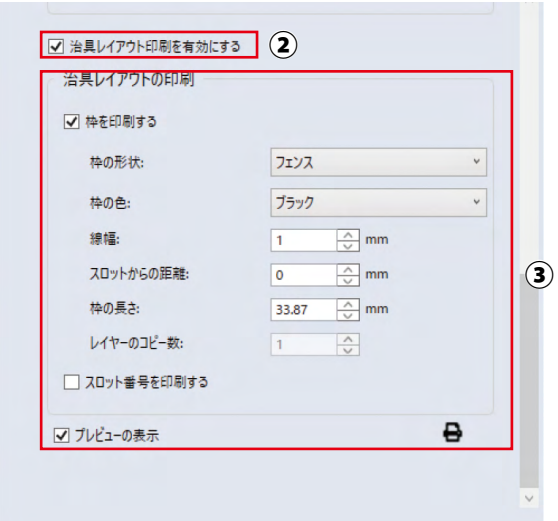




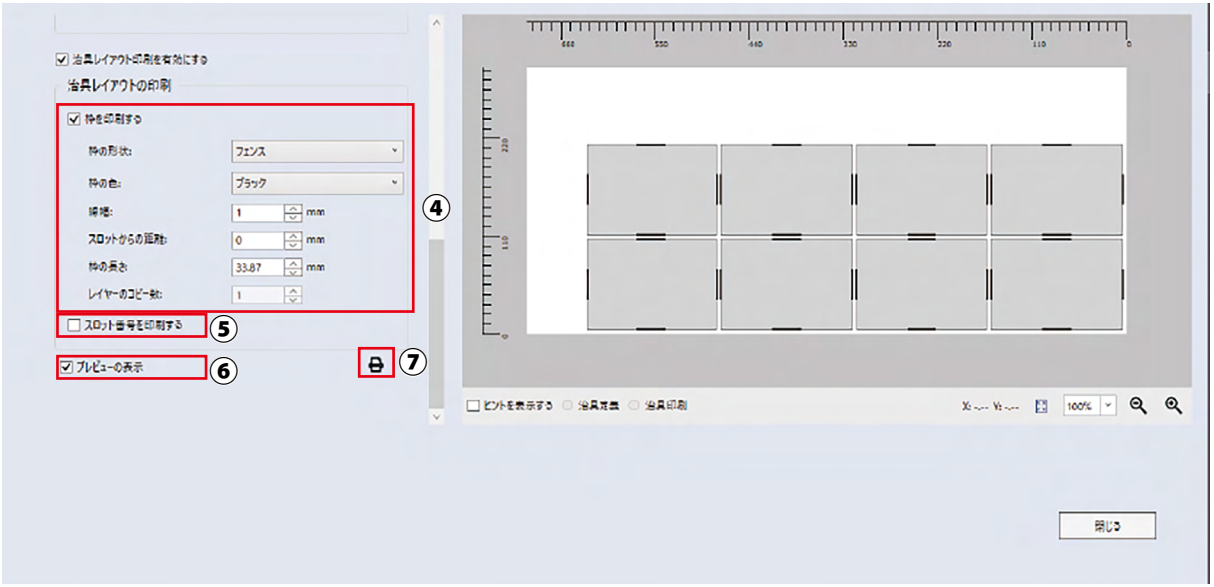
2

治具レイアウト印刷を有効にします (②)。

- [治具レイアウトの印刷] が表示されます (③)。



3 目的に合わせて以下を設定します。



枠を印刷する（④）

- 各スロットに枠をつけて印刷します。枠の設定は「枠の形状」、「枠の色」をリストから選択し、続けて「線幅」、「スロットからの距離」、「枠の長さ」の他、「レイヤーのコピー数」で重ね描き回数を設定します。

スロット番号を印刷する（⑤）

- 各スロットに番号をつけて印刷します。

プレビューの表示（⑥）

- 有効にすると、スロットにつけた枠、番号をプレビュー表示します。

[治具レイアウトの印刷] アイコン（⑦）

- 「治具レイアウトの印刷」ダイアログを表示します。

4

[治具レイアウトの印刷] アイコン（⑦）をクリックすると、[治具レイアウトの印刷] ダイアログが表示されます。

- 治具レイアウトが該当するプリンターの印刷環境をリストから選択します。（⑧）

Note

[試し印刷]（⑨）を有効にすると、ひとつのスロットをテスト印刷します。

5

[プリンターへ送信]（⑩）をクリックします。

- 送信後、[治具レイアウト印刷アイコン] の下に印刷の進捗状況が表示されます。

メンテナンス

メンテナンスについて 170
保護具をつける 171
インクをかくはんする 172
インクの確認と交換 181
廃液タンクを空にする 189
1日の作業終了後のメンテナンス 193
ご使用にあわせたメンテナンス 204
消耗品の交換 218
長期間使用しない場合 236
輸送・移動 240

メンテナンスについて

本製品の性能を維持するために、お客様によるメンテナンスをお願いいたします。

メンテナンスには次のようなものがあります。

実施タイミング	
毎日の作業の開始前	☞「保護具をつける」P.171
	☞「インクをかくはんする」P.172
	☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78
毎日の作業の終了後	☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193
ご使用に合わせて	☞「ヘッドクリーニング」P.204
	☞「インクの確認と交換」P.181
	☞「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.188
	☞「廃液タンクを空にする」P.189
	☞「漬け置きクリーニング」P.206
	☞「各部の清掃」P.209
	☞「イオナイザー (オプション品) のメンテナンス」P.211
	☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.220
	☞「UV-LED ランプのガラスの交換」P.227
	☞「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.230
	☞「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.232
6 か月に 1 度	☞「クリーニングワイパーの交換」P.224

Important!

次の場合には、サービスマンによる対応が必要となりますので、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

- 重障害エラーが繰り返し発生した。
- 各種モーター、ポンプ、UV-LED ランプの寿命を知らせるメッセージが表示された。

☞「メッセージとエラーメッセージ」P.242
☞「お問い合わせ先」P.266

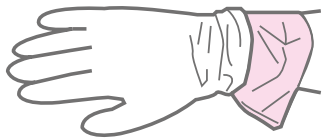
保護具をつける

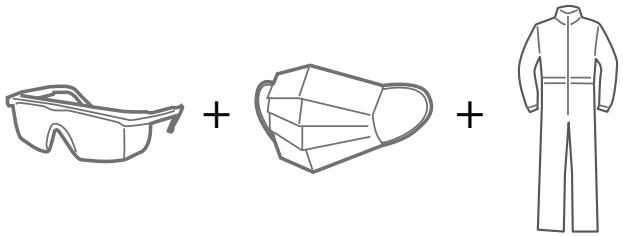
作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

特に下記の作業を行う場合は、付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグル等の保護具を着用してください。

- 「インクをかくはんする」P.172
- 「インクの確認と交換」P.181
- 「大容量パックアダプターのプラグ交換」P.188
- 「廃液タンクを空にする」P.189
- 「１日の作業終了後のメンテナンス」P.193
- 「漬け置きクリーニング」P.206
- 「各部の清掃」P.209
- 「イオナイザー（オプション品）のメンテナンス」P.211
- 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.220
- 「クリーニングワイパーの交換」P.224
- 「UV-LED ランプのガラスの交換」P.227
- 「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.230
- 「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.232





付属の手袋の装着方法

ポリエチレン手袋（ピンク色）の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。

インクをかくはんする

インクの沈降を防ぐため、インクを次の場合にかくはんしてください。

- 初めて使用する前
- 次のメッセージが表示されたとき

Wインク　カクハン　スル	ホワイト（Wh）のインクをかくはんしてください。 • 12 時間ごとに表示します
KMCYインク　カクハン　スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のインクをかくはんしてください。 • 72 時間ごとに表示します。
KMCYWインク　カクハン　スル	ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（Wh）のインクをかくはんしてください。 • 72 時間ごとに表示します。

Important!

- インクは定期的にかくはんする必要があります。放置するとインクが沈降し、画質不良や故障の原因となります。
- ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）をかくはんするメッセージは、ホワイト（Wh）をかくはんする周期に合わせて表示される場合があります。
- インクをかくはんするメッセージが表示された後、12 時間までは一定時間経過しないと印刷できない状態が続きます。12 時間経過後は、印刷ができなくなります。どちらの場合も、インクをかくはんすると復帰します。

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

任意のタイミングでかくはんを行いたいとき

かくはんメッセージが表示される前に、任意のタイミングでかくはんを行うことができます。

- 夜間など、連続印刷を行いたい場合などでは予め、かくはんを行うことで安定した品質で、スムーズに印刷を行うことができます。

以下 2 つの方法があります。

- 「メニューからかくはんを行う場合」P.173
- 「ダイレクトキーからかくはんを行う場合」P.175

Note

「次回、かくはんが必要となるまでの時間は、インクかくはんメニューからも確認できます」P.177

メニューからかくはんを行う場合

1 [Home] キーをタップすると、[メニュー1　セッテイ] が表示されます。

/ キーをタップし、[メニュー 6：　インクカクハン] を選択します。

```
メニュー6
インクカクハン
```

2 キーをタップします。

[インクカクハン 1：　カイシ] が表示されます。

```
インクカクハン 1
カイシ
```

3 キーをタップすると、[タイショウ　インク：　KMCYW] が表示されます。

```
タイショウ　インク：
                KMCYW
```

4 ⌃／⌄キーでかくはんを行いたいインクを選択します。

- 「KMCYW」：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（Wh）のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「KMCY」　：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「W」　　：ホワイト（Wh）のかくはんを行いたい場合に選択します。

Note

すでに「＊　インク　カクハン　スル」が表示されている場合、本画面に表示される選択肢は、以下のように変わります。
例）「KMCY　インク　カクハンスル」が表示されている場合：「KMCYW」と [KMCY] を表示します。
「W　インク　カクハンスル」　が表示されている場合：「KMCYW」と「W」を表示します。
かくはんメッセージが示すインクを、かくはんしていただくためです。

5 ↵ [Enter] キーで確定すると、選択したインクをかくはんする、メッセージが表示されます。

- 表示されているインクをかくはんしてください。
- 表示されているインクすべてをかくはんすると、メッセージが消えます。

KMCYWインク　カクハン　スル

ダイレクトキーからかくはんを行う場合

1 パネルに右図の画面が表示されているときに [Enter] キーをタップします。

```
インサツデキマス
H:xxx.xmm          Type 1
```

または

```
メデ゛ィア ヲ セットシテ、
[∧] キーヲ タップ゜ シテクダ゛サイ
```

2 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。

- ∧/∨キーで、ブラック(K)、マゼンタ(M)、シアン(C)、イエロー(Y) と ホワイト(Wh) の時間を確認できます。

```
ジカイ カクハン マデ
KMCY:              48h
```

```
ジカイ カクハン マデ
W:                 <1h
```

1時間単位で表示します。

表示例)

次回のかくはんまで、 2時間以上3時間未満の場合: 「2h」と表示します。
次回のかくはんまで、 1時間以上2時間未満の場合: 「1h」と表示します。
次回のかくはんまで、 1時間未満の場合: 「<1h」と表示します。
すでにかくはんメッセージが表示されている場合: 「カクハン スル」を表示します。

3 ❯キーをタップすると、[タイショウ　インク：　KMCYW] が表示されます。

```
タイショウ　インク：
                KMCYW
```

4 ⌃/⌄キーでかくはんを行いたいインクを選択します。

- 「KMCYW」：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）、ホワイト（Wh）のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「KMCY」　：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）のかくはんを行いたい場合に選択します。
- 「W」　　：ホワイト（Wh）のかくはんを行いたい場合に選択します。

Note

すでに「＊　インク　カクハン　スル」が表示されている場合、本画面に表示される選択肢は、以下のように変わります。
例）「KMCY　インク　カクハンスル」が表示されている場合：「KMCYW」と [KMCY] を表示します。
「W　インク　カクハンスル」　が表示されている場合：「KMCYW」と「W」を表示します。
かくはんメッセージが示すインクを、かくはんしていただくためです。

5 ↵ [Enter] キーで確定すると、選択したインクをかくはんする、メッセージが表示されます。

- 表示されているインクをかくはんしてください。
- 表示されているインクすべてをかくはんすると、メッセージが消えます。

```
KMCYWインク　カクハン　スル
```

次回、かくはんが必要となるまでの時間は、インクかくはんメニューからも確認できます

1 [Home] キーをタップすると、[メニュー1　セッテイ] が表示されます。

/ キーをタップし、[メニュー 6：　インクカクハン] を選択します。

メニュー6
インクカクハン

2 キーをタップします。

[インクカクハン 1：　カイシ] が表示されます。

インクカクハン 1
カイシ

3 キーをタップし、[インクカクハン2：　ジカイカクハン] を選択します。

インクカクハン 2
ジカイ　カクハン

4 次回、かくはんが必要となるまでの時間が表示されます。
［KMCY］:ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）
［W］　　:ホワイト（Wh）

```
KMCY:        48h
   W:        <1h
```

1時間単位で表示します。

表示例）

次回のかくはんまで、2時間以上3時間未満の場合：「2h」と表示します。
次回のかくはんまで、1時間以上2時間未満の場合：「1h」と表示します。
次回のかくはんまで、1時間未満の場合：「<1h」と表示します。
すでにメッセージ表示されている場合：「カクハン　スル」を表示します。

Note

キーをタップすると、かくはんを行う画面を表示します。
- かくはんを行いたい場合は、実行してください。

詳細は「メニューからかくはんを行う場合」P.173 を参照してください。

5 時間を確認したら、キーをタップして、インクかくはんメニューに戻ります。
[Home] キーをタップすると、［インサツデキマス］の表示に戻ります。

```
インサツデキマス
H:xxx.xmm      Type 1
```

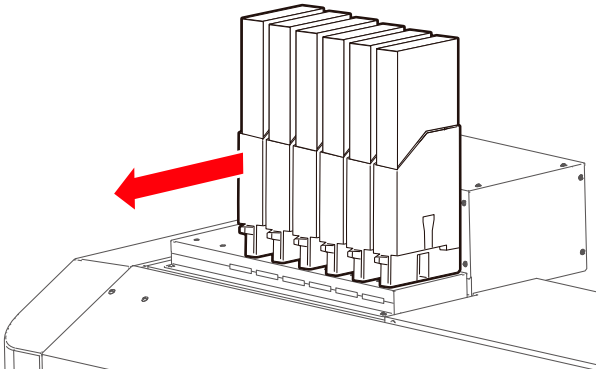
インクかくはんの手順

Note

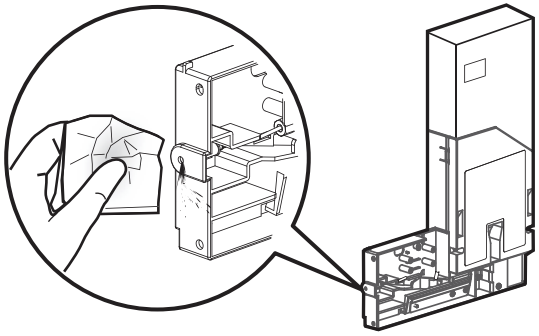
大容量パックアダプターの詳しい取り扱い方法につきましては、「大容量パックアダプターの取扱説明書」を参照してください。

1 電源が入っていることを確認します。

- 大容量パックアダプターをインクスロットから抜きます。

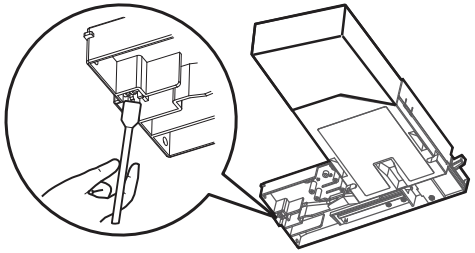


2 プリンター付属のペーパータオルで、大容量パックアダプターのプリンターさし込み口に付着しているインクを拭き取ります。



3 大容量パックアダプターを傾け、垂れてきたインクをクリーンスティックで吸い取ります。

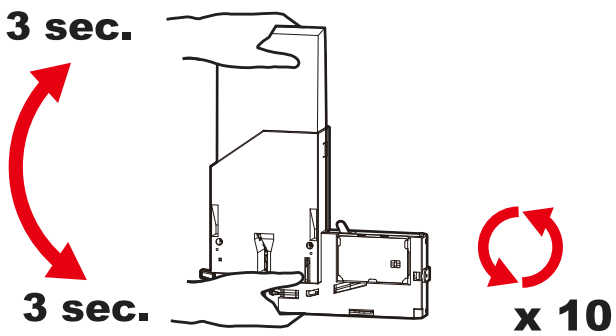
- 傾けるときは、大容量パックアダプターのさし込み口がやや下を向くようにします。
- 傾けるときは、警告ラベルの貼付面が下向きになるようにします。



4
- インクパックが大容量パックアダプターから抜けないように、遮光カバーの上から押さえ、インクパックのさし込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に、さし込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- これを 10 回繰り返します。

Note

バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

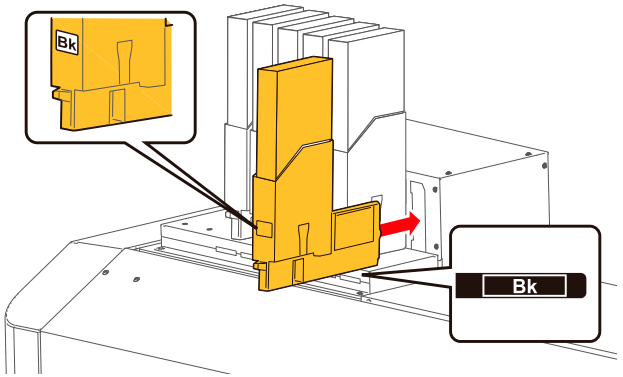


5 大容量パックアダプターを元のインクスロットにさし込みます。

- 本製品のラベルとインクパックの色を合わせてください。
- 奥までしっかりさし込んでください。

Note

大容量パックアダプターを戻す際は、元のインクスロットにさし込んでください。



インクの確認と交換

インク残量を確認する

1 インジケーターを確認します。

- 詳細を確認する場合は、Home キーをタップします。

Note

MSM のリモートパネルからもインク残量を確認できます。

☞「MSM の起動方法」P.94

2 キーを何回かタップして、[メニュー4 プリンタステータス] を表示させます。

- キーをタップします。

3 [プリンタステータス1 インク] が表示されます。

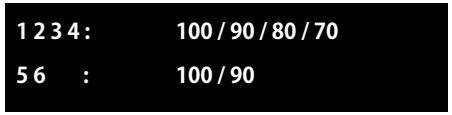
- キーをタップします。

4 Slot 1 ～ Slot 6 のインクの残量が 0% ～ 100% で表示されます。

Note

インク残量が 10%で点滅表示している場合、対応しているインクに対してスマートチップリカバリーが実行されています。

☞「スマートチップリカバリー」P.249



インクの交換が近づいたら

インクの残量が少なくなると、ステータスバーが赤色に点滅し、ブザーが鳴ります。

手順

1 Enter キーをタップします。

- ブザーが停止します。
- 2 秒間隔でプリンター状態とインク残量警告を交互に表示します。また、対象のインク色のインジケーターは 0.5 秒間隔で表示・非表示を繰り返します。
- 下図では Slot 5 のインクの交換が近づいています。

2 交換用インクを用意します。

Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

インクの交換

インクがなくなると、ステータスバーが赤色に点灯し、ブザーが鳴ります。また、印刷が一時停止します。新しいインクに交換すると再開します。

Important!

- 本製品の電源がオフになっている場合は、インクを交換しないでください。インク残量の検出が正しくできなくなります。
- 交換用のインクがお手元にない場合は、使い終わったインクを製品に挿入したままにしてください。インクを取り外した状態で製品を放置すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- インクを、寒い所から暖かい所へ移動させた場合は、3 時間以上放置してから使用してください。

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「感電・ショート・火災について」P.10
☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

インク交換の手順

大容量パックアダプターの取り外し

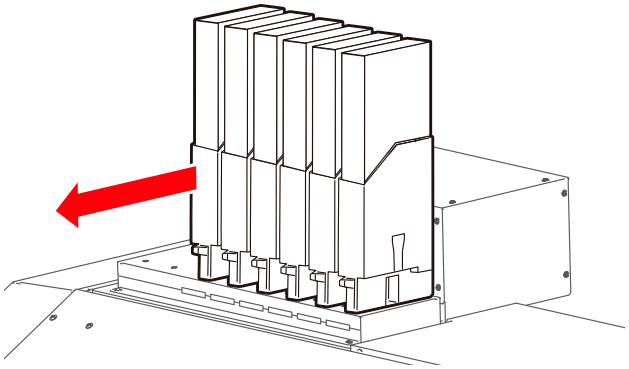
1 Enter キーをタップします。

- ブザーが停止します。
- 下図では Slot 1 と Slot 6 のインクの交換が必要です。

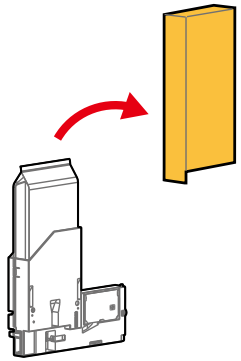
Note

スリープモード中は、ブザーを停止した後もスリープモードを継続します。

2 交換する大容量パックアダプターを取り外します。



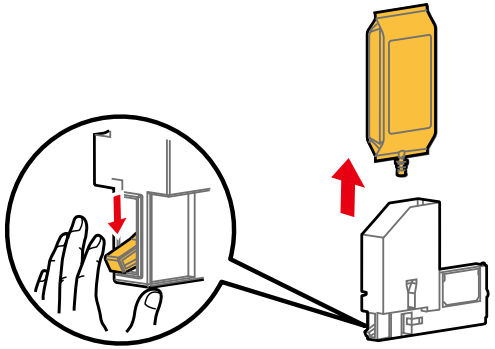
3 遮光カバーを取り外します。



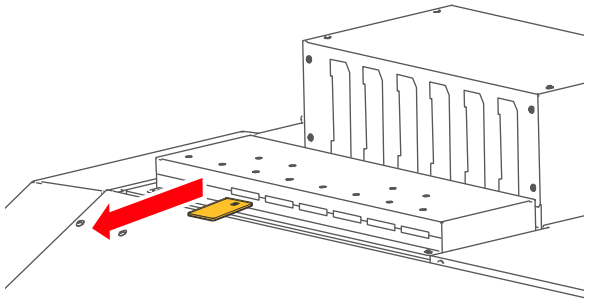
4 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、空のインクパックを取り外します。

Note

使用済みのインクパックは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



5 カードスロットからスマートチップカードを取り外します。



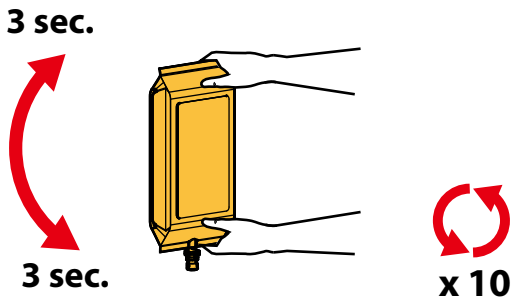
インクパックの取り付け

1 新しいインクパックを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- さし込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次にさし込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- 10 回繰り返します。

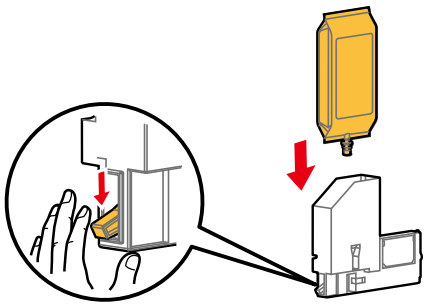
Note

バーニッシュはかくはんせずにご使用いただけます。

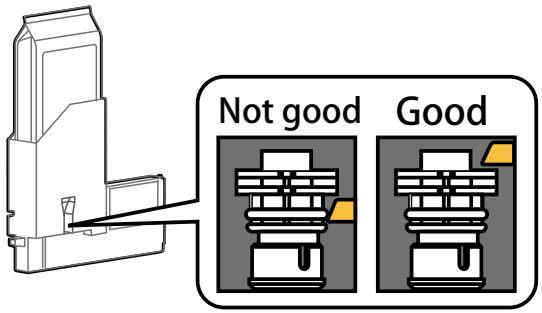


2 大容量パックアダプターのロックレバーを下げながら、インクパックを挿入します。

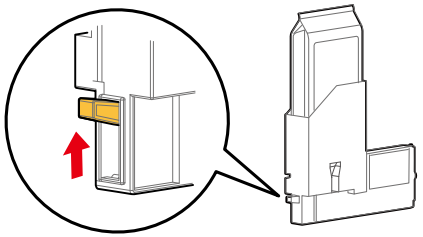
- インクパックは奥までしっかりと挿入してください。



3 インクパックが奥までさし込まれ、ロックしていることを確認します。

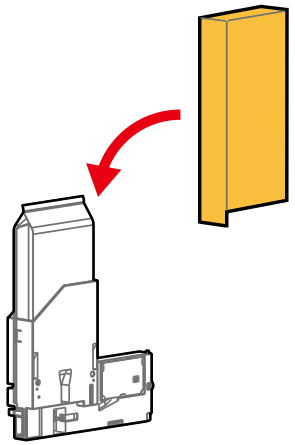


4 大容量パックアダプターのロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。



5 遮光カバーを取り付けます。

> **Note**
> 遮光カバーは大容量パックアダプターの内側に入るように取り付けてください。

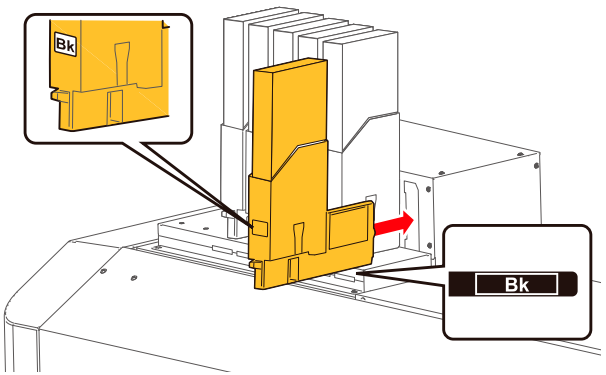


6 大容量パックアダプターをさし込みます。

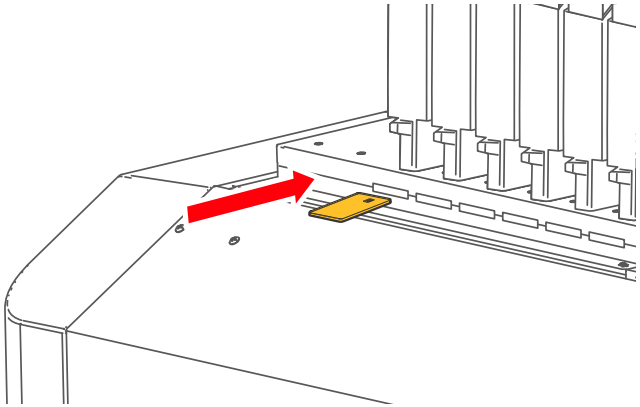
- 本製品のラベルとインクパックの色を合わせてください。
- 奥までしっかりさし込んでください。

Important!

大容量パックアダプターを戻す際は、元のインクスロットにさし込んでください。



7 スマートチップカードをカードスロットにさし込みます。



大容量パックアダプターのプラグ交換

プラグ寿命がなくなると、メッセージが表示されます。以下の手順で新しいプラグに交換してください。

1 [[1] プラグ コウカン カクニン —> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。

- [ ] 内の数字は slot 番号です。

2 [[1] プラグ コウカン] が表示されます。

3 大容量パックアダプターの取扱説明書を見ながら、プラグを交換します。

☞ 大容量パックアダプター取扱説明書 [3.3 アダプタープラグの交換]

4 交換後、大容量パックアダプターを取り付けると、[[1] プラグ カエマシタカ？ イイエ] が表示されます。

- キーをタップします。

5 [[1] プラグ カエマシタカ？ ハイ] が表示されます。

- Enter キーをタップします。
- 大容量パックアダプターの寿命がリセットされます。

Important!

・アダプタープラグを交換していない場合は、[ハイ] を選択しないでください。アダプタープラグを交換しないまま使用すると、インク漏れの原因となります。

廃液タンクを空にする

次のメッセージが表示されたら、廃液タンクの廃液を排出してください。

ディスプレイ表示

```
ハイエキヲステテ、
Enterキーヲタップシテクダサイ
```

定期的に表示されます。廃液タンクの廃液をすべて排出してください。

- 廃液の排出処理後、 Enter キーをタップすると元のディスプレイ表示に戻ります。

```
ハイエキタンク　マンタン
```

コントロールパネルのステータスバーが赤色に点灯し、ブザーが鳴ります。ただちに廃液タンクの廃液をすべて排出してください。

- プリンターの動作は停止します。廃液の排出処理後、動作を再開します。

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

警告

- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管する場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

1 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Media Set] 状態にします。

- Print LED が消灯します。

☞「Print / Media Set の選択」P.39

2 廃液を移し替える容器を用意します。

Important!

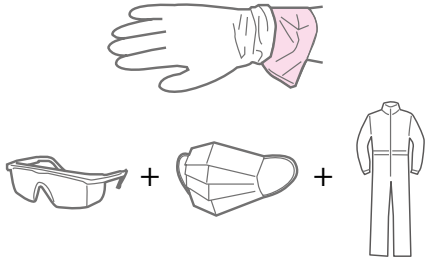
廃液タンクの容量は 2,000ml です。廃液を排出するときは、十分な容量の容器を用意してください。

Note

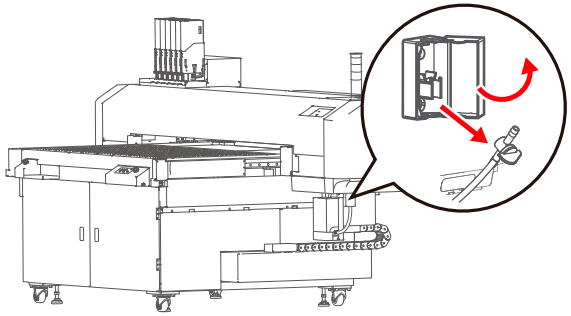
廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量のときに、廃液タンクからインクが排出できないことがあります。

3 汚れてもかまわない紙や布を廃液タンクの下にしきます。

4
- ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用してください。
- ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



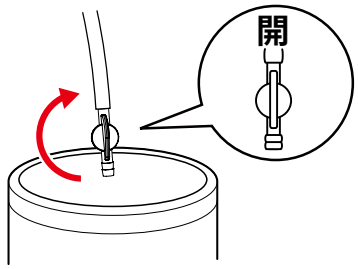
5 廃液バルブケースのカバーを開き、廃液バルブを取り外します。



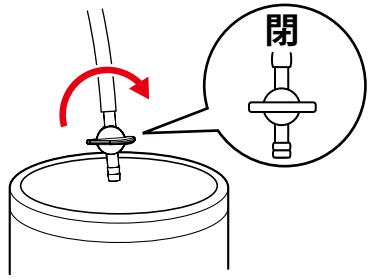
6 廃液バルブの先端を空容器に入れた後、廃液バルブを開き、空容器に廃液を移します。

Important!

廃液バルブを開き空容器に廃液を移すときに、廃液が飛び散ることがあります。廃液バルブの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

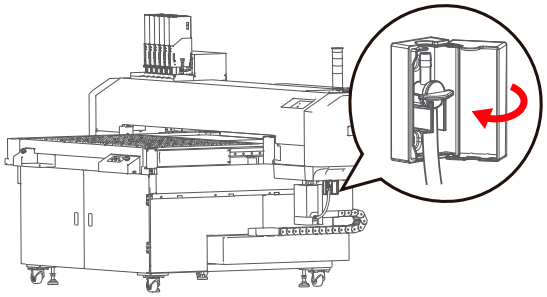


7 廃液を空容器に移し終わったら、廃液バルブを確実に閉めます。



8 廃液バルブの口を乾いた布で拭き取ります。

9 廃液バルブを廃液バルブケースに収納し、カバーを閉じます。



10 廃液は産業廃棄物として処理します。

11 ディスプレイ表示が [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] の場合

- 廃液の排出処理後、↵ Enter キーをタップします。
- 元のディスプレイ表示に戻ります。

ディスプレイ表示が [ハイエキタンク　マンタン] の場合

- 廃液の排出処理後、プリンターが動作を再開します。

12 バキュームコントロールパネルの [Print / Media Set] スイッチを押して、[Print] 状態にします。

- Print LED が点灯します。

☞「Print / Media Set の選択」P.39

警告

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
- 廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

ご使用の前に
セットアップ
各種設定
基本的な使い方
応用的な使い方
メンテナンス
困ったときは
付録
メンテナンスについて
保護具をつける
インクをかくはんする
インクの確認と交換
廃液タンクを空にする
1日の作業終了後のメンテナンス
ご使用にあわせたメンテナンス
消耗品の交換
長期間使用しない場合
輸送・移動

1日の作業終了後のメンテナンス

作業前に、必ず以下をお読みください。

「取り扱いについて」P.13
「インクと廃液について」P.15

本製品は日常のメンテナンスが必要です。

1 日の作業終了後に、以下の流れに従って、デイリーメンテナンスを行ってください。

- 前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過すると、コントロールパネルに [デイリーメンテナンス シテクダサイ] と表示されます。必ずメンテナンスを行ってください。

Important !

スリープモードにせず 1 日中印刷を行う場合も、1 日に 1 回、必ずデイリーメンテナンスを行ってください。
デイリーメンテナンスを行わない場合、画質不良や故障の原因となります。
スリープモードにしない場合のデイリーメンテナンスは、メンテナンスメニューの [デイリーメンテナンス] から行ってください。
「各部の清掃」P.209

デイリーメンテナンスの流れ

デイリーメンテナンスの準備

↓

スリープモードにする

↓

1. UV-LED ランプを清掃する

↓

2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる

↓

3. プリントヘッド周辺を清掃する

↓

4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する

↓

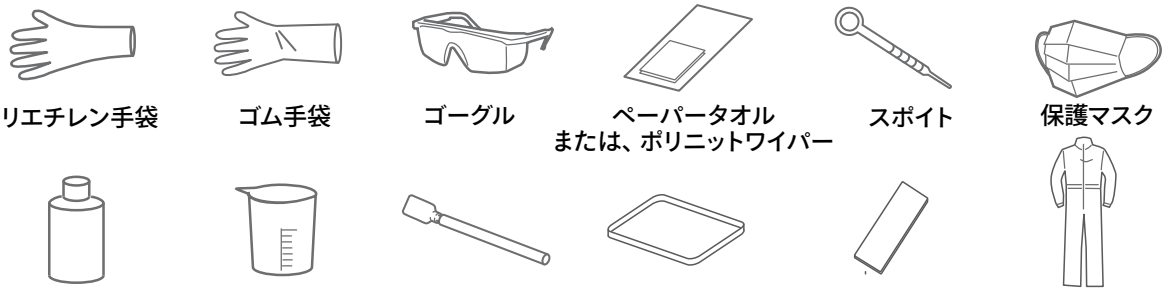
5. メンテナンスを終了する

ご使用の前に
セットアップ
各種設定
基本的な使い方
応用的な使い方
メンテナンス
困ったときは
付録
メンテナンスについて
保護具をつける
インクをかくはんする
インクの確認と交換
廃液タンクを空にする
1日の作業終了後のメンテナンス
ご使用にあわせたメンテナンス
消耗品の交換
長期間使用しない場合
輸送・移動

デイリーメンテナンスの準備

用意するもの

1 デイリーメンテナンスを行う場合は、以下のものを用意します。

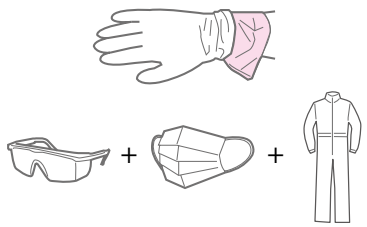


Important!

- ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。
ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。
- メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。
- 専用メンテナンス液などの別売品のご購入は、お買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」P.266

2
- ポリエチレン手袋の上に、ゴム手袋を重ねて着用します。
- ゴーグル、保護マスク、保護衣など保護具を着用します。



スリープモードにする

1 スリープモードメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールして、[メニュー 6 スリープモード] を選択します。

2 キーを 2 回タップします。

3 [スリープモード カイシ　—> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。

4 [デイリーメンテナンス カイシ—> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。

- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

5 [メディア ヲ トリノゾイテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ] が表示されたら、テーブル上のメディアと治具を取り外して、 Enter キーをタップします。

- [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。
- ガントリーとキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

Important !

プリンターが障害物を検出した場合、再び [メディアヲトリノゾイテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。メディアや治具を取り除いて、 Enter キーをタップしてください。

6 [デイリーメンテナンス シュウリョウ—> Enter] が表示されたら、メンテナンス作業を開始してください。

☞「デイリーメンテナンスを行う」P.197

Important !

デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 5 分以内です。

デイリーメンテナンスを行う

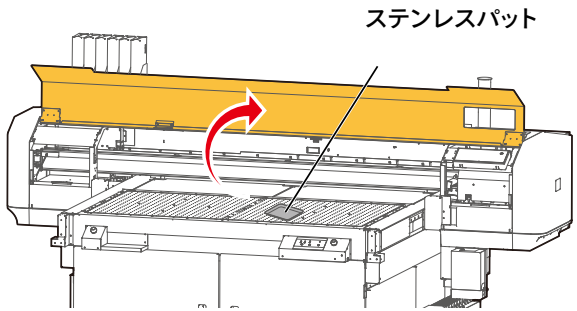
1. UV-LED ランプを清掃する

注意

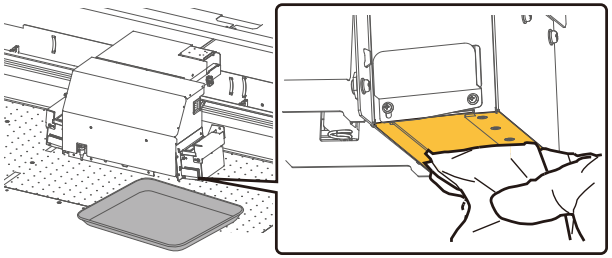
印刷直後はランプ表面が高温になっています。
印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

1 フロントカバーを開きます。

- テーブルが汚れるのを防ぐため、プリントヘッドの直下にステンレスバットを置きます。



2 UV-LED ランプの下側を見て、付着したインクやホコリをペーパータオルで拭き取ります。



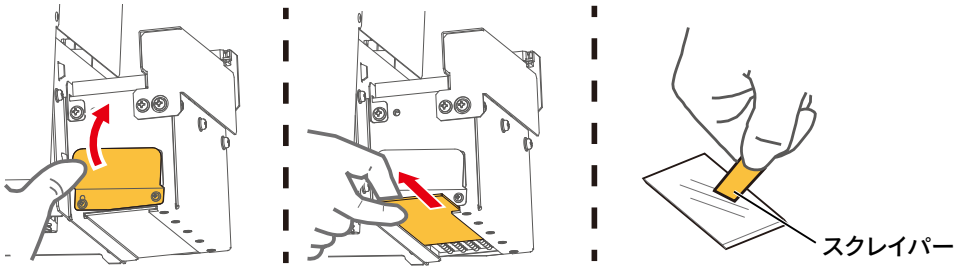
3

付着したインクが固まって拭き取れない場合は、ガラスを取り外し付属のスクレイパーを使用します。

1. 排気カバーの右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。
2. UV-LED ランプ下側のガラスを手前にスライドして取り外します。
3. ガラスのインクが固着している箇所に、スクレイパーを少し傾けて当て、インクを削ぎ落とします。
4. ペーパータオルでインクの削りかすを拭き取ります。
5. ガラスを UV-LED ランプに取り付けます。
6. ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。

Important!

- スクレイパーは専用のものを使用してください。
- スクレイパーの角を強く押しつけて清掃しないでください。ガラスが破損する原因となります。
- ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ランプの故障の原因となります。



4

続いて、プリントヘッドのノズル面を湿らせます。

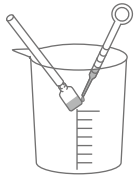
2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる

Important!

清掃時は、以下を守ってください。

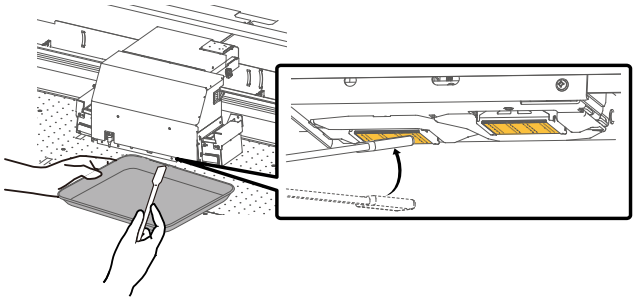
- 清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。

1 プラスチックカップの中に未使用のクリーンスティックを入れ、スポイトを使ってクリーンスティックの先端に専用メンテナンス液を浸します。(使用量目安：0.5 ml)



2 キャリッジの下側を見て、専用メンテナンス液を浸したクリーンスティックで、プリントヘッドのノズル面を湿らせます。

- クリーンスティックを軽く当てるようにしてノズル面を湿らせます。
- ノズル面全体が湿るまで、数回繰り返します。



Important!

- ノズル面を絶対に擦らないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- ノズル面全体が湿れば十分です。必要以上に繰り返さないでください。

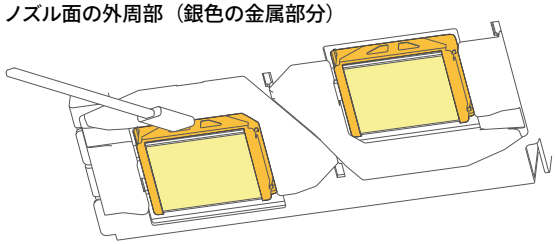
3 続いて、プリントヘッド周辺を清掃します。

3. プリントヘッド周辺を清掃する

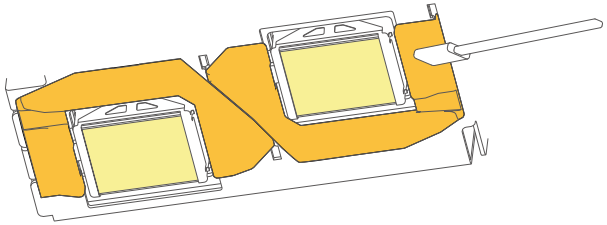
1 キャリッジの下側を見て、以下の部分に付着したインクやほこりをクリーンスティックで清掃します。

清掃箇所　ノズル面（黄色）には絶対に触れないでください。

ノズル面の外周部（銀色の金属部分）



ヘッドガイド部（黒色プラスチック部分）



Important!

メンテナンス液が飛び散ってプリンターに付着した場合は、ペーパータオルで拭き取ってください。

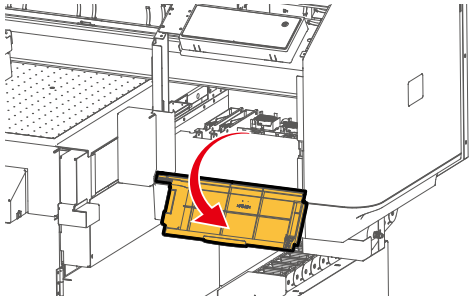
2 続いて、クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃します。

Important!

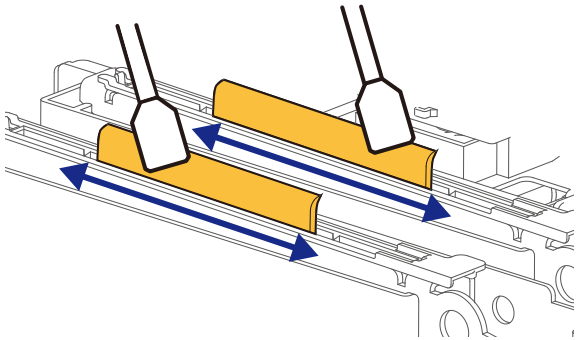
清掃中にクリーンスティックがインクやホコリで汚れた場合は、プラスチックカップの中でメンテナンス液で汚れを落としてから、次の手順に進んでください。
メンテナンス液で汚れが落ちない場合は、新しいクリーンスティックに交換して、次の手順に進んでください。

4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する

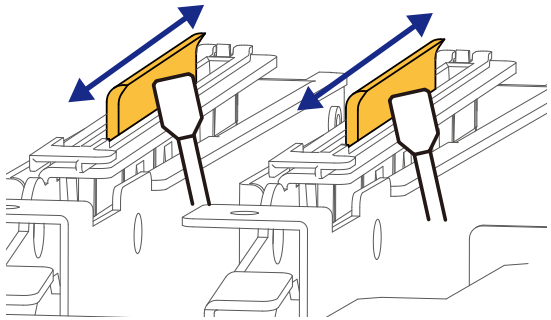
1 メンテナンスカバーをゆっくりと開きます。



2 クリーンスティックを使用して、クリーニングワイパー（黒いゴム板）の左側面の汚れを拭き取ります。

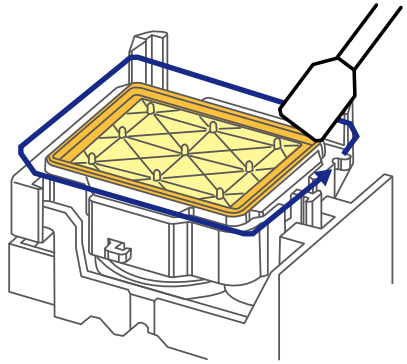


3 クリーニングワイパーの右側面の汚れを拭き取ります。

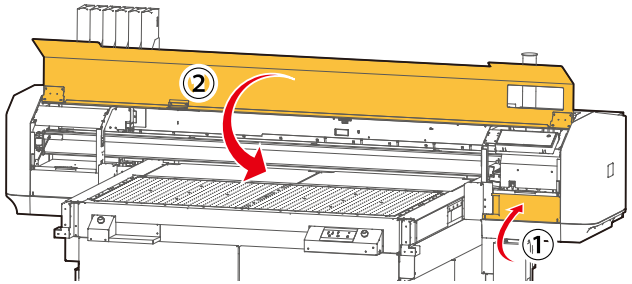


4 クリーンスティックを使用して、キャップ外周に付着したインクやホコリを拭き取ります。

清掃箇所　吸収材（黄色）には絶対に触れないでください。



5 メンテナンスカバー R とフロントカバーをゆっくりと閉じます。
続いて、デイリーメンテナンスを終了します。



5. メンテナンスを終了する

1 [デイリーメンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されていることを確認します。

- Enter キーをタップします。
- 自動で微量クリーニングを行います。
- クリーニング終了後、スリープモードに移行します。

2

- クリーンスティックを廃棄します。
- スポイトに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
- プラスチックカップ内の専用メンテナンス液を捨て、ペーパータオルでプラスチックカップをきれいに拭きます。
- ステンレスバットを、ペーパータオルで拭きます。

Important!

- クリーンスティックは再利用しないでください。ホコリなどが付着し、プリントヘッドの故障の原因となります。
- 専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。

3

デイリーメンテナンスを終了します。

Note

使用済みのクリーンスティックやプラスチックカップに残った専用メンテナンス液は産業廃棄物です。
地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ご使用にあわせたメンテナンス

ヘッドクリーニング

ノズルチェックをしてノズルの目詰まりがあったときはヘッドクリーニングを行ってください。
ヘッドクリーニングはインクを消費します。
本製品にはいくつかのクリーニングモードがあります。ご使用状況によって使いわけてください。

微量クリーニング	通常クリーニングより少量のインクを消費します。
通常クリーニング	ノズルチェックを行ったときに、数箇所にノズルの目詰まりがある場合に使用します。
強力クリーニング	通常クリーニングより多くのインクを消費します。通常クリーニングでノズルの目詰まりが直らない場合は強力クリーニングを行ってください。
微量充てん	強力クリーニングよりもかなり高いクリーニング効果がありますが、非常に多くのインクを消費します。 ダイレクトキー ❯ からは選択できません。メンテナンスメニューのクリーニングから選択します。 ☞「メンテナンスメニュー」P.126 のクリーニング
初期充てん	微量充てんよりかなり高いクリーニング効果がありますが、微量充てんよりかなり多くのインクを消費します。 ダイレクトキー ❯ からは選択できません。メンテナンスメニューのクリーニングから選択します。 ☞「メンテナンスメニュー」P.126 のクリーニング メンテナンスメニューからクリーニングを行うときに、ヘッド選択で「ヘッド1」、「ヘッド2」を選択した場合、「初期充てん」は表示されません。

Important!

微量充てん、初期充てんを行うときは、以下のことを遵守してください。
充てん動作が中断するため、再充てんによるインクの損失が発生します。
- フロントカバー、メンテナンスカバーを開けないこと。
- 新しいインクパックを使用すること。

ヘッドクリーニングの手順

1 [インサツデキマス Type1] が表示されていることを確認します。

2 ❯ キーをタップします。

☞「ダイレクトキーの説明」P.34

3 実行するクリーニングモードを、⌃ / ⌄ キーで選択します。

- ↵ Enter キーをタップします。
- クリーニングを開始します。

4 ノズルチェックを行います。

- ノズルの目詰まりが直っていない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返してください。

☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78

Note

- 通常クリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが直らない場合は、強力クリーニングを行ってください。
- 強力クリーニングを数回繰り返してもノズルの目詰まりが直らない場合は、☞「各部の清掃」P.209 を行ってください。
- どうしてもノズルの目詰まりが直らない場合は、各種設定>メンテナンスメニューの ☞「ヘッドクリーニング」P.204 から [微量充てん] を行ってください。

漬け置きクリーニング

実施時期

- 一週間に一度（推奨）
- ヘッドクリーニングでノズル詰まりや飛行曲がりが解消しないとき

必要なもの：

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、ゴーグル、マスク
- スポイト、プラスチックカップ
- 専用メンテナンス液

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

2 メンテナンス液をプラスチックカップに適量そそぎます。

3 漬け置きクリーニングメニューにアクセスします。

- [Home] キーをタップすると、[メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーをタップし、[メニュー 3　メンテナンス] を選択します。
- キーをタップすると、[メンテナンス 1：　クリーニング] が表示されます。
- / キーをタップし、[メンテナンス 6：　ツケオキクリーニング] を選択します。

4 キーをタップします。

- [ツケオキクリーニング　カイシ　—> Enter] が表示されます。

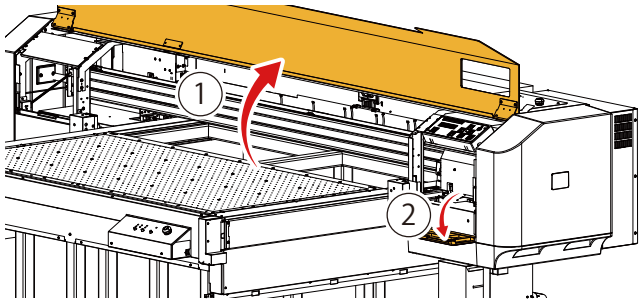
5 [Enter] キーをタップします。

- キャリッジがメンテナンス位置（プリンター左側）へ移動します。

6 [センジョウエキ ヲ ミタス シュウリョウ -> Enter] が表示されたら、メンテナンスを開始します。

以下の順番で、カバーをゆっくりと開きます。

- ①フロントカバー
- ②メンテナンスカバー R

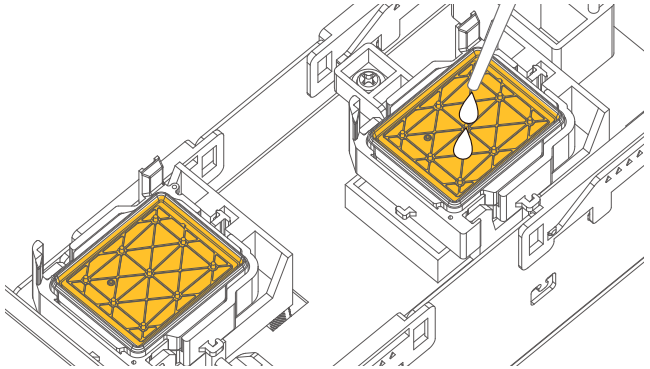


Note

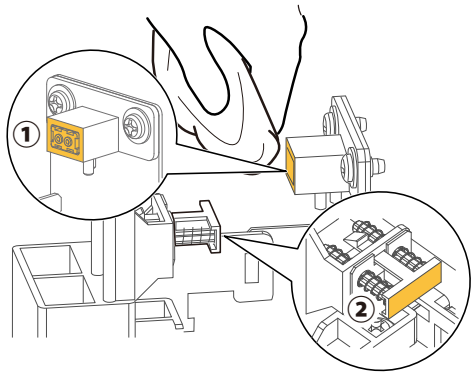
カバーを開いたままの状態で 10 分経過すると、[カバーヲトジテクダサイ] が表示されます。その場合は、すべてのカバーを閉じてやり直してください。

7 キャップいっぱいにメンテナンス液を満たします。

- スポイトでメンテナンス液をとり、キャップからあふれる寸前まで注入してください。



8 ペーパータオルを使って、エアバルブの表面（①と②の部分）に付着したインクを拭き取ります。



9 メンテナンスカバー R、フロントカバーを順番にゆっくり閉じて、[Enter] キーをタップします。

- キャリッジが元の位置へ戻り、キャップインします。

10 [ツケオキジカン (1-99)　10 フン] が表示されたら、/ キーをタップして漬け置き時間を指定し、[Enter] キーをタップします。

- 漬け置き時間のカウントダウンが始まります。
- 漬け置き時間は 10 分を推奨します。

11 漬け置き時間経過後、自動でクリーニングを開始します。

12 漬け置きクリーニングを終了します。

- スポイトに付着したメンテナンス液をペーパータオルで拭き取ります。
- プラスチックカップ内のメンテナンス液を廃棄して、ペーパータオルで拭き取ります。

Important!

- メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。
- 使用済みのペーパータオルやプラスチックカップに残った専用メンテナンス液は産業廃棄物です。地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

各部の清掃

以下の場合に、各部の清掃を行ってください。

- ヘッドクリーニングを行っても印刷のかすれ・欠けがなくならないとき
- スリープモードにせず、1 日中印刷を行う場合にデイリーメンテナンスを行うとき

準備：☞「デイリーメンテナンスの準備」P.195 を参照して、準備をしてください。

Important!

以下の手順は、メンテナンス後も印刷を行うときの手順です。
1 日の作業終了後にデイリーメンテナンスを行うときは、スリープモードにしてからメンテナンスを行ってください。
☞「1日の作業終了後のメンテナンス」P.193

各部の清掃の流れ

1. デイリーメンテナンス状態にする

1 メディアと治具が取り外されていることを確認します。

2 デイリーメンテナンスメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- ▼キーでメニューをスクロールし、[メニュー 3 メンテナンス] を選択します。
- ▶キーをタップ ➡ [メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- ▲ / ▼キーでメニューをスクロールし、[メンテナンス 7　デイリーメンテナンス] を選択します。

3 ▶キーをタップし、[デイリーメンテナンス カイシ —> Enter] が表示されたら、↵ Enter キーをタップします。

4 [メディアヲトリノゾイテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。

- メディアと治具を取り除き、 ↵ Enter キーをタップします。

5 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- ガントリーとキャリッジがメンテナンス位置に移動します。

Important!

プリンターが障害物を検出した場合、再び [メディアヲトリノゾイテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。
メディアや治具を取り除いて、 ↵ Enter キーをタップしてください。

6 [デイリーメンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されます。

- 各部の清掃を行います。

☞「2. 各部を清掃する」P.210

2. 各部を清掃する

清掃箇所と手順は、「デイリーメンテナンス」と同一です。

「1. デイリーメンテナンスを行う」P.236 を参照して、各部の清掃を行ってください。
☞「1. UV-LED ランプを清掃する」P.197
☞「2. プリントヘッドのノズル面を湿らせる」P.199
☞「3. プリントヘッド周辺を清掃する」P.200
☞「4. クリーニングワイパーとキャップ外周を清掃する」P.201

Important!

デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は 5 分以内です。

イオナイザー（オプション品）のメンテナンス

警告

- イオナイザーのメンテナンスや電極針の交換のときは、必ず本体の電源をオフにした状態で作業してください。本体の電源をオンにした状態で作業すると、感電や事故の原因になります。
- 電極針に工具や針金などの金属物、指などを近づけないでください。感電や故障の原因になります。
- 電極針には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

注意

- 電極針を工具などの硬いもので触らないようにしてください。電極針を破損すると、除電能力を十分に発揮できなくなり、事故や故障の原因になります。
- 長時間使用すると、電極針に塵埃が付着します。アラーム表示灯が点滅した場合は、電極針を掃除してください。塵埃が付着したまま使用すると、除電能力を十分発揮できなくなり、事故や故障の原因になりますので、定期的な掃除（1か月程度を目安）をおすすめします。
- ご使用の環境、メディアによっては十分な除電効果が得られない可能性があります。

電極針の清掃

イオナイザーの電極針の清掃方法を説明します。

清掃時期の目安：

- 電極針が汚れているとき、または1か月に一度

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ
- 綿棒またはクリーニングキット

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

2 メディアを取り除きます。

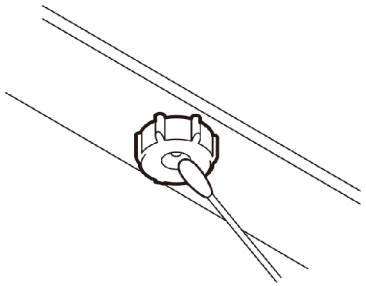
3 ⏏キーをタップし、ガントリーを正面側へ移動させて、本体の電源をオフにします。

☞「電源をオフにする」P.54

4 フロントカバーを開き、イオナイザーの電極針を清掃します。清掃方法は「綿棒」と「クリーニングキット」の2種類あります。

【綿棒を使用する場合】

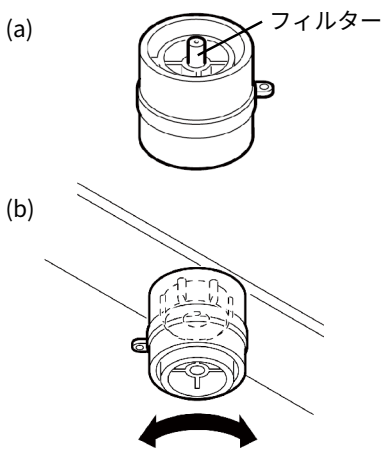
- アルコールをしみ込ませた綿棒で電極針とその周辺をふき取ります。



【クリーニングキットを使用する場合】

- (a) クリーニングキットのフィルターにアルコールをしみ込ませます。
- (b) 電極針にかぶせて軽く2～3回まわし、フィルターで汚れをふき取ります。
- 汚れがひどい場合、フィルターを交換して再度清掃します。

☞「フィルターの取り付け方法」P.213



5 清掃が終わったら、フロントカバーを閉じ、本体の電源をオンにします。

☞「電源をオンにする」P.53

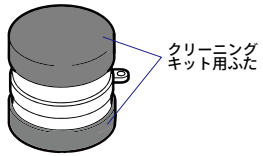
Important!

清掃してもイオンレベル警報 (☞「警報出力機能」P.216) が出る場合は、電極針を交換してください。

☞「電極針の交換」P.214

Note

- クリーニングキットには保管時にほこりが入らないようにふたがついています。保管するときは必ずふたをかぶせて保管してください。
- ストラップ用の穴に紐を通して壁にかけておくことができます。この場合も必ずふたをかぶせてください。なお、ストラップは別途ご用意ください。

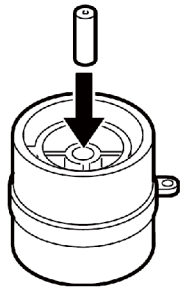


フィルターの取り付け方法

電極針を複数回クリーニングすると、フィルターに塵埃が付着し、クリーニング性能が落ちてきます。

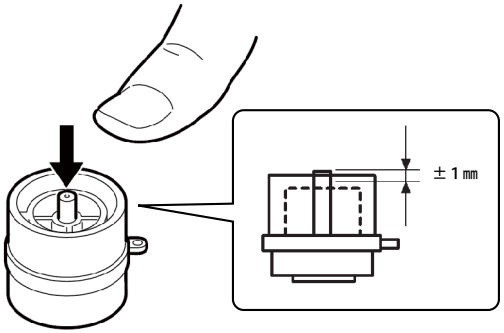
フィルターに汚れが付着している場合は、クリーニングキット用替フィルターと交換してご使用ください。

1 **汚れたフィルターを取り外し、新しいフィルターをクリーニングキットの中央の穴に差し込みます。**



2 **フィルターを奥まで押し込みます。**

- フィルターが曲がらないよう、最後まで押し込んでください（端面に対して± 1㎜）。



電極針の交換

清掃時期の目安：

- 清掃してもイオンレベル警報が出る場合、電極針が摩耗している場合

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ
- 専用の電極針交換キット
- 交換用電極針

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

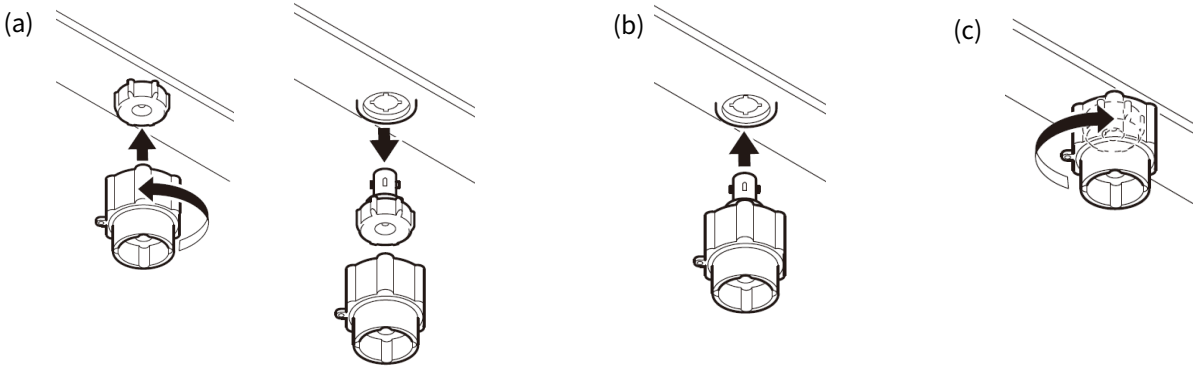
2 メディアを取り除きます。

3 ⏶キーをタップし、ガントリーを正面側へ移動させて、本体の電源をオフにします。

☞「電源をオフにする」P.54

4 電極針を交換します。

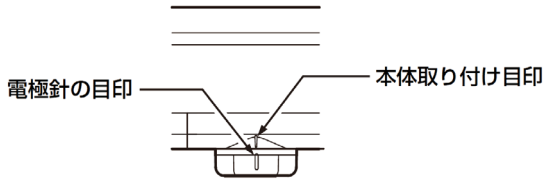
- (a) 専用の電極針交換キットを電極針にかぶせ、本体方向に押しながら反時計回りにまわして電極針を外します。
- (b) 新しい電極針にかぶせた電極針交換キットを持ち、溝にあわせてさし込みます。
- (c) 本体方向に押しながら時計回りにまわして取り付けます。



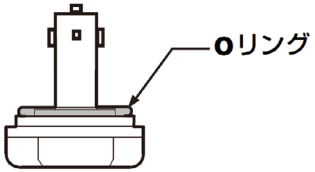
Important !

電極針を取り付ける際、以下に注意してください。

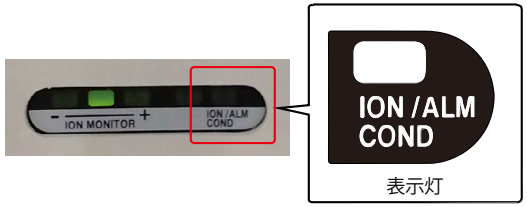
- 本体の取り付け目印と電極針の目印を必ずあわせてください。



- Oリングが所定の位置にあることを、必ず確認してください。



警報出力機能



イオナイザーには警報出力機能があります。メンテナンス等の対処が必要な場合は、「ION/ALM/COND」表示灯が点滅します。
警報種類は下記のとおりです。

イオナイザーの警報種類

警報種類	表示灯	原因等	対応方法
アラーム（ALM）	1 秒おきに 3 回点滅	• 異常放電 • 内部回路破損	お買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。
イオンレベル（ION）	1 秒おきに 2 回点滅	電極針の汚れ、摩耗（メンテナンス時期の目安となります）	電源をオフにして、電極針を清掃してください。改善しない場合は電極針を交換してください。 ☞「電極針の清掃」P.211 ☞「電極針の交換」P.214
コンディション（COND）	1 秒おきに 1 回点滅	設置環境（温度、湿度、周囲金属等）により、除電能力に影響がある	環境や周囲に金属等の導電体が無いか確認ください。

確認手順

1 イオナイザーメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- ∨ キーでメニューをスクロールし、[メニュー 3 メンテナンス] を選択します。
- > キーをタップ ➡ [メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- ∧ / ∨ キーでメニューをスクロールし、[メンテナンス 8　イオナイザー] を選択します。

2 ❯ キーをタップすると、[イオナイザー　カイシ -> Enter] が表示されます。

- ↵ Enter キーをタップします。

3 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- イオナイザーが除電を開始します。
- イオナイザー作動中は、警告ブザーが鳴動します。

4 [イオナイザー　シュウリョウ -> Enter] が表示されたら、フロントカバーを開き、イオナイザーの「ION/ALM/COND」表示灯を確認します。

- 表示灯が「点滅」している場合、イオナイザーのメンテナンス等が必要です。

☞「イオナイザーの警報種類」P.216

- 表示灯が「消灯」している場合、イオナイザーは正常に動作しています。

5 確認が終わったら、フロントカバーを閉じ、↵ Enter キーをタップします。

6 [シバラクオマチクダサイ] が表示されます。

- イオナイザーが除電を終了します。
- 警告ブザーが止まります。

7 手順④で表示灯が「点滅」していた場合、警報種類に合わせて対応します。

☞「イオナイザーの警報種類」P.216

警告

イオナイザーのメンテナンスや電極針の交換のときは、必ず本体の電源をオフにした状態で作業してください。本体の電源をオンにした状態で作業すると、感電や事故の原因になります。

消耗品の交換

安定した印刷を行うために、次の部品は定期的に交換してください。

交換部品	交換の目安
フラッシングボックス用吸収材	フラッシングボックス用吸収材上に堆積したインクのかたまりが、フラッシングボックス枠より盛り上がった場合 （使用頻度によりますので定期的に確認してください）。
クリーニングワイパー	約6か月
UV－LED ランプのガラス	ガラスに欠け、割れがある場合。または汚れが落ちない場合
UV－LED ランプのフィルター	約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合 （使用頻度によりますので定期的に確認してください）
排気ファンフィルター	フィルターのインク汚れが、フィルターカバーのかげになっている部分にも広がっている場合（使用頻度によりますので定期的に確認してください）
イオナイザー（オプション品）の電極針	清掃してもイオンレベル警報が出る場合。または電極針が摩耗している場合

消耗品の交換の流れ

1.CR メンテンナンス状態にする

1 CR メンテナンスメニューにアクセスします。

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[メニュー 3 メンテナンス] を選択します。
- キーをタップ ➡ [メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[メンテナンス 2　CR メンテナンス] を選択します。

2 キーをタップし、[CR メンテナンス カイシ —> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。

- キャリッジが本製品の左側へ移動します。
- [CR メンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されます。

3 交換作業をはじめます。

2. 消耗品を交換する

それぞれの手順に沿って、各部品の交換を行ってください。

☞「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.220
☞「クリーニングワイパーの交換」P.224
☞「UV-LED ランプのガラスの交換」P.227
☞「UV-LED ランプのフィルターの交換」P.230
☞「排気ファンフィルターの交換、清掃」P.232 *

*（「排気ファンフィルターの交換、清掃」は、CR メンテナンス状態にする必要はありません。）
（イオナイザーの電極針の交換については、「電極針の交換」P.214 をご参照ください。）

フラッシングボックス用吸収材の交換

フラッシングボックスは、プリントヘッドが排出するインクを受ける部品です。フラッシングボックス用吸収材は定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、プリントヘッドが故障する原因になります。

交換時期の目安：

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていることを確認したとき（約 2 か月）
  * 使用頻度によりますので定期的に確認してください。

必要なもの：

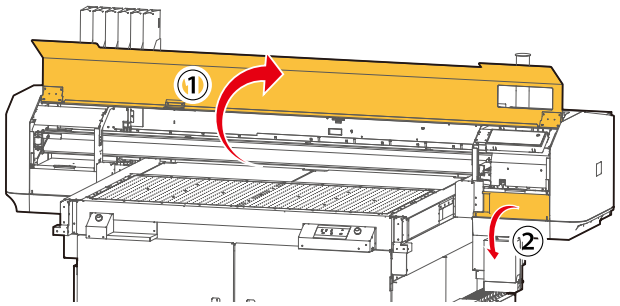
- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ、マスクなどの保護具
- フラッシングボックス用吸収材
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

作業前に、必ず以下をお読みください。

「取り扱いについて」P.13
「インクと廃液について」P.15

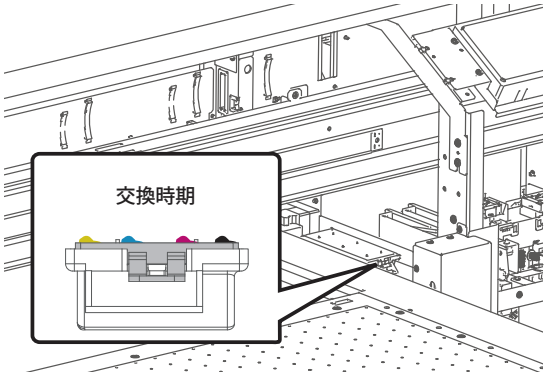
1. 確認手順

1 フロントカバーとメンテナンスカバー R を開きます。

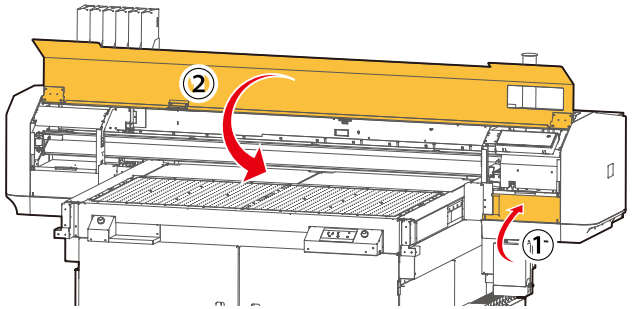


2 フラッシングボックス用吸収材を確認します。

- インクのかたまりがフラッシングボックスの枠より盛り上がっていたら、交換時期です。



3 メンテナンスカバー R とフロントカバーを閉じます。



2. 交換手順

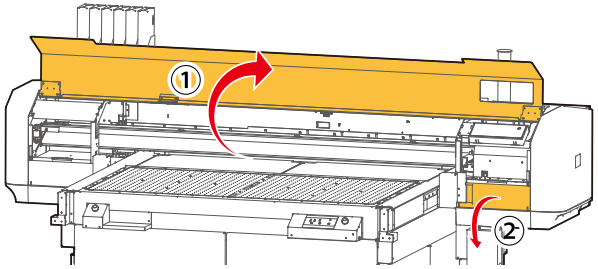
1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

2 本製品を CR メンテナンス状態にします。

☞「1.CR メンテンナンス状態にする」P.219

3 フロントカバーとメンテナンスカバー R を開きます。

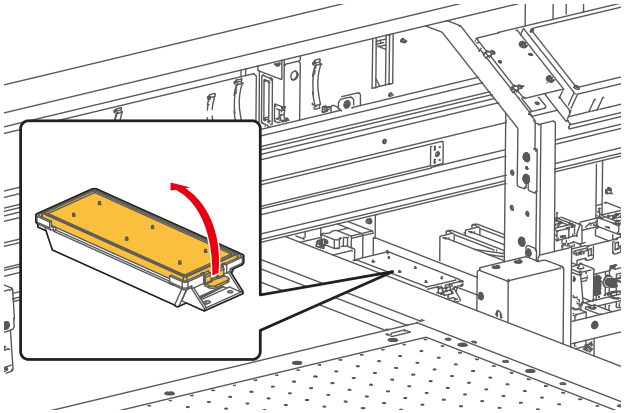


4 フラッシングボックス用吸収材を取り外します。

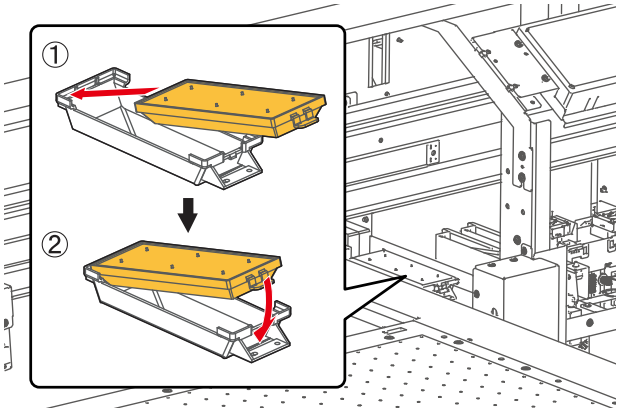
- フラッシングボックス用吸収材のツメを持ち上げて、フックを解除してください。

Important!

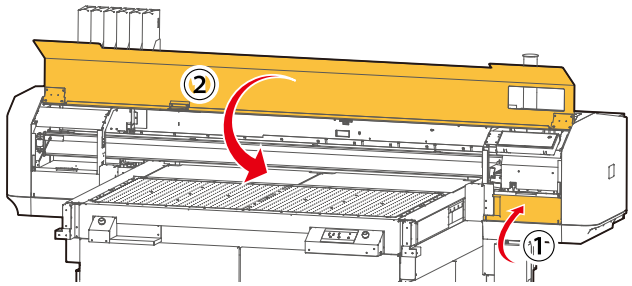
- フラッシングボックス用吸収材を取り外すときに、インクがたれ落ちないよう注意してください。
- 使用済みのフラッシングボックス用吸収材は、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



5 新しいフラッシングボックス用吸収材を取り付けます。



6 メンテナンスカバー R とフロントカバーを閉じます。



7 [CR メンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されていることを確認し、↵ Enter キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ —> Enter] が表示されます。
- 手順を終了します。

クリーニングワイパーの交換

クリーニングワイパーは、製品が安定した印刷を行うために必要な部品です。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- 約 12 か月

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ、マスクなどの保護具
- 交換用クリーニングワイパー
- 汚れてもかまわない紙（インクが裏抜けしないもの）

作業前に、必ず以下をお読みください。

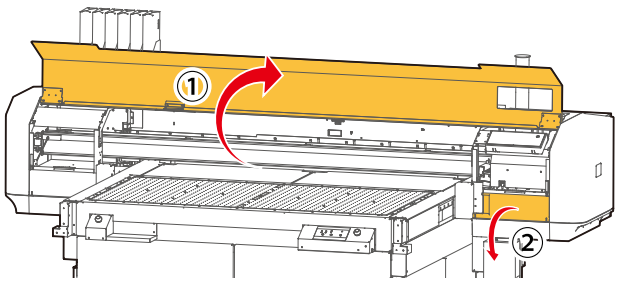
☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

交換手順

1. 保護具を着用します。
   ☞「保護具をつける」P.171

2. 本製品を CR メンテナンス状態にします。
   ☞「1.CR メンテンナンス状態にする」P.219

3. フロントカバーとメンテナンスカバー R を開きます。

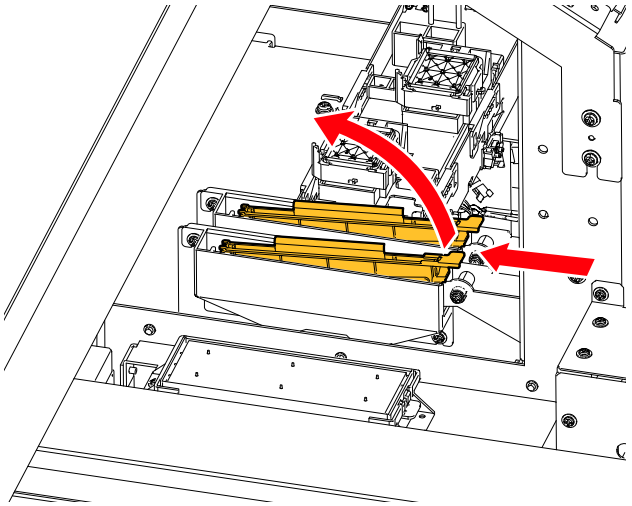


4 クリーニングワイパーを取り外します。

- クリーニングワイパーのツメ部を奥に押して、手前のフックを解除します。
- クリーニングワイパーのツメ部を持上げて、クリーニングワイパーを取り外します。

Important!

- 作業時は手袋を着用してください。
- クリーニングワイパーを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください
- 使用済みのクリーニングワイパーは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

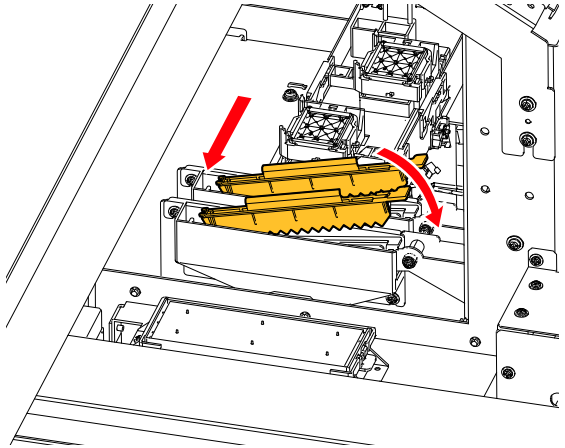


5 以下の手順に従って、新しいクリーニングワイパーを取り付けます。

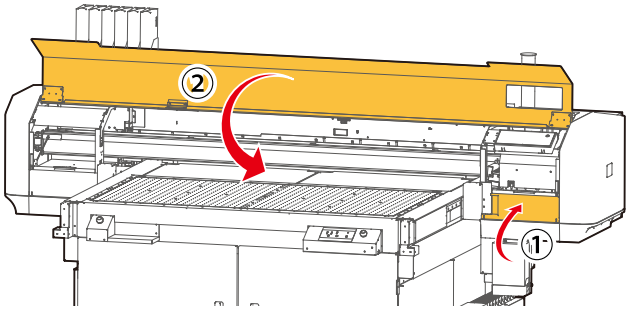
- クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
- クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。



6 メンテナンスカバー R とフロントカバーを閉じます。



7 [CR メンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されていることを確認し、↵ Enter キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ —> Enter] が表示されます。
- 手順を終了します。

UV-LED ランプのガラスの交換

UV-LED ランプのガラスは、UV-LED ランプを保護するための部品です。破損していたり、汚れが落ちないまま使用を続けると UV-LED ランプの故障やインクの硬化不良の原因となります。必要に応じて交換してください。

交換時期の目安：

- ガラスに欠け、割れがある場合。または汚れが落ちない場合。

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ、マスクなどの保護具
- 交換用ガラス

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

注意

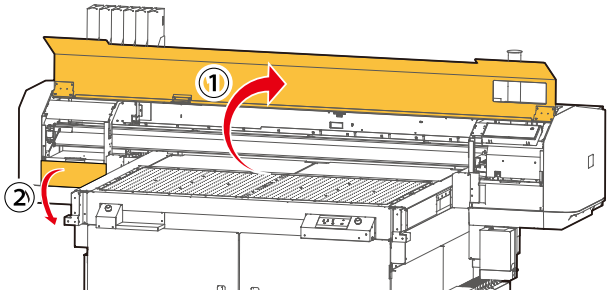
印刷直後はランプ表面が高温になっています。
印刷終了後 10 分経過してから作業を行ってください。

交換手順

1. 保護具を着用します。
☞「保護具をつける」P.171

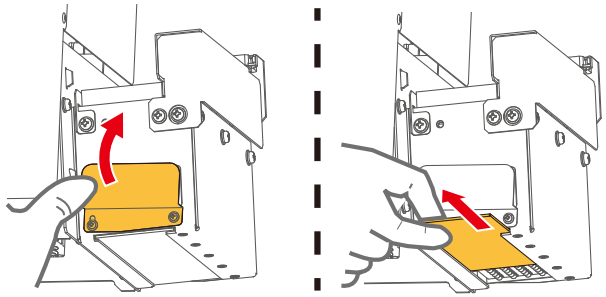
2. 本製品を CR メンテナンス状態にします。
☞「1.CR メンテンナンス状態にする」P.219

3 フロントカバーとメンテナンスカバー L を開きます。



4 ガラスを確認し、欠けや割れなどがあれば交換します。

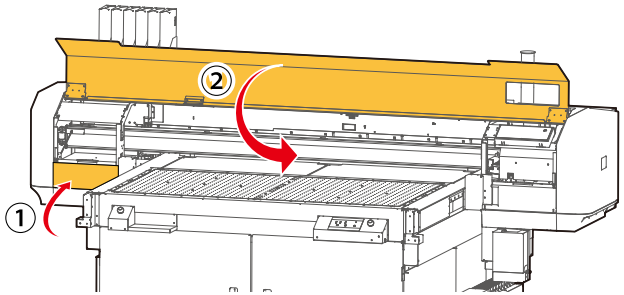
- 排気カバーの右側のネジを支点にして、排気カバーを上にスライドします。
- UV-LED ランプ下側のガラスを手前にスライドして取り外します。
- ガラスに欠け、割れ、落ちない汚れがあるか確認します。
- 新しいガラスを UV-LED ランプに取り付けます。ガラスをしっかりと奥まで挿入し、排気カバーを元のように下げます。



Important!

ガラスの取り付け忘れや排気カバーの戻し忘れがないように注意してください。UV-LED ランプの故障の原因となります。

5 メンテナンスカバー L とフロントカバーを閉じます。



6 [CR メンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されていることを確認し、↵ Enter キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ —> Enter] が表示されます。
- 手順を終了します。

UV-LED ランプのフィルターの交換

UV-LED ランプのフィルターは、インクミストから UV-LED ランプを保護するための部品です。汚れが蓄積したまま使用を続けると UV-LED ランプの故障の原因となります。定期的に交換してください。

交換時期の目安：

- 約 1 か月またはいちじるしくインクやホコリによる汚れがある場合（使用頻度によりますので定期的に確認してください）

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ、マスクなどの保護具
- 交換用フィルター

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

交換手順

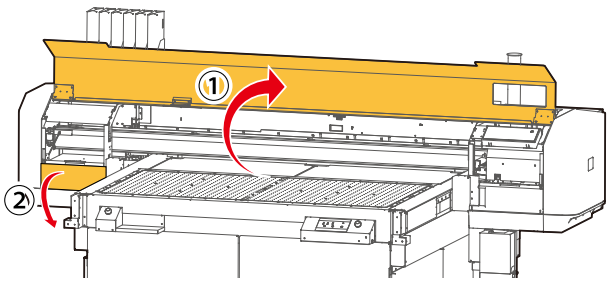
1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

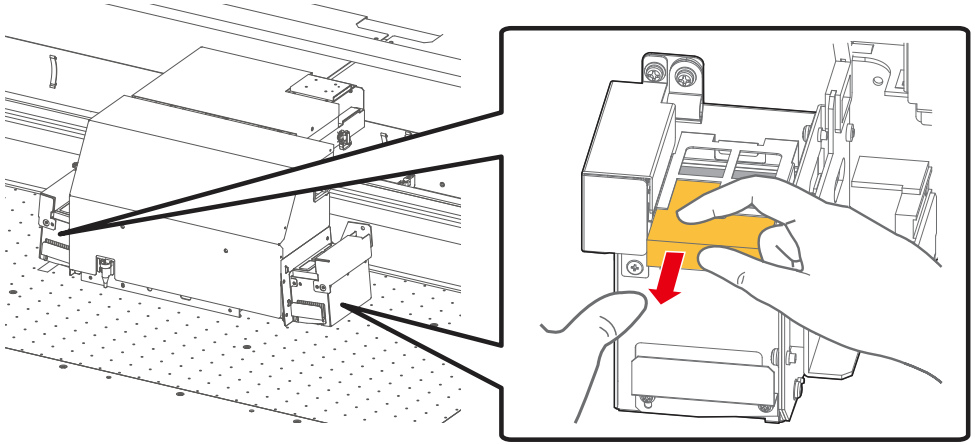
2 本製品を CR メンテナンス状態にします。

☞「1.CR メンテンナンス状態にする」P.219

3 フロントカバーとメンテナンスカバー L を開きます。



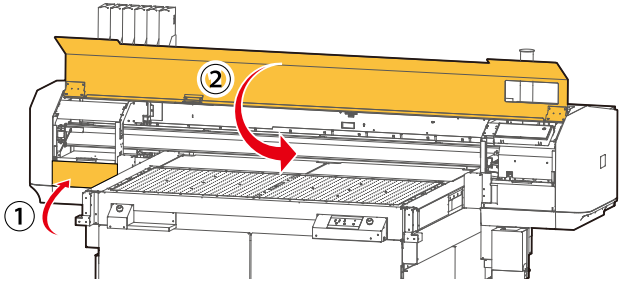
4 UV-LED ユニットに手を添えながら、フィルターを取り出します。



5 新しいフィルターに交換します。

- フィルターはしっかりと奥まで挿入します。

6 メンテナンスカバー L とフロントカバーを閉じます。



7 [CR メンテナンス シュウリョウ —> Enter] が表示されていることを確認し、↵ Enter キーをタップします。

- [CR メンテナンス カイシ —> Enter] が表示されます。
- 手順を終了します。

排気ファンフィルターの交換、清掃

排気ファンフィルターは、製品内部で発生するインクミストを受ける部品です。フィルターは定期的に交換してください。交換せずに使用しつづけると、製品本体や印刷品質に悪影響がでる場合があります。

交換、清掃時期の目安：

- フィルターのインク汚れが、カバーのかげになっている部分にも広がっているとき（使用頻度によりますので定期的に確認してください）。

必要なもの

- ポリエチレン手袋、ゴム手袋、保護メガネ、マスクなどの保護具
- 交換用フィルター
- ペーパータオルまたは柔らかい布
- エタノール（市販品：ただし濃度 50% 以上のもの）

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

手順

1 保護具を着用します。

☞「保護具をつける」P.171

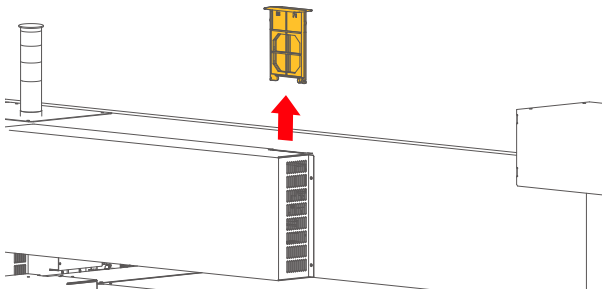
2 メディアを取り外した状態で、⌃ キーをタップします。

- ガントリーが正面側に移動します。
- [インサツデキマス　H:XXX.Xmm Type1] が表示されます。

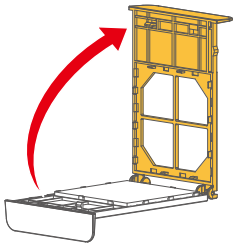
3 排気ファンから排気ファンフィルターを取り外します。

Important!

排気ファンフィルターを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。

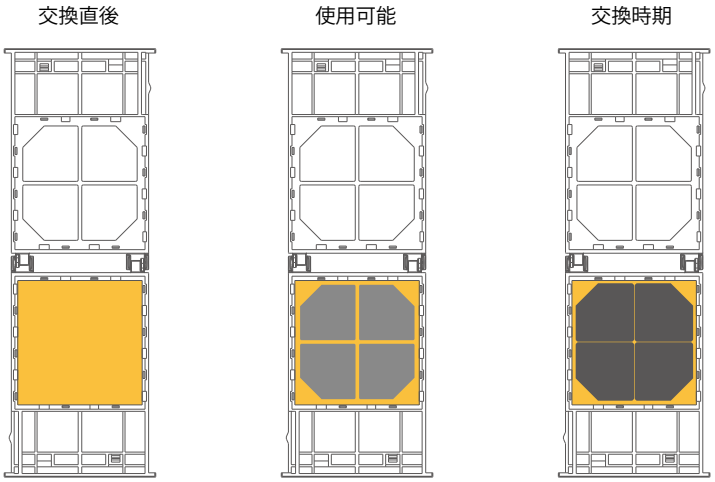


4 排気ファンフィルターのカバーを開きます。



5 フィルターのインク汚れを確認します。

- カバーのかげになっている部分にインク汚れが広がっていたら、交換時期です。



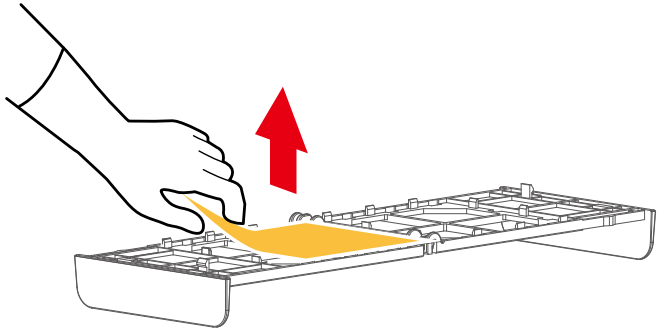
インク汚れにより十字が細く見えるようになってきた場合、交換時期です。

6 交換時期の場合はフィルターを交換します。

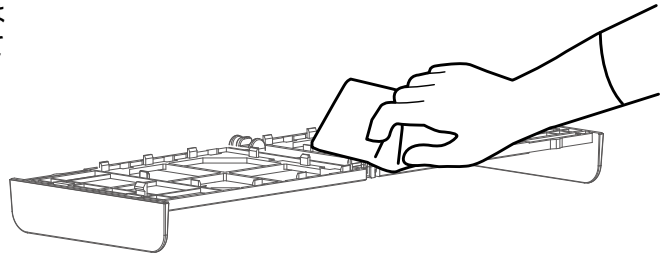
- 汚れたフィルターを取り外します。

Important!

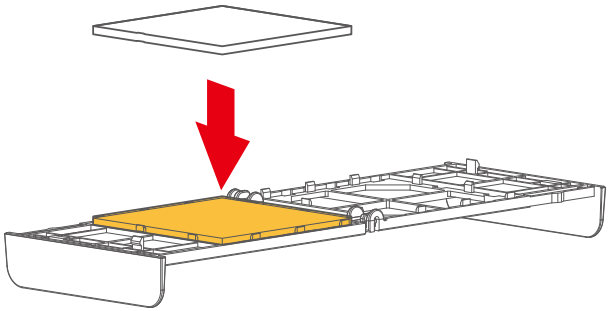
- 作業時はポリエチレン手袋の上にゴム手袋を重ねて着用してください。ポリエチレン手袋は交換用フィルターに同梱されています。
- フィルターを取り外すときに、インクが垂れ落ちないよう注意してください。
- 使用済みのフィルターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



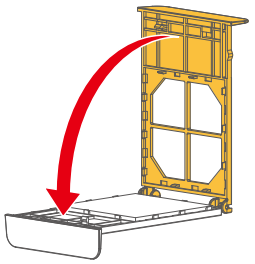
7 エタノールを少量染み込ませたペーパータオルまたは柔らかい布で、排気ファンフィルターカバーに付着している汚れを取ります。



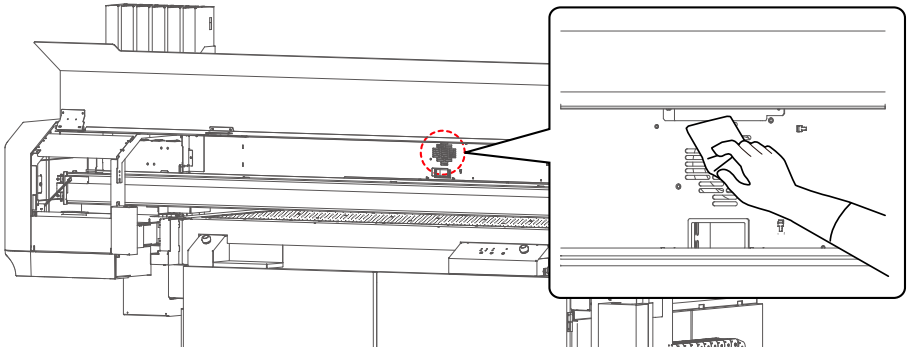
8 新しいフィルターを排気ファンフィルターカバーに取り付けます。



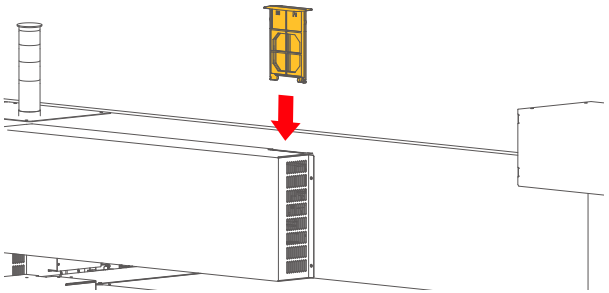
9 排気ファンフィルターのカバーを閉じます。



10 フィルターを交換した場合は、フロントカバーを開き、排気ファンの内側を清掃します。



11 フロントカバーを閉じ、排気ファンに排気ファンフィルターを取り付けます。



12 ✉ キーをタップします。

- ガントリーがホームポジションに戻ります。
- [メディアヲセットシテ、[∧] キーヲタップシテクダサイ] が表示されます。

長期間使用しない場合

長期間（最長 1 か月）使用しない場合は、以下の手順に従って、電源をオフにしてください。

作業前に、必ず以下をお読みください。

☞「取り扱いについて」P.13
☞「インクと廃液について」P.15

1. デイリーメンテナンスを行う

1. デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。
☞「デイリーメンテナンスの準備」P.195

2. デイリーメンテナンス状態にします。
☞「1. デイリーメンテナンス状態にする」P.209

3. 各部を清掃します。
☞「2. 各部を清掃する」P.210

4. 清掃後、フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じ、↵ Enter キーをタップします。
☞「5. メンテナンスを終了する」P.202

2. インクを排出する

1 **インク排出メニューにアクセスします。**

- Home キーをタップ ➡ [メニュー 1　セッテイ] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[メニュー 3 メンテナンス] を選択します。
- キーをタップ ➡ [メンテナンス 1　クリーニング] が表示されます。
- キーでメニューをスクロールし、[メンテナンス 4　インクハイシュツ] を選択します。

2 **キーをタップし、[インクハイシュツカイシ ー> Enter] が表示されたら、 Enter キーをタップします。**

3 **[ハイエキ ヲ ステテ、Enter キーヲ タップシテクダサイ] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えます。**

- Enter キーをタップします。

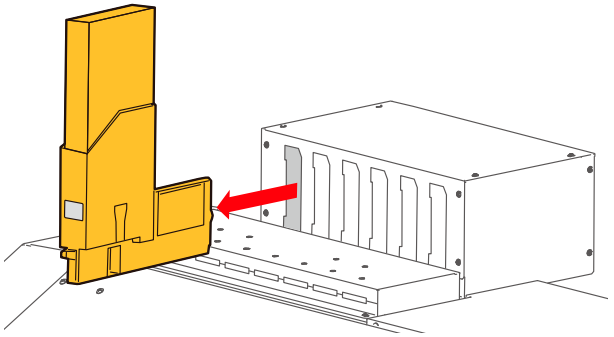
☞「廃液タンクを空にする」P.189 の廃液を容器に移す

4 **[カートリッジヲヌイテクダサイ] が表示されたら、すべての大容量パックアダプターをインクスロットから取り外します。**

- [インクハイシュツチュウ ＊＊%] が表示され、インクの排出を開始します。
- [カートリッジ゛　ナシ ×××××××] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えてください。

☞「廃液タンクを空にする」P.189 の廃液を容器に移す

- インクパックは、大容量パックアダプターから取り外し、元の箱に入れてから遮光キャビネットに入れて保管してください。大容量パックアダプターも遮光キャビネットに入れて保管してください。



5 **インク排出を終了します。**

3. デイリーメンテナンスをスキップして電源をオフにする

1 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
- [デイリーメンテナンス カイシ ー> Enter] が表示されます。

2 Cancel キーをタップします。
- デイリーメンテナンスをスキップします。

Important!

必ず事前にデイリーメンテナンスを行ってから、電源をオフしてください。
デイリーメンテナンスを行わずに電源をオフにすると、ノズル詰まりが発生する恐れがあります。

3 本製品が電源オフ動作を開始します。

インク排出後の初期充てんの方法

1 コントロールパネルの電源ボタンを 2 秒以上押します。
- 電源ボタン上部の LED および各キーが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。

2 [インクジュウテンカイシ ー> Enter] のメッセージが表示されたら、廃液タンクが空またはタンク内の廃液が少量であることを確認して、↵ Enter キーをタップします。

3 [ハイエキヲステテ、Enter キーヲタップシテクダサイ] が表示されたら、容器に廃インクを移し替えてください。
☞「廃液タンクを空にする」P.189 の廃液を容器に移す
- 処理後、↵ Enter キーをタップします。

4 [インクカートリッジヲセット] が表示されたら、インクパックをかくはんし、大容量アダプターに取り付けた後、インクスロットにさし込みます。
☞「3. 初期充てん」P.67

Important!

必ず新品のインクパックを使用してください。インク残量が不十分なインクパックを使用すると、初期充てん中にインクエンドとなり、再充てんによるインク損失が発生します。

5 インクをセットした後の手順は「4. インクをセットした後の手順」P.71 を参照してください。

ご使用の前に
セットアップ
各種設定
基本的な使い方
応用的な使い方
メンテナンス
困ったときは
付録
メンテナンスについて
保護具をつける
インクをかくはんする
インクの確認と交換
廃液タンクを空にする
1日の作業終了後のメンテナンス
ご使用にあわせたメンテナンス
消耗品の交換
長期間使用しない場合
輸送・移動

輸送・移動

Important!

本製品を輸送・移動するときには、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
そのまま移動すると、故障や破損の原因になります。
輸送・移動の場合は、必ずお買い上げの MUTOH 製品販売店にご相談ください。

困ったときは

メッセージとエラーメッセージ 242
トラブルシューティング 251

メッセージとエラーメッセージ

ここでは、本製品の正常作業時およびエラー発生時に表示されるメッセージと、その対処方法について説明します。

動作状態表示

本製品が正常に動作している場合の表示内容について説明します。

本製品が正常に動作している場合、コントロールパネルには以下の各動作状態が表示されます。

- パネルメッセージの「インクカートリッジ」とは、大容量インクパックアダプターにインクパックを取り付けた状態のことを示しています。

表示	内容
アクティベーション ヲ　シテクダサイ	アクティベーションが未実行状態です。アクティベーションを行ってください。 ☞「アクティベーション」P.60
F／W　ヲ　コウシン　シテクダ゛サイ >>　Controller　F／W　<<	ファームウェアアップデートには MUTOH Status Monitor(MSM) が必要です。 アップデート方法については、MUTOH Status Monitor 取扱説明書の「ファームウェア更新」をご参照ください。
インサツデキマス	印刷可能状態（メディアはセットされています。）
メディア　ヲ　セットシテ、 ［∧］キー　ヲ　タップシテクダサイ	印刷可能状態（メディアはセットされていません。）
データジュシンチュウ	データ受信中です。
データカイセキチュウ	データ解析中です。
デ゛ータインサツチュウ	印刷中です。
インサツ　イチジ゛テイシチュウ インサツ　キャンセル　　–> Enter	印刷を一時停止中です。 • Cancel キーをタップすると、印刷が再開します。 • Enter キーをタップすると印刷がキャンセルされます（再開はできません）。
デ゛ンゲ゛ンシャダ゛ンチュウ	プリンターの電源をオフしています。しばらくお待ちください。
S / C リード゛チュウ	スマートチップカードの読み取り中です。

インクジ゛ュンカンチュウ　＊＊%	プリンター内でインクが循環中です。
インクジ゛ュウテン カイシ　—> Enter	インク充てんを開始します。 Enter キーをタップしてください。
センジ゛ョウカートリッジ゛　ヲ　セット	ヘッド洗浄中です。 洗浄カートリッジを取り付けてください。
ヘッド゛センジ゛ョウチュウ　＊＊%	ヘッド洗浄中です。 しばらくお待ちください。
カートリッジ゛　ヲ　ヌイテクダ゛サイ	ヘッド洗浄中またはインク排出中です。 インクカートリッジを取り外してください。
インクカートリッジ゛　ヲ　セット	インク充てん中です。 インクカートリッジを取り付けてください。
インクジ゛ュウテンチュウ　＊＊%	インク充てん中です。 しばらくお待ちください。
インクハイシュツチュウ　＊＊%	インク排出中です。 しばらくお待ちください。
デ゛イリーメンテナンス　シテクダ゛サイ	前回のデイリーメンテナンスから一定時間が経過しました。 デイリーメンテナンスをしてください。 ☞「各部の清掃」P.209
ハイエキ　ヲ　ステテ、 Enter キーヲ　タップ゜シテクダ゛サイ	廃液タンクの廃インクを容器に移し、Enter キーをタップしてください。 ☞「廃液タンクを空にする」P.189
［56］カートリッジ゛ヲ　ハズ゛ス	初期充填前の洗浄動作中に表示されます。 スロット5，スロット6の洗浄カートリッジを取り外してください。 ☞「初期洗浄～初期充てん」P.62
［56］カートリッジ゛ヲ　セット	初期充填前の洗浄動作中に表示されます。 スロット5，スロット6の洗浄カートリッジを取り付けてください。 ☞「初期洗浄～初期充てん」P.62
ダンプデータアリ	ヘッダーダンプ設定をオンにしているとき、ダンプデータがある場合に表示されます。 ☞「ヘッダーダンプ」P.103

メッセージ型エラー表示と対処方法

本製品の動作中に、メッセージ型エラーが発生した場合の表示内容とその対策について説明します。

メッセージ型エラーは、本製品の動作中に何らかの障害が発生した場合に表示されます。

メッセージ型エラーが発生した場合、本製品はコントロールパネルに以下のエラーメッセージを表示するとともに、動作を停止する場合があります。

表示	対処方法
カバーオープン	カバー（フロントカバー、メンテナンスカバー R、メンテナンスカバー L）のいずれか、またはすべてが開いています。 カバーを閉じてください。
［＊＊＊＊＊＊］インク　ナシ	インクがなくなりました。（動作を停止します。） インクカートリッジを抜いて、新しいインクパックに交換し、かくはんをしてからスロットに差し込んでください。新しいスマートチップカードに交換してください。 （インク量設定が「オフ」の場合の表示） ☞「インクの確認と交換」P.181
［＊＊＊＊＊＊］カートリッジ　ナシ	インクカートリッジが挿入されていません。（動作を停止します。） インクカートリッジを挿入してください。
インク　ナシ　■□■□□■	インクがなくなりました（左図の場合の対象はスロット2, スロット3）。（動作を停止します。） インクカートリッジを抜いて、新しいインクパックに交換し、かくはんをしてからスロットに差し込んでください。新しいスマートチップカードに交換してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示） ☞「インクの確認と交換」P.181
カートリッジ　ナシ　××□■■□	インクカートリッジが挿入されていません（左図の場合の対象はスロット 5, スロット 6）。 インクカートリッジを挿入してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示）
［＊＊＊＊］S／Cカード　ナシ	スマートチップカードが挿入されていません。（動作を停止します。） スマートチップカードを挿入してください。

表示	対処方法
[＊＊＊＊＊＊]　　ミジ゛ュウテン	インクが充てんされていません。 初期充てんを行ってください。 ☞「インク排出後の初期充てんの方法」P.239 （プリンターを移動する場合、又は、長期間使用しない場合には電源オフしてください。） ☞「長期間使用しない場合」P.236
ハイエキヲステテ、 Enter キーヲタップシテクダサイ	定期的に表示されます。 廃液タンクの廃液を容器に移してください。 ☞「廃液タンクを空にする」P.189
ハイエキタンク　マンタン	廃液タンクが満タンになりました。（動作を停止します。） ただちに廃液タンクの廃液を容器に移してください。 ☞「廃液タンクを空にする」P.189
[＊＊＊＊] S／Cリード゛エラー	スマートチップカードの読み取りに失敗しました。 スマートチップカードを挿し直してください。
[＊＊＊＊] S／Cカラー　エラー	スマートチップカードの挿入するスロットが間違っています。 スマートチップカードを正しいスロットに挿し直してください。また、インクカートリッジの挿入スロットに間違いがないかご確認ください。
[＊＊＊＊] S／Cコード゛　エラー	本製品で使用できないスマートチップカードが挿入されています。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
[＊＊＊＊] ハソンシタ　チップ゜	スマートチップカードが破損しています。 新しいスマートチップカードに交換してください。
[＊＊＊＊] インク　カクニン	インクカートリッジが正しく挿入されていません。 インクカートリッジが斜めにならないように挿し直してください。
[＊＊＊＊] S／Cニンシキエラー	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。対象のスマートチップカードを差し直してください。 それでも正常に読み取れない場合は、新しいスマートチップカードを挿入してください。 ・スマートチップカードを挿し直して、新たに［［＊＊＊］ カラーカクニン　カクニン —> Ｅｎｔｅｒ］が表示された場合は、表示内容に従って操作してください。

表示	対処方法
[＊＊＊] カラーカクニン カクニン　–> Enter	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 正しいスマートチップカードが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったスマートチップカードが挿入されている場合、正しいスマートチップカードを挿入し直してください。 • 正しいスマートチップカードが挿入されている場合、 Enter キーをタップしてください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。
[＊＊＊＊] S ／ C カードコウカン	スマートチップリカバリーが実行されたインクの残量がなくなりました。 新しいスマートチップカードに交換してください。
ショウガ゛イブ゛ツ　ケンシュツ [V]　キーヲ　タップ゜シテクダ゛サイ	障害物が検出されました。 キーをタップして、メディアのセットをやり直してください。 ☞「メディアをセットする」P.72
[＊＊＊＊] インクスクナイ Type　1	インクが残り少なくなりました。（動作は継続します。） 交換用インクを準備してください。 （インク量設定が「オフ」の場合の表示）
インクスクナイ Type　1	インクが残り少なくなりました（左図の場合、対象はスロット5，スロット6）。（動作は継続します。） 交換用インクを準備してください。 （インク量設定が「オン」の場合の表示）
KMCY W インク　カクハン　スル	前回のインクカートリッジのかくはんから一定時間が経過しました。 ブラック (K)、マゼンタ (M)、シアン (C)、イエロー (Y)、ホワイト (W) インクをかくはんしてください。
スリープ゜モード゛ヲ カイシデ゛キマセン	スリープモード（デイリーメンテナンス）の準備動作中にエラーが発生しました。 Enter キータップ後に表示される表示内容に従って操作してください。
[＊＊＊＊]　プ゜ラグ゛　コウカン	大容量パックアダプターを一定回数使用しました。 プラグの交換をしてください。
メデ゛ィア　ヲ　セットシテ、 [Print] ニ　シテクダ゛サイ	[Media Set] 状態です。（バキュームテーブルの操作中です。） メディアセット、および、バキュームテーブルの操作が終わりましたら、バキュームコントロールパネルの「Print/Media Set 選択スイッチ」を押し [Print] にしてください。

表示	対処方法
[Print] ニ　シテクダ゛サイ	[Media Set] 状態です。（バキュームテーブルの操作中です。） バキュームテーブルの操作が終わりましたら、バキュームコントロールパネルの「Print/Media Set 選択スイッチ」を押し [Print] にしてください。
メデ゛ィア ナシ	メディアがセットされていません。 メディアをセット後に再度実行ください。 （ キーをタップしてメディア有りにしてください。）
メデ゛ィア　タカサ　エラー [V]　キーヲ　タップ゜シテクダ゛サイ	メディア高さが制限高さを超えました。 キーをタップして、メディアのセットをやり直してください。 ☞「メディアをセットする」P.72
インサツエリア フソク	印刷に必要なメディア長さが不足しています。
ユニット コショウ ジ゛ド゛ウノズ゛ルチェック オフ	吐出検知ユニットが故障しました。 印刷はできますが、自動ノズルチェック機能を使用できません。 お買い求めの MUTOH 製品取扱店または、MUTOH 各営業所にお問い合わせください。
ジ゛ド゛ウノズ゛ルチェック ノズ゛ルヌケ ガ゛ アリマス	自動ノズルチェックでノズル抜けを検出し、 オートクリーニングを実行しても、ノズル抜けを解消できませんでした。 手動でノズルチェックとクリーニングを行ってください。 「ノズルチェックとクリーニング」P.78
キンキュウテイシ シマシタ サイキド゛ウ シテクダ゛サイ	緊急停止ボタンを押すと、本製品が動作を停止します。 解除の手順は、「緊急停止する」P.147 をご参照ください。
インクハユウコウキゲンナイデスカ? カクニン –> Enter	インクカートリッジ（インクパック）のラベルに記載されているインクの有効期限（Use Before）を確認してください。 有効期限の確認またはインクカートリッジ（インクパック）の交換が終わったら、 Enter キーをタップしてください。
[****] インク キゲ゛ンギ゛レ	インクカートリッジ（インクパック）の使用期限が過ぎている場合に表示されます。 期限が有効なインクに交換してください。

Note

- エラー表示の [******] は警告対象のスロット番号を示します。
- 「インクナシ」と「カートリッジナシ」が同時に発生したときは「カートリッジナシ」表示を優先します。

表示	対処方法
テイオン ケイコク	プリンターが低温状態です。 キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ☞「本製品の仕様」P.261
コウオン ケイコク	プリンターが高温状態です。 キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、警告が解除されるまでお待ちください。 ☞「本製品の仕様」P.261

スマートチップリカバリー

コントロールパネルに以下のメッセージが表示された場合、スマートチップ破損などの不具合が発生している可能性があります。

以下のエラーメッセージが表示された場合、正しいスマートチップが挿入されていることを確認したうえで、スマートチップリカバリーを実行することで正常に印刷できるようになります。スマートチップリカバリーを実行するには、表示されたメッセージに応じて、操作を行ってください。

表示	内容
[＊＊＊＊] Ｓ／Ｃ ニンシキ　エラー	スマートチップリカバリーが必要なインクが挿入されている可能性があります。対象のスマートチップカードをさし直してください。それでも正常に読み取れない場合は、新しいスマートチップカードを挿入してください。 • スマートチップカードをさし直して、新たに「[＊＊＊] カラー　カクニン　カクニン　–> Ｅｎｔｅｒ」が表示された場合は、「[＊＊＊] カラー　カクニン　カクニン　–> Ｅｎｔｅｒ」の内容に従って操作してください。
[＊＊＊] カラー　カクニン カクニン　–> Ｅｎｔｅｒ	スマートチップリカバリーが必要なスマートチップカードが挿入されている可能性があります。 正しいスマートチップカードが挿入されているか、ご確認ください。 • 間違ったスマートチップカードが挿入されている場合、正しいスマートチップカードを挿入し直してください。 • 正しいスマートチップカードが挿入されている場合、↵ Enter キーを押してください。スマートチップリカバリーが実行され、印刷動作が継続します。

Note

スマートチップリカバリー実行中はインク量インジケーターおよびプリンタステータスメニューにおいて、対象のインクが点滅表示します。

☞「プリンターコントロールパネルのインジケーター表示」P.36、「プリンターステータスメニュー」P.129

再起動が必要なエラー

再起動が必要なエラーとは、本製品が動作する上で次のような致命的な障害が発生した場合に表示されます。

- 駆動の妨げとなる障害物が発生した場合
- 電気回路（基板、モータ、センサ等）が故障した場合
- 制御プログラム上の異常が発生した場合

再起動が必要なエラーが発生した場合、本製品は次の動作を行った後に動作停止します。

- 駆動系の電源を自動的に遮断する。
- コントロールパネルのランプが全て点滅し、ブザーが断続的に鳴り続ける。
- コントロールパネルと MUTOH Status Monitor にエラーメッセージが表示される。

コントロールパネルのいずれかのキーをタップすると、ブザー音は鳴り止みます。
再起動が必要なエラーは、エラーの原因を取除き、本製品を再起動すると復旧します。
もし同じエラーメッセージが再び表示された場合は、本製品を購入された MUTOH 製品販売店または MUTOH カスタマーサポート窓口までご連絡ください。
連絡の際には、必ずエラーメッセージのコード番号をお伝えください。

表示	対処方法
Emergency Mode：E＊＊＊	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました。 1. 交換した部品が正しく取り付けられているか確認してください。 2. 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode：AC	本製品を起動中に、電源が瞬間的に遮断されました。 1. 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。
Emergency Mode：CPU	CPU エラーが発生しました。 1. 電源ボタンをオフします。しばらく待ってから電源ボタンをオンにして、本製品を再起動してください。

Note

エラーメッセージの「＊＊＊」はどんなエラーが発生したかを示すコード番号です。

トラブルシューティング

ここでは、エラー表示しない製品の異常および故障とその時に考えられる要因とその対策について説明します。

Note

- プリンターの状態やエラー情報は MSM のステータス情報から確認できます。
  プリンターが正常に動かない場合は、MSM をご確認ください。
- MSM は最新のバージョンをお使いください。
  MSM のヘルプのバージョン情報で、お使いの MSM より新しいバージョンがあるかを確認できます。
  最新バージョンがある場合は、MUTOH Club からダウンロードしてください。

☞ **MUTOH Status Monitor 取扱説明書**

設置・導入時のトラブル

症状	要因と対策
インクの初期充てんができない	**フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか？** • フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。 • インクカートリッジが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。
初期充てんしてもインクが出ない	**インクは冷えていませんか？** • 最低でも常温で 3 時間以上放置した後、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ☞ 「ヘッドクリーニング」P.204
	初期充てん中に電源をオフしませんでしたか？ • 再度電源をオンにし、初期充てんをやりなおしてください。
初期充てん後にノズルの目詰まりが発生する	**ヘッドクリーニングを行ってみましたか？** • ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行って、印刷結果を確認してください。 ☞ 「ヘッドクリーニング」P.204 • ヘッドクリーニングを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行って、印刷結果を確認してください。 • それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 ☞ 「お問い合わせ先」P.266

MSM や RIP からプリンターに接続できない	**イーサネットケーブルはきちんと接続していますか?** • イーサネットケーブルをしっかりと奥まで差し込んでください。
	ネットワーク設定は正しく設定されていますか? • ネットワーク設定を正しく設定してください。
	プリンターのネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせていますか? • 製品のネットワーク設定をコンピューター側の環境に合わせてください。 ☞「初期設定」P.57

動作に関するトラブル

症状	要因と対策
電源投入後まったく動かない / メディアをセットしても動かない	**電源ケーブルはつながっていますか?** • 電源ケーブルをつないでください。
	AC 電源は規定の電圧になっていますか? • 他のコンセントに接続してください。
	フロントカバーが開いていたり、メンテナンスカバーが開いていませんか? • フロントカバーとメンテナンスカバーを閉じてください。
	MSM にエラーが表示されていませんか? • MSM のステータス情報を確認してください。 **プリンターを使用環境以外の場所で使用していませんか?** • プリンターの使用する環境条件を、指定する環境に合わせてください。 ☞スタートアップガイド「設置前の確認」P.5

メディアに関するトラブル

症状	要因と対策
印刷中にヘッドとメディアがこすれる	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞ 「使用できるメディアの条件」P.43 、「メディアをセットする」P.72
	メディア（紙など）にシワが発生していませんか？ • シワをのばしてセットしてください。
	メディアに浮きや折れ、反りなどがありませんか？ • 「メディア取り扱い上のご注意」P.43 をご参照ください。 • 端が折れているなど、平らにならないメディアを使用する場合、薄手のテープでメディアをテーブルに固定して、浮いている部分がないようにしてください。
	バキュームの設定は適切ですか？ • メディアが浮く場合、バキュームの設定を強めることで、浮きが軽減されます。 ☞ 「バキュームの操作方法」P.39 、「メディアをセットする」P.72
	印刷中にメディアが反っていませんか？ • UV-LED ランプの熱やインクの硬化などによって、メディアが反る場合があります。熱に強いメディアを使用するか、反りを押さえるための治具を使って印刷してください。 ☞ 「メディア取り扱い上のご注意」P.43
	テーブル正面側のガイドラインより前方の領域にメディアや治具を置いていませんか？ • テーブル正面側のガイドラインより前方の領域は、高さ検出センサーの検出範囲外になります。この領域には、設置したメディアより高い物（治具など）を置かないでください。設置したメディアより高い物を置くと、ヘッドとぶつかり故障の原因となります。 ☞ 「本製品の印刷エリア」P.134

メディアセット時にメディアを正しく認識できない	**光を透過する透明なメディアを使用していませんか？** • センサーでメディアを検出できない可能性があるため、メディアの側面にマスキングテープなどを貼り、透過しないようにして、ご使用ください。 • メディアの高さを [マニュアル] で設定してください。 ☞「タカサ」P.101
	表面に細かい突起や凹凸のあるメディアを使用していませんか？ • メディアの最も高い部分を検出するため、正しく印刷できない可能性があります。 ☞「メディア取り扱い上のご注意」P.43
	底面が平らでないメディアを使用していませんか？ • センサーが隙間を透過してしまい、テーブルの高さ調整を適切に行えない可能性があります。
	コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか？ • 本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、高さの読み取り結果がメディアよりも " 高い " または " 低い " 状態になることがあります。このような場合は ∨ キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、メッセージが消去されてから再度 ∧ キーをタップしてメディアをセットして下さい。

印刷に関するトラブル

症状	要因と対策
印刷中、キャリッジが右端または左端でいったん停止する	**お使いのコンピューターのスペックは以下の通りですか？** • OS：Windows 11、Windows 10 • CPU：Intel (R) Core (TM) i5 以上 • メモリ：8G バイト以上 • ネットワーク：ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用 **Note** • 当社が提供するソフトウェアの各 OS に対するサポート期間は、マイクロソフトの各 OS のサポート期間に準拠します。 • RIP ソフトウェアをご使用の場合は、RIP ソフトウェアの使用条件もご確認ください。 **ギガビット対応イーサネットケーブルで接続をしていますか？** • プリンターとコンピューターの接続には、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルをお使いください。 ☞「コンピューターとの接続」P.47

正しい印刷結果が得られない （色ムラ、にじみ、かすれが発生する）	**メディアを正しくセットしていますか？** • メディアを正しくセットしてください。 ☞ 「メディアをセットする」P.72
	インクパックは有効期限内ですか？ • 有効期限内のインクカートリッジ（インクパック）を使用してください。
	インクのかくはんを行いましたか？ • パネルにメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。 ☞ 「インクをかくはんする」P.172
	ノズルの状態は良好ですか？ • ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞ 「ノズルチェックとクリーニング」P.78 • デイリーメンテナンスを行ってください。 ☞ 「各部の清掃」P.209 • それでも、ノズルの目詰まりがある場合は、「微量充てん」を行ってください。 ☞ 「ヘッドクリーニング」P.204
	インクメンテナンスが「通常」または「微量」に設定されていませんか？ • インクメンテナンスを「強力」に設定してください。 ☞ 「インクメンテナンス」P.104
	調整印刷を行ってみましたか？ • 調整印刷を行ってください。 ☞ 「調整印刷」P.88
	送り補正を行ってみましたか？ • 送り補正を行ってください。 ☞ 「送り補正」P.122
	バキュームの設定は適切ですか？ • 薄いメディアや柔らかいメディアを使用していてシワになる場合は、バキュームの設定を弱めることで、画質が改善することがあります。 ☞ 「バキュームの操作方法」P.39 、「メディアをセットする」P.72

正しい印刷結果が得られない （色ムラ、にじみ、かすれが発生する）	**コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか？** • 本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、高さの読み取り結果がメディアよりも " 高い " または " 低い " 状態になることがあります。このような場合は ▼ キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、メッセージが消去されてから再度 ▲ キーをタップしてメディアをセットして下さい。
印刷線がつながらない / 二重になる、 印刷結果がかすれる	**インクカートリッジ（インクパック）は有効期限内ですか？** • 有効期限内のインクカートリッジ（インクパック）を使用してください。
メディアやテーブルにインクが垂れる	**クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか？** • 再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行い、印刷結果を確認してください。 ☞ 「ノズルチェックとクリーニング」P.78 • デイリーメンテナンスを行い、印刷結果を確認してください。 ☞ 「各部の清掃」P.209 、「ノズルチェックとクリーニング」P.78
	フラッシングボックス用吸収材の交換時期ではありませんか？ • フラッシングボックス用吸収材の状態を確認してください。 • 交換条件に該当している場合は、交換してください。 ☞ 「フラッシングボックス用吸収材の交換」P.220
印刷はするが、描く位置がおかしい / 描けないところがある	**メディアのセット位置は正しいですか？** • メディアのセット位置を確認してください
	原点設定は正しいですか？ • LED ポインターで原点の位置を確認してください。 **メディアサイズ設定は正しいですか？** • メディアサイズ設定を確認してください。

印刷結果の色がおかしい	**印刷データ、メディア、印刷設定が、意図した通り正しく設定されていますか?** • 印刷データ、メディア、印刷設定を正しく設定してください。
	インクのかくはんを行いましたか? • パネルにメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。 ☞「インクをかくはんする」P.172
	インクパックは有効期限内ですか? • 有効期限内のインクカートリッジ(インクパック)を使用してください。
	ノズルの状態は良好ですか? • ノズルチェックを行ってください。ノズルの目詰まりがある場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78 • デイリーメンテナンスを行ってください。 ☞「各部の清掃」P.209 • それでも、ノズルの目詰まりがある場合は、「微量充てん」を行ってください。 ☞「ヘッドクリーニング」P.204
	コントロールパネルに低温または高温である旨のメッセージが表示されていませんか? • 本製品の「環境条件」に適合しない温度環境で使用すると、インクがプリントヘッドから正常に吐出しなくなることがあります。このような場合は ▼ キーをタップしてメディアを取り外した状態で室温を調整し、メッセージが消去されてからプリントヘッドのクリーニングを実施してください。
データを送っても印刷されない	**イーサネットケーブルはきちんと接続していますか?** • イーサネットケーブルをきちんと接続してください。 ☞「使用できるメディアの条件」P.43、「メディアをセットする」P.72
	MSM にエラーが表示されていませんか? • MSM のステータス情報を確認してください。

ヘッドクリーニングを行っても、 ノズルの目詰まりがなおらない	クリーニングワイパーやプリントヘッド外周が汚れていませんか? • 再度ヘッドクリーニングまたは微量充てんを行い、印刷結果を確認してください。 ☞「ノズルチェックとクリーニング」P.78 • デイリーメンテナンスを行い、印刷結果を確認してください。 ☞「各部の清掃」P.209 、「ノズルチェックとクリーニング」P.78 • それでも印刷結果に変化が無い場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。 ☞「お問い合わせ先」P.266 **Important!** UV 光を反射しやすいメディアは使用しないでください。UV 光を反射し、プリントヘッド表面のインクを硬化させる恐れがあります。

付録

本製品の仕様 261

オプション・サプライ品リスト 263

改訂履歴 265

お問い合わせ先 266

本製品の仕様

機種名		XPJ-1462UF
印刷方式		オンデマンドピエゾ方式
駆動方式		ファームウェアサーボ /DC モータ駆動
ガントリー搬送方式		ボールねじ搬送方式
メディア固定		吸着ファン
インク硬化装置		UV-LED ランプ
使用できるメディア	最大幅	1420 mm
	最大長さ	700 mm
	最大厚さ	150 mm
	重量	50 kg /㎡ 以下（治具を含む）
最大印刷幅		1420 mm
最大印刷長さ		700 mm
プリントヘッド高さ調整		メディア高さ検出センサーによる自動調整（手動による調整も可能）
インターフェース		Gb-Ethernet（1000BASE-T）
インク	色	6 色（ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ホワイト、バーニッシュ）
	種類	UH21 または US61
	容量	500ml/800ml インクパック
廃液タンク		本体固定式、容量 2,000 ml、ユーザーによる廃インク排出
環境条件	動作環境	温度：20 ℃～ 32 ℃、湿度：40% ～ 60%　結露なきこと
	印刷精度保証範囲	温度：22 ℃～ 30 ℃、湿度：40% ～ 60%　結露なきこと
	変化率	温度：1 時間あたり 2 ℃以内 湿度：1 時間あたり 5% 以内
保存環境		インク未充てん保存：6 か月以内 温度：-20 ℃～ 60 ℃、湿度：20% ～ 80% 結露なきこと インク充てん保存：30 日以内 *1 温度：5 ℃ ～ 30 ℃、湿度：20% ～ 80% 結露なきこと *1 スリープモードによる常時通電、インク残量確認を行うこと。

インク保存環境		・UH21 インク ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、 バーニッシュ（800ml） ホワイト（500ml） 温度：-10 ℃～ 50 ℃（ただし、40 ℃～ 50 ℃の場合は 1 か月以内） 湿度：5% ～ 85%、結露なきこと ・US61 インク ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、 ホワイト、バーニッシュ（800ml） 温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：結露なきこと ・洗浄カートリッジ（220 ml）（UH21、US61 共通） 温度：-10 ℃～ 50 ℃（ただし、40 ℃～ 50 ℃の場合は 1 か月以内） 湿度：5% ～ 85%、結露なきこと
電源	電圧	AC 100V ～ 240V ± 10%
	周波数	50/ 60Hz ± 1Hz
	容量	12 A 以上
消費電力	電源オフ	AC100V ～ 120V、2.1 W 以下 AC200V ～ 240V、3.2 W 以下
	スリープ	44 W 以下
	待機状態	72 W 以下
	オペレーション	1030 W 以下
消費電流		100V ～ 120V 12.0 A 以下 200V ～ 240V 6.0 A 以下
外形寸法	高さ	1,339 mm
	幅	2,770 mm
	奥行き	1,459 mm
質量	本体	500 kg

オプション・サプライ品リスト

インク

型番	名称	販売単位
UH21-BK800U	ハード UV インクブラック（Bk）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH21-CY800U	ハード UV インクシアン（Cy）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH21-MA800U	ハード UV インクマゼンタ（Ma）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH21-YE800U	ハード UV インクイエロー（Ye）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH21-WH500U	ハード UV インクホワイト（Wh）500 ml	1 箱（1 個入り）
UH21-VA800U	ハード UV インクバーニッシュ（Va）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-BK800U	ソフト UV インクブラック（Bk）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-CY800U	ソフト UV インクシアン（Cy）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-MA800U	ソフト UV インクマゼンタ（Ma）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-YE800U	ソフト UV インクイエロー（Ye）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-WH800U	ソフト UV インクホワイト（Wh）800 ml	1 箱（1 個入り）
US61-VA800U	ソフト UV インクバーニッシュ（Va）800 ml	1 箱（1 個入り）
UH22-CL220U	洗浄液（220 ml）	1 箱（1 個入り）

その他

型番	名称	販売単位
IJ-IONZ-01	イオナイザー	
VJ-AC15SJ	電源ケーブル（日本国内安全規格対応品）	1 箱（1 個入り）
VJ-HCIPADPT-UV6	大容量パックアダプタ (UV)	1 箱（6 個入り）
IJ-FLABS-03	フラッシングボックス吸収材	1 箱（3 個入り）
RH2 クリーンスティック	クリーンスティック	1 箱（100 本入り）
POLYNITW2	ポリニットワイパー	1 箱（300 枚入り）
VJ-HCIPAR	VJ 用アダプタープラグ	1 箱（20 個入り）
ULVA1-ML500U	メンテナンス液	1 箱（1 個入り）
IJ-WIP-03	交換用ワイパーセット	1 箱（2 個入り）
IJ-UVGLS-03	UV-LED ランプ用ガラス	1 箱（1 枚入り）

IJ-UVFLT-03	UV-LED ランプ用フィルター	1 箱（6 枚入り）
DROPPER 6 PACK SET	スポイト	1 箱（6 個入り）
IJ-UVPG-01	UV カットグラス	
IJ-RLCLNK-01	レールクリーナーキット	
IJ-EFFLT-02	ファンフィルター、ポリエチレン手袋	1箱（フィルター6個、手袋 12 枚入り）
IJ-IOEN-01	イオナイザー電極針	1箱（4個入り）
IJ-IOCLK-01	イオナイザークリーニングキット	
IJ-FCLK-01	クリーニングキット用フィルター	1箱（10 個入り）

Note

詳細についてはお買い求めの MUTOH 製品取扱店または MUTOH 各営業所にお問い合わせください。

☞「お問い合わせ先」P.266

改訂履歴

制定年月	版数	マニュアル管理番号	対応ファームウェア
2023.6	00	XPJ1462UFJ-A-00	V.1.00
2023.7	01	XPJ1462UFJ-A-01	V.1.00
2023.11	02	XPJ1462UFJ-A-02	V.1.04
2024.3	03	XPJ1462UFJ-A-03	V.1.05
2024.11	04	XPJ1462UFJ-A-04	V.1.08
2024.12	05	XPJ1462UFJ-A-05	V.1.09
2025.7	06	XPJ1462UFJ-A-06	V.1.10 以降

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : 0120-174911
FAX : 0120-184711
E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）
受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00